

高知市男女共同参画推進プラン 2021

# 令和6年度年次報告書

市民協働部  
人権同和・男女共同参画課

# 目 次

	ページ
はじめに、プラン2021の特徴、プラン2021体系図 . . . . .	1
プラン2021の進め方 . . . . .	2
1 指標の進捗状況 . . . . .	3
2 施策（基本目標）に対する取組状況 . . . . .	4
高知市男女共同参画推進プラン2021令和6年度事業一覧 . . . . .	5
<b>【令和6年度】高知市男女共同推進プラン2021 年次報告表</b>	
基本目標1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう . . . . .	6
基本目標2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう . . . . .	7
基本目標3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう . . . . .	8
基本目標4 地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう . . . . .	9
基本目標5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう . . . . .	10
全体に関すること . . . . .	10
個別事業実施状況報告（点検シート） . . . . .	11
数値報告 . . . . .	71
こうち男女共同参画センター（ソーレ）事業報告 . . . . .	77



## はじめに

この年次報告書は、「男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」及び「高知市男女共同参画推進プラン2021(以下「プラン 2021」)」に基づき、本市の男女共同参画の推進に関する施策の実施状況を明らかにするために作成したものです。実施状況の公表は、男女共同参画社会の実現に向けた効率的かつ効果の高い施策を展開するとともに、各事業の内容を市民にわかりやすく説明することで行政の透明性を高める手段です。

男女共同参画社会を実現するためには、市民と行政が一体となって取り組む必要があります。そのためには、庁内各課がこれまで以上に男女共同参画の視点をもって取り組み、市民の皆さまの理解を深め、協力を得ることが不可欠です。

## プラン 2021 の特徴

### (1) 施策の実施状況報告に対する評価(点検)

「プラン 2021」の推進に当たっては、前年度の施策の実施状況の報告について、推進委員会の評価(点検)を受けます(評価は中間及び最終のみ)。

### (2) 評価(点検)と公表

推進委員会による評価(点検)の結果は、毎年度公表します。

### (3) 男女共同参画の視点の浸透

各施策における、男女共同参画の視点からの考え方を明確にし、その浸透を図ります。

### (4) 女性活躍推進への取組

「女性活躍推進法」の市町村推進計画として「女性活躍推進法」及びその基本方針に基づいた取組を実施します。

## プラン 2021 体系図

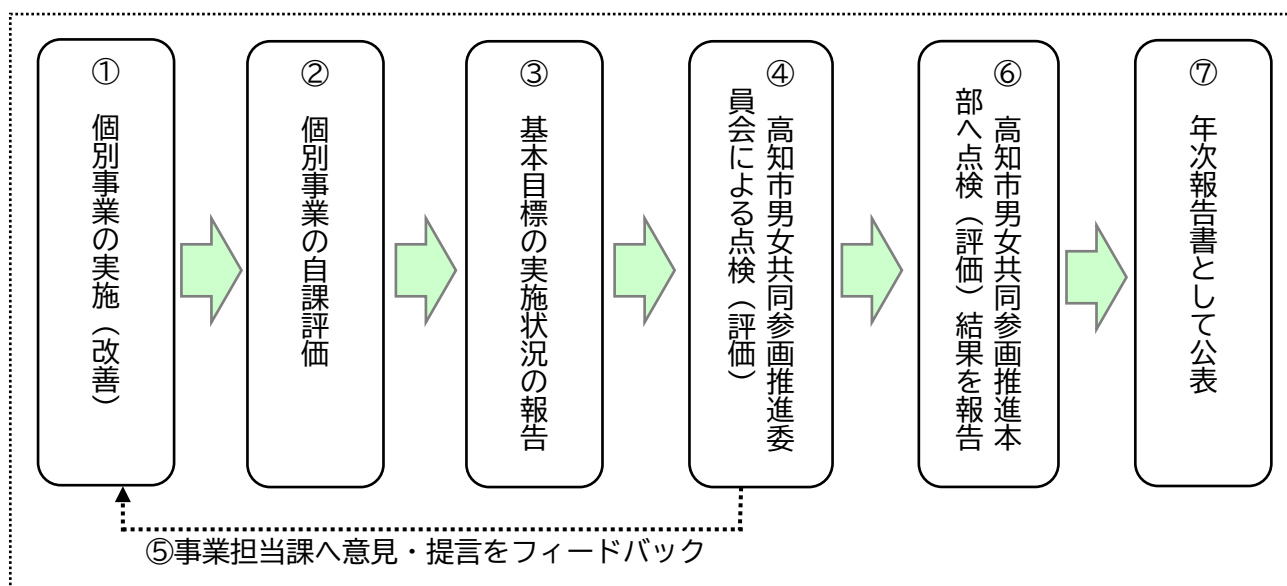
めざす将来像 **ジェンダー平等社会の実現**



基本目標		取組の方向性
1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	(ア) 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消 (イ) 政策、方針決定過程における男女平等の促進
2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	(ア) DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実 (イ) DV・性犯罪等暴力の被害者への支援 (ウ) あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実
3	家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう (※「女性活躍推進法」推進計画)	(ア) ワーク・ライフ・バランスの推進 (イ) 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充 (ウ) 女性活躍の推進
4	地域で、防災で、男女共同参画をすすめます	(ア) 地域活動における女性の参画の促進 (イ) 防災分野における女性の参画の促進
5	生涯にわたる健康生活を充実させましょう	(ア) あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援

## プラン 2021 の進め方

「プラン 2021」の効果的な推進と進行管理のために、PDCA サイクルに基づき、取組の継続的な改善と推進を実施します。



### ① 個別事業の実施（事業担当課）

前年度の取組状況及び高知市男女共同参画推進委員会の意見・提言を踏まえ、個別事業の概要及び活動指標(目標)を設定し、事業を実施します。

### ② 個別事業の自課評価（事業担当課）

事業実施の翌年度に個別事業実施状況報告表にて、事業の報告及び自課評価を行います。

### ③ 基本目標の実施状況の報告

基本目標ごとに数値目標の達成状況等を取りまとめ、高知市男女共同参画推進本部及び高知市男女共同参画推進委員会に報告します。

### ④ 高知市男女共同参画推進委員会による評価（点検） ※点数評価は中間と最終のみ

高知市男女共同参画推進委員会によるヒアリングを実施し、点検(評価)を行います。

### ⑤ 事業担当課へ意見・提言をフィードバック

高知市男女共同参画推進委員会の意見・提言を事業担当課へフィードバックします。  
(事業担当課は翌年度の事業計画に反映させることを検討します。)

### ⑥ 高知市男女共同参画推進本部へ評価結果を報告

推進委員会による評価(点検)結果を高知市男女共同参画推進本部へ報告します。

### ⑦ 年次報告書として公表

年次報告表、個別事業の実施状況報告表等を取りまとめ公表します。

# 1 指標の進捗状況

高知市男女共同参画推進プラン2021では、ジェンダー平等社会の実現に向けて、5つの基本目標を掲げて取り組んでいます。各基本目標に対しては、17項目の指標を設定しています。各指標の進捗状況は次のとおりとなっています（表1）。

指標の進捗状況（表1）

基本目標	No	目標	基準値	令和6年度実績値	対前年比	目標値 (R7年度末)	担当課		
1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	1	市の審議会等で女性委員がいない審議会数	13会(118会中) (R2)	15会(117会中)	0	0会	人権同和・男女共同参画課		
	2	市職員の女性管理職(課長補佐以上)の割合	部長副部長 11.6% (R2)	部長副部長 20.0%	+5.0%	14%以上	人事課		
			課長 14.1% (R2)	課長 20.2%	-0.6%	22%以上			
			課長補佐 42.4% (R2)	課長補佐 42.6%	+1.1%	45%以上			
	3	男女の地位が「平等」と回答した人の割合	各項目の数値は以下のとおり			—	—	増加	人権同和・男女共同参画課
			家庭生活 27.5% (R1)	40.7%	+13.2%	35%以上			
			職場 25.9% (R1)	31.3%	+5.4%	40%以上			
			学校教育 63.2% (R1)	46.3%	-16.9%	75%以上			
			地域活動の場 46.2%	38.4%	-7.8%	50%以上			
			政治の場 13.2% (R1)	10.4%	-2.8%	20%以上			
法律や制度上 32.5%			24.8%	-7.7%	35%以上				
慣習・しきたり 15.7% 社会全体 15.3% (R1)			11.7%	-4.0%	25%以上				
15.6%	15.6%	+0.3%	25%以上						
2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	4	DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合	65.1% (R1)	63.6%	-1.5%	30%以下	人権同和・男女共同参画課		
	5	DVを内容まで知っていると考えた人の割合	44.1% (R1)	64.0%	+19.9%	70%以上			
	6	セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると考えた人の割合	43.0% (R1)	61.7%	+18.7%	70%以上			
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	7	待機児童数	26人 (R2.4)	5人	0	0人	保育幼稚園課		
	8	高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数	3社 (R2)	1社	-5社	毎年3社以上	人権同和・男女共同参画課		
	9	高知市男性職員の育児休業取得率	9.9% (R1)	84.6%	+36.5%	85%以上 * (2週間以上取得)	職員厚生課		
	10	高知市職員の技術職に占める女性の割合	9.4% (R2)	12.0%	0%	15%以上	職員厚生課		
	11	社会資源「集いの場」状況	下記10項目の合計 630			577	-20	705以上	—
			いきいき百歳体操(か所)	373か所(R1)	352か所	+3か所	—	基幹型地域包括支援センター	
			子育てサークル・子育て支援サークル(登録団体数)	23団体(R1)	5団体	-1団体	—	子ども育成課	
			地域子育て支援センター(か所)	14か所(R1)	16か所	0	—	子ども育成課	
			子育てサロン(か所)	18か所(R1)	16か所	-2か所	—	高知市社会福祉協議会	
			子どもの居場所・子ども食堂(か所)	36か所(R1)	37か所	-3か所	—	高知市社会福祉協議会	
			サロン(か所)	86か所(R1)	68か所	-16か所	—	高知市社会福祉協議会	
			認知症カフェ(か所)	23か所(R1)	32か所	+1か所	—	基幹型地域包括支援センター	
			地域交流デイサービス[ミニデイ](か所)	34か所(R1)	28か所	-2か所	—	高齢者支援課	
			宅老所(か所)	22か所(R1)	22か所	0	—	高齢者支援課	
1	いきいき百歳大交流会(開催数)	1(R1)	1	0	—	基幹型地域包括支援センター			
4 地域で、防災で、男女共同参画をすすめてみましょう	12	自治会長に占める女性の割合	16.0% (R1)	15.9%	+1.2%	25%以上	人権同和・男女共同参画課		
	13	防災士認定登録者に占める女性の割合	30.2% (R1)	36.1%	+1.9%	50%以上	防災政策課		
5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう	14	健康寿命(65歳の平均自立期間)	男性 17.47年 女性 20.97年	男性 17.50年 女性 21.00年	男性 -0.18年 女性 -0.89年	男性 18.90年 * 女性 22.89年 *	健康増進課		
	15	子宮頸がん検診受診率	15.1% (R1)	16.6%	+0.1%	20%以上	健康増進課		
	16	乳がん検診受診率	18.8% (R1)	19.3%	0	22%以上	健康増進課		
	17	低出生体重児出生率(出生百対)	10 (H30)	10.2 (R4)	+0.2	9.5以下 * (出生百対)	母子保健課		

\* 9高知市男性職員の育児休業取得率, 14健康寿命(65歳の平均自立期間), 17低出生体重児出生率(出生百対)の目標値は、関連する行政計画の変更に伴い、指標(数値目標)の変更あり。

## 2 施策（基本目標）に対する取組状況

令和6年度は、5つの基本目標に沿った取組として、22の担当課で58の個別事業を実施しました。（5ページ）。個別事業の取組状況については、事業担当課にて自己評価（点検・評価）を行っています（個別事業実施状況報告（点検シート）11～70ページ）。

令和6年度の事業担当課の自己評価をみると、評価A「目標達成」が30事業（51.7%）、評価B「目標を概ね達成」が23事業（39.7%）となり、評価Aと評価Bを合わせた割合は91.4%となっています（下表2）。

また、個別事業の取組状況については高知市男女共同参画推進委員会が評価（点検）を行い、各基本目標の進捗状況について意見・提言を行いました（6～10ページ）。

令和6年度の個別事業の取組状況（表2）

	A(目標達成)	B(概ね達成)	C(少し下回った)	D(大きく下回った)
基本目標1	10	4	0	0
	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
基本目標2	9	4	0	0
	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
基本目標3	3	8	1	1
	23.1%	61.5%	7.7%	7.7%
基本目標4	5	1	1	1
	62.5%	12.5%	12.5%	12.5%
基本目標5	3	6	1	0
	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%
全体	30	23	3	2
	51.7%	39.7%	5.2%	3.4%

高知市男女共同参画推進プラン2021 令和6年度事業一覧

～ めざす将来像「ジェンダー平等社会の実現」～

基本目標	取組の方向性	事業No.	事業・取組	担当課	自課評価	事業費(千円)	合計(千円)	関連する数値目標	数値目標
を一つ人ひとまりのしょうの人権が尊重される社会	(ア) 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	1	男女共同参画の日「8月1日」事業	人権同和・男女共同参画課	A	48	6,420	③	① 市の審議会等で女性がいらない審議会数 0会 ② 市職員の女性管理職(課長補佐以上)の割合 部長副部長 14%以上 課長 22%以上 課長補佐 45%以上 ③ 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目) 増加(社会全体 25%以上 ほか全8項目)
		2	広報・啓発と情報発信(市民等向け)	人権同和・男女共同参画課	A	20		③	
		3	広報・啓発と情報発信(庁内向け)	人権同和・男女共同参画課	A	0		③	
		4	多様な性のあり方を尊重する取組の推進	人権同和・男女共同参画課	A	0		③	
		5	レインボースクール	人権・子ども支援課	A	344		③	
		6	学校における男女平等教育の推進	人権・子ども支援課	A	0		③	
		7	健康教育(性に関する指導)の推進	学校教育課	B	0		③	
		8	市職員に対する研修	人事課	A	251		③	
		9	ソーレにおける広報・啓発及び情報提供	ソーレ	B	5,571		③	
		10	男女共同参画事業(SOGIに関する講座)	ソーレ	A	186		③	
	(イ) 政策、方針決定過程における男女平等の促進	11	審議会等の女性登用の推進	人権同和・男女共同参画課	B	0	157	①	
		12	各役職段階に占める女性職員の割合の向上	職員厚生課	B	0		②	
		13	人材育成事業(女性の活躍応援)	ソーレ	A	157		③	
		14	情報の収集及び提供、広報・啓発事業(政治分野への女性の参画)	ソーレ	A	-		③	
社D Vやつハラスメントのない	(ア) DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実	15	人権啓発の推進	人権同和・男女共同参画課	A	1,305	3,010	⑤	④ DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合 30%以下 ⑤ DVを内容まで知っていると答えた人の割合 70%以上 ⑥ セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合 70%以上
		16	DV防止啓発	人権同和・男女共同参画課	A	0		⑤	
		17	DV・デートDVに関する啓発及び情報提供	ソーレ	A	448		⑤	
		18	児童虐待予防推進事業	子ども家庭支援センター	B	814		⑤	
		19	情報モラル教育の推進	少年補導センター	A	443		⑤	
	(イ) DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	20	人権全般における相談体制の充実	人権同和・男女共同参画課	A	95	2,412	④	
		21	DV等被害者支援ネットワーク会議の連携強化	人権同和・男女共同参画課	A	0		④	
		22	DV被害者の市営住宅入居	住宅政策課	B	-		④	
		23	相談事業	ソーレ	A	1,670		④	
	(ウ) あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実	24	相談体制の充実	ソーレ	B	647	295	④	
		25	ハラスメント防止研修	人事課	A	0		⑥	
	26	出前講座	ソーレ	A	139	⑥	⑥		
	27	性的少数者に関する電話相談	ソーレ	B	156	-	-		
平家等庭や実働現場においてジェンダー	(ア) ワーク・ライフ・バランスの推進	28	男女共同参画推進企業表彰	人権同和・男女共同参画課	D	25	139	⑧	⑦ 待機児童数 0人 ⑧ 高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数 毎年3社以上 ⑨ 高知市男性職員の育児休業取得率(2週間以上) 85%以上 ⑩ 高知市職員の技術職に占める女性の割合 15%以上 ⑪ 社会資源「集いの場」状況 705以上
		29	男性職員の子育て参加の促進	職員厚生課	B	0		⑨	
		30	「高知市労働ニュース」の充実・情報提供の拡充	産業政策課	B	6		-	
		31	ワーク・ライフ・バランス事業(男性家事・介護基礎講座)	ソーレ	A	108		-	
	(イ) 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充	32	地域の子育て支援・子育て相談	子ども育成課	A	138,259	200,283	⑪	
		33	ファミリー・サポート・センター事業	子ども育成課	A	13,000		-	
		34	多様な保育サービスの充実	保育幼稚園課	B	47,432		⑦	
	(ウ) 女性活躍の推進	35	生活支援サービスの充実	基幹型地域包括支援センター	B	1,592	27,016	⑪	
		36	高知市職員の技術職に占める女性の割合の向上	職員厚生課	B	0		⑩	
		37	ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援	子育て給付課	C	7,516		-	
		38	雇用促進・就労支援	産業政策課	B	18,703		-	
		39	女性消防吏員増加に向けた取組	消防局総務課	B	0		-	
40	女性のための就業支援事業	ソーレ	B	797	-				
ま参画で地域、男で、女、防災	(ア) 地域活動における女性の参画の促進	41	地域コミュニティ再構築事業	地域コミュニティ推進課	C	14,536	15,143	⑫	⑫ 高知市における自治会長に占める女性の割合 25%以上 ⑬ 防災士認定登録者に占める女性の割合 50%以上
		42	スポーツ指導者の育成	スポーツ振興課	D	296		⑫	
		43	消防団の充実強化	消防局総務課	B	0		⑫	
		44	エンパワメント支援	ソーレ	A	311		⑫	
	(イ) 防災分野における女性の参画の促進	45	防災におけるジェンダー平等の啓発	人権同和・男女共同参画課	A	73	10,929	⑬	
		46	避難所運営体制の整備	地域防災推進課	A	884		-	
		47	れんげいこうち防災人づくり塾	防災政策課	A	2,338		⑬	
		48	人材育成事業(女性防災プロジェクト)	ソーレ	A	7,634		⑬	
を生涯にわたる健康な生活を	(ア) あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	49	さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催	基幹型地域包括支援センター	B	35,571	164,261	⑭	⑭ 健康寿命(65歳の平均自立期間) 男性 18.90年 女性 22.89年 ⑮ 子宮頸がん検診受診率 20%以上 ⑯ 乳がん検診受診率 22%以上 ⑰ 低出生体重児出生率 9.5以下
		50	生涯学習活動の促進	文化振興課	B	-		⑭	
		51	スポーツ推進事業	スポーツ振興課	C	1,573		⑭	
		52	がん検診	健康増進課	B	95,027		⑮⑯	
		53	成人歯周病検診	健康増進課	B	4,996		⑭	
		54	こころの相談窓口	健康増進課	A	267		⑭	
		55	思春期保健事業	母子保健課	B	0		-	
		56	妊娠・出産期等の支援	母子保健課	A	3,518		⑰	
		57	幼児健診	母子保健課	B	21,639		⑰	
		58	相談事業【No.22再掲】	ソーレ	A	1,670		⑭	

計 58事業 計22課 A:30 (51.7%) B:23 (39.7%) C:3 (5.2%) D:2 (3.4%)

【評価基準】  
A:目標達成(100%以上)  
B:概ね達成(80~100%未満)  
C:少し下回った(60~80%未満)  
D:大きく下回った(60%未満)

基本目標

# 1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう

取組の方向性	<p>(ア) 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市民に向けてSOGIやジェンダー平等について広報・啓発を行います。</li> <li>② 児童生徒の発達段階に応じた男女平等、男女共同参画についての教育を行います。</li> <li>③ 家庭・職場・学校・地域で、ジェンダー平等の学習会・研修会等を実施します。</li> <li>④ 市民意識調査を実施し、男女共同参画に関する実態把握を行います。</li> <li>⑤ ソーレ等と連携し、積極的な情報提供、啓発活動を実施します。</li> </ul> <p>(イ) 政策、方針決定過程における男女平等の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 積極的に女性の登用を促すよう、庁内外に働きかけをしていきます。</li> <li>② 女性が政治の場へ参画する一歩となるような人材育成に取り組みます。</li> <li>③ ソーレ等と連携し、女性リーダー養成にむけた講座・研修会を実施します。</li> <li>④ 政治分野への女性の参画に関する情報の提供・啓発を行います。</li> </ul>								
	指標	【指標の現状値】							
指標		計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】	
市の審議会等で女性委員がいない審議会数		24会 [138会中]	15会 [115会中]	13会 [120会]	15会 [119会]	15会 [117会]	[ 会]	0会以下 【5会以下】	
市職員の女性管理職 (課長補佐以上)の割合		部長副部長	11.4%	8.9%	9.5%	15.0%	20.0%	%	14%以上 【13%以上】
		課長	15.7%	19.1%	21.6%	20.8%	20.2%	%	22%以上 【19%以上】
	課長補佐	39.2%	46.8%	44.8%	41.5%	42.6%	%	45%以上 【44%以上】	
男女の地位が「平等」と回答した人の割合		社会全体 15.3% 他7項目	—	—	—	社会全体 15.6%	—	増加	
個別事業	個別事業(No.1~14)の取組状況は12~25ページ								

**推進委員会からの意見・提言**

・女性委員のいない審議会について、「男女のいずれかの一方の委員の数が委員の総数の10分の4未満となることがないように」と条例で定められているが、今まで一度も達成していない。女性委員のいない審議会を0にすればいいということではないため、より高い意識を持って取り組んでほしい。

基本目標

2

## DVやハラスメントのない社会をつくりましょう

取組の方向性	<p>(ア) DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 人権尊重の意識を高めるよう、関係機関と連携し、予防啓発を行います。</li> <li>② 若年層を対象としたDV防止等の啓発を強化していきます。</li> </ul> <p>(イ) DV・性犯罪等暴力の被害者への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 相談窓口の周知を図ります。</li> <li>② 関係機関との連携を強化し、DV等暴力の被害者が安心して相談、支援を受けられる体制を充実していきます。</li> </ul> <p>(ウ) あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ハラスメントを正しく理解するための広報・啓発を行います。</li> <li>② 相談窓口の周知を含めた相談体制を充実させます。</li> <li>③ 市職員等を対象とした各種ハラスメント研修を実施します。</li> </ul>																																
指標	<p>【指標の現状値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>計画策定時 (R元年度)</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度 (中間年度)</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th>最終目標 【中間目標】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合</td> <td>65.1%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>63.6%</td> <td>—</td> <td>30%以下 【—】</td> </tr> <tr> <td>DVを内容まで知っていると感じた人の割合</td> <td>44.1%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>64.0%</td> <td>—</td> <td>70%以上 【—】</td> </tr> <tr> <td>セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると感じた人の割合</td> <td>43.0%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>61.7%</td> <td>—</td> <td>70%以上 【—】</td> </tr> </tbody> </table>	指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】	DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合	65.1%	—	—	—	63.6%	—	30%以下 【—】	DVを内容まで知っていると感じた人の割合	44.1%	—	—	—	64.0%	—	70%以上 【—】	セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると感じた人の割合	43.0%	—	—	—	61.7%	—	70%以上 【—】
指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】																										
DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合	65.1%	—	—	—	63.6%	—	30%以下 【—】																										
DVを内容まで知っていると感じた人の割合	44.1%	—	—	—	64.0%	—	70%以上 【—】																										
セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると感じた人の割合	43.0%	—	—	—	61.7%	—	70%以上 【—】																										
個別事業	<p>個別事業(No.15～27)の取組状況は26～38ページ</p>																																

推進委員会からの意見・提言
<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV同様、ハラスメント防止という観点からも、相談先の周知は重要である。</li> <li>・DVに関して、「DVがどういったものか」「DVはいけないということだ」ということを意識してもらうためには、DVについて周知し、基本的な部分を理解してもらうことが必要である。</li> </ul>

基本目標

### 3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう

取組の方向性	<p>(ア) ワーク・ライフ・バランスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 男性の家事・育児・介護への参画を促進・支援します。</li> <li>② 市の男性職員の育児休業等の取得率の向上をめざします。</li> <li>③ 労働者の意識改革につながる働きやすい職場環境づくりを支援します。</li> </ul> <p>(イ) 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 男性も女性も子育てしながら、仕事との両立を図ることができるよう、多様な保育サービスの充実を図ります。</li> <li>② 子育て支援体制の充実を図ります。</li> <li>③ 介護をとりまく環境整備を支援します。</li> </ul> <p>(ウ) 女性活躍の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 職業能力の開発のための講座や、再就職のための就労相談を行います。</li> <li>② ひとり親家庭の相談及び就業による自立を支援します。</li> <li>③ 市の女性職員の職域拡大を推進します。</li> </ul>																																																
	<p>【指標の現状値】 <small>* 高知市男性職員の育児休業取得率については、令和6年度に最終目標値を同項目を目標値に掲げる他計画が見直されたことから変更した。</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>計画策定時 (R元年度)</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度 (中間年度)</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th>最終目標 【中間目標】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>待機児童数</td> <td>34人</td> <td>11人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td>人</td> <td>0人 【10人以下】</td> </tr> <tr> <td>高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数</td> <td>3社</td> <td>8社</td> <td>6社</td> <td>6社</td> <td>1社</td> <td>社</td> <td>毎年3社以上 【毎年3社以上】</td> </tr> <tr> <td>高知市男性職員の育児休業取得率*</td> <td>9.9%</td> <td>17.9%</td> <td>32.4%</td> <td>48.1%</td> <td>84.6%</td> <td>%</td> <td>85%以上 【22%以上】</td> </tr> <tr> <td>高知市職員の技術職に占める女性の割合</td> <td>9.1%</td> <td>11.4%</td> <td>11.3%</td> <td>12.0%</td> <td>12.0%</td> <td>%</td> <td>15%以上 【12%以上】</td> </tr> <tr> <td>社会資源「集いの場」状況</td> <td>630</td> <td>610</td> <td>602</td> <td>597</td> <td>577</td> <td></td> <td>705以上 【675以上】</td> </tr> </tbody> </table>	指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】	待機児童数	34人	11人	3人	5人	5人	人	0人 【10人以下】	高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数	3社	8社	6社	6社	1社	社	毎年3社以上 【毎年3社以上】	高知市男性職員の育児休業取得率*	9.9%	17.9%	32.4%	48.1%	84.6%	%	85%以上 【22%以上】	高知市職員の技術職に占める女性の割合	9.1%	11.4%	11.3%	12.0%	12.0%	%	15%以上 【12%以上】	社会資源「集いの場」状況	630	610	602	597	577		705以上 【675以上】
	指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】																																									
待機児童数	34人	11人	3人	5人	5人	人	0人 【10人以下】																																										
高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数	3社	8社	6社	6社	1社	社	毎年3社以上 【毎年3社以上】																																										
高知市男性職員の育児休業取得率*	9.9%	17.9%	32.4%	48.1%	84.6%	%	85%以上 【22%以上】																																										
高知市職員の技術職に占める女性の割合	9.1%	11.4%	11.3%	12.0%	12.0%	%	15%以上 【12%以上】																																										
社会資源「集いの場」状況	630	610	602	597	577		705以上 【675以上】																																										
個別事業	<p>個別事業(No.28~40)の取組状況は39~51ページ</p>																																																

<p>推進委員会からの意見・提言</p> <p>・男性の育児休業取得率を向上させるためには、取得の本来の目的や理由、育児経験が仕事へ好影響を及ぼす可能性があること等をしっかりと周知、広報していくことが必要である。</p>
--

基本目標

## 4 地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう

取組の方向性	(ア) 地域活動における女性の参画の促進 ① 男女を問わず、幅広い世代の市民の参画により、地域活動等の活性化を支援します。 ② ソーレ等と連携し、地域や社会活動における女性リーダーを育成するための講座等を開催します。							
	(イ) 防災分野における女性の参画の促進 ① 女性の視点による防災対策を強化します。 ② 防災に関する地域の女性リーダーの育成・増加を図ります。							
指標	【指標の現状値】							
	指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】
	自治会長に占める女性の割合	13.7%	15.4%	14.1%	14.7%	15.9%	%	25%以上 【22%以上】
防災士認定登録者に占める女性の割合	30.2%	30.9%	34.1%	34.2%	36.1%	%	50%以上 【40%以上】	
個別事業	個別事業(No.41~48)の取組状況は52~59ページ							

推進委員会からの意見・提言							
・女性の視点には、生活者の視点という意味もあると思う。地域には色々な人が暮らしており、ニーズも多様である。災害時に多様な人たちが安全で安心にいられる環境を、男女共同参画の立場から考えていく必要がある。							

基本目標

## 5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう

取組の方向性	(ア) あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援							
	① さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等を開催します。 ② 男女ともに健康を保持・増進することができるよう、支援活動を行います。 ③ こころの健康づくりについて普及・啓発を行います。 ④ 心身の発育・発達と性に関する教育を行います。 ⑤ 女性特有のがん検診受診率向上に向けた取組を行います。 ⑥ 妊娠期から子育て期に至るまでの切れ目ない支援を行います。							
指標	【指標の現状値】 *健康寿命(65歳の平均自立期間)、低出生体重児出生率については、令和6年度に最終目標値を同項目を目標値に掲げる他計画が見直されたことから変更した。							
	指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】
	健康寿命(65歳の平均自立期間)*	男性17.47年 女性20.97年	男性17.65年 女性21.39年	男性17.77年 女性21.78年	男性17.68年 女性21.89年	男性17.50年 女性21.00年	男性 年 女性 年	男性18.90年 女性22.89年 【男性17.71年 女性21.21年】
	子宮頸がん検診受診率	15.1%	14.2%	16.1%	16.5%	16.6%	%	20%以上 【17%以上】
	乳がん検診受診率	18.8%	17.3%	19.0%	19.3%	19.3%	%	22%以上 【20%以上】
低出生体重児出生率(出生百対)*	10.0 (H29)	11.1 (H31)	9.8 (R2)	10.0 (R3)	10.2 (R4)		9.5以下 【9.5以下】	
個別事業	個別事業の取組状況(No.49～58)は60～69ページ							

推進委員会からの意見・提言
<p>・若年層において性に関する知識が十分でないことが見受けられる。そのため、義務教育の間に何らかの形で多様性教育だけでなく、対等な関係づくり等についても、包括的性教育として取り組んでほしい。</p> <p>・DV防止や性教育のみならず、不登校児童や家庭に困難を抱える児童への対応のためにも、養護教諭の配置は重要である。全ての小中学校に養護教諭が配置されるよう善処してほしい。</p>

### 全体に関すること

推進委員会からの意見・提言
<p>・地域活性化の観点から、事業を市内事業所へ発注する等、地元経済への波及効果を重視した工夫をしてほしい。</p> <p>・政治・経済における男女格差は、依然として存在している。それらの解消に努めるのはもちろん、家庭や地域社会における無意識の思い込みへの留意や慣習やしきたりの見直しについても、男女共同参画の視点から進める必要がある。</p>

# 個別事業実施状況報告

## (点検シート)





高知市男女共同参画推進プラン2021 令和6年度 個別事業実施状況報告(点検シート)

※ 点検シートの見方


基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)											
		1	ア	No. 事業名	◆ <b>具体的取組(工夫や配慮した点等)</b> ・8月1日「高知市男女共同参画の日」に関連した事業を実施した。 ①啓発作品応募数 492点 (川柳:466点、写真:26点) ②男女共同参画推進表彰企業 1社 ③パネル展開催(7月29日～8月23日、会場:市役所本庁舎) ④図書企画展開催(8月13日～8月31日、会場:オーテピア高知図書館)	R3 A R4 A R5 A R6 A R7	◆ <b>対応(改善、今後どのようにするか)</b> ・男女共同参画の目録表作品を効果的に啓発に活用し、男女共同参画やジェンダー平等への関心を高めることができるよう市民の目に触れるような機会を増やす情報発信を行う。									
活動指標に対する具体的取組。実施に当たり「◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b> 」に対して、 <b>工夫や配慮した点</b> 等を具体的に記入してください。	一人ひとりの人権が尊重と固定された役割分担意識の解消	◆ <b>事業(概要)</b> 8月1日の「高知市男女共同参画の日」に関連した啓発事業を実施する。 ・啓発作品募集 ・パネル展示及び図書企画展 ・横断幕設置 ※ 8月1日は昭和58年に本市に初めて婦人(女性)担当を配置した日。	◆ <b>検証(達成状況、その要因)</b> ・啓発作品応募数は492点(前年度比12点増)となり、目標点数を超えており、啓発の機会を確保できている。 ・図書企画展では127冊の図書を展示し、累計貸出冊数は27冊(前年度比137冊減)であった。大きく減少した主な要因は、展示場所が2階から3階に変更したことで、展示を見てもらう機会が減少したためと考えられる。	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆ <b>対応(改善、今後どのようにするか)</b> ・男女共同参画の目録表作品を効果的に啓発に活用し、男女共同参画やジェンダー平等への関心を高めることができるよう市民の目に触れるような機会を増やす情報発信を行う。											
◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b> 事業の実施により、条例の理念及び8月1日の「高知市男女共同参画の日」の周知を図るとともに、男女共同参画やジェンダー平等の意識を浸透させる。		◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b> ●事業の企画・立案・実施にあたり下記の視点を取り入れている。 【条例の基本理念(第3条から要約)】 (1) 男女の人権の尊重 (2) 社会制度・慣行が及ぼす男女の社会活動の選択に対する影響への配慮 (3) 施策又は方針の立案及び決定に共同して参画する機会の確保 (4) 家庭生活における活動と職場や地域等における活動の両立 (5) 男女の性と生殖についての相互理解・尊重と生涯にわたる健康生活の維持 (6) 男女共同参画の推進に関する国際社会の動向への留意及び協調 (7) 市民一人ひとりの主体的な取組														
◆ <b>活動指標(目標)</b> ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。						◆ <b>推進委員会の点検項目</b> 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつかか。 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。										
◆ <b>(参考)関連する数値目標</b> 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上(ほか全8項目増加)							◆ <b>推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】  【課題等】									
事業費の決算額 ※事業単独の費用が算出できない場合は「-」、人件費のみの事業の場合は「0円」とする。								決算額(千円)	R3 R4 R5 R6 R7	45 48 49 48	【事業の評価】 A:100%以上(目標達成) B:80～100%未満(目標を概ね達成) C:60～80%未満(目標を少し下回った) D:60%未満(目標を大きく下回った)					
事業の活動指標(目標)年度当初に設定したもの。								担当課	人権同和・男女共同参画課					◆ <b>事業の評価</b> A:100%以上(目標達成) B:80～100%未満(目標を概ね達成) C:60～80%未満(目標を少し下回った) D:60%未満(目標を大きく下回った)		
事業内容の写真や事業チラシ等								写真等 					◆ <b>事業の評価</b> A:100%以上(目標達成) B:80～100%未満(目標を概ね達成) C:60～80%未満(目標を少し下回った) D:60%未満(目標を大きく下回った)			
当該事業に関連するプラン2021の指標(数値目標)								オーテピア高知図書館での図書企画展							◆ <b>事業の評価</b> A:100%以上(目標達成) B:80～100%未満(目標を概ね達成) C:60～80%未満(目標を少し下回った) D:60%未満(目標を大きく下回った)	



基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)							
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	<p>No. 事業名</p>	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展4回(高知市男女共同参画の日、女性に対する暴力をなくす運動など)</li> <li>・高知市総合防災訓練でのブース出展</li> <li>・出前講座等12回(地域、学校、市職員など延べ422名参加)</li> </ul>	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課Instagramを中心にSNSやパネル展示等、引き続き様々な手段による啓発を行い、ターゲットを意識した効果的な啓発が行えるよう努める。</li> </ul>								
		<p>2 広報・啓発と情報発信(市民等向け)</p> <p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>市民や企業に向けて男女共同参画やジェンダー平等、多様な性に関する啓発、情報発信や学習機会の提供を行う。                      &lt;市民向け啓発&gt;パネル展、出前講座等                      &lt;企業向け啓発&gt;啓発紙の作成・配布、にじいろのまち宣言賛同企業の募集等                      &lt;情報発信&gt;                      市広報紙、SNS等による広報</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>様々なツールを用いて男女共同参画やジェンダー平等、多様な性に関する視点を社会に広げる。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・去年度から引き続きプライド月間キャンペーンを実施し、多様な性に関する啓発を行った。</li> <li>・パネル展を行う際には、市広報や課Instagram、庁内デジタルサイネージ等で情報発信を行い、広い広報に努めた。</li> </ul>									
<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>327</td> <td>5</td> <td>150</td> <td>20</td> <td></td> </tr> </table>	R3	R4	R5	R6	R7	327	5	150	20		<p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p>	<p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p>
R3	R4	R5	R6	R7								
327	5	150	20									
<p>担当課</p>	<p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</li> </ul>	<p>【特に良かった点等】</p>										
<p>写真等</p>  <p>プライド月間・男女共同参画パネル展</p>	<p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施方法は適切か。</li> <li>・事業コスト、費用対効果は適当か。</li> </ul>	<p>【課題等】</p>										
<p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンダー平等、多様な性に関するパネル展を年4回以上開催する。</li> <li>・要請に応じて出前講座講師を派遣する。</li> </ul>	<p>有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の活動指標の達成状況は順調か。</li> <li>・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</li> </ul>											
<p>(参考)関連する数値目標</p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加</p>	<p>工夫・配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</li> </ul>											

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)	
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	No.	事業名	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・庁内向け掲示板でパネル展やソーレの講座等に関する情報発信を行った。 ・男女共同参画推進本部部局推進員会では、「男性育休を語る交流会」の実施及び「アンコンシャス・バイアス解消に向けた啓発パネル」の作成を行った。 ・庁内各窓口へのALLYミニフラッグの設置を継続し、ALLYの見える化を継続した。	自課評価 R3 A R4 A R5 A R6 A R7	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> ・引き続き、庁内向け掲示板での情報発信と、男女共同参画推進本部部局推進員会の活動を行う。
		3	広報・啓発と情報発信(庁内向け)	<b>◆事業(概要)</b> 庁内向け啓発・情報発信を通じ、男女共同参画やジェンダー平等、多様な性についての意識の浸透を図る。 ・庁内向け掲示板による情報発信 ・男女共同参画推進本部部局推進員会の活動推進 ・ALLY(アライ)の見える化推進	<b>◆検証《達成状況、その要因》</b> ・男女共同参画推進本部部局推進員会の活動を通じ、職員に対し男女共同参画の意識の浸透を図った。	
		<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 庁内向けに男女共同参画やジェンダー平等、多様な性のあり方に関する情報発信を行う。		<b>◆検証《達成状況、その要因》</b> ・男女共同参画推進本部部局推進員会の活動を通じ、職員に対し男女共同参画の意識の浸透を図った。		
		決算額(千円)	R3 R4 R5 R6 R7	<b>◆推進委員会の点検項目</b>	<b>◆推進委員会から点検コメント</b>	
		845 125 105 0		必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	【特に良かった点等】	
		担当課	人権同和・男女共同参画課	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	【課題等】	
		写真等				
		<b>◆活動指標(目標)</b> ・庁内向け掲示板での情報発信 ・男女共同参画推進本部部局推進員会の活動を行う。 ・ミニフラッグ、ピンバッジ等でALLY(アライ)の見える化を推進する。		有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。		
		<b>(参考)関連する数値目標</b> 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加		工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		
				写真等 		
		写真等 男性育休を語る交流会の様子				


基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)		Action(見直し)		
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	ア	No.	事業名	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・R7.3.31時点登録件数 34件 (うちR6年度件数 16件)	自課評価 R3 A R4 A R5 A R6 A R7	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> ・パートナーシップ登録制度についての周知を図るとともに、引き続き適切な運用について務める。			
		4	多様な性のあり方を尊重する取組の推進							
		<b>◆事業(概要)</b>								
		・高知市パートナーシップ登録制度の運用								
		<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b>								
		生物学的な性別、性自認、性的指向に関わらず、個人として尊重され、その個性と能力を発揮する機会が確保される社会づくりを目指す。								
		決算額(千円)	R3		R4	R5	R6	R7	<b>◆推進委員会の点検項目</b>	<b>◆推進委員会から点検コメント</b>
			0		0	0	0	0		
		担当課	人権同和・男女共同参画課				必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	【特に良かった点等】	
		写真等								有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。
<b>◆活動指標(目標)</b>		写真等 		工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。						
・高知市パートナーシップ登録制度の適切な運用 ・申請書類等の性別記載欄の見直しの実施										
<b>(参考)関連する数値目標</b>		男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上ほか全8項目増加								

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)		
		No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》					自課評価	R3	R4	R5	R6	R7
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	ア	5	レインボースクール	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 今年度は、9日間で18校の小中学校に対し、暁プロジェクト 大久保暁さんを講師として派遣し、性の多様性についてご自身の経験をもとに講話を行った。実施日を増やしたことで、参加者は小学生・中学生・教職員を合わせ、のべ3,544名となった。										
		◆事業(概要)		令和6年度の実施日 6/13(木)午前、午後の2校で実施 6/14(金) 〃 6/15(土)午前1校で実施 6/19(水)午後1校で実施 6/20(木)午前、午後の2校で実施 6/21(金) 〃 6/22(土) 〃 10/24(木)午前、午後の2校で実施 10/25(金) 〃 10/26(土) 〃					◆検証《達成状況、その要因》 性的指向・性自認について学ぶことのできる講師についての相談や、中学校進学に向けての制服の問題で悩む児童に対する各学校等からの相談も増えてきている。 令和6年度は、実施予定18校に対し、37校から応募があった。 講話の内容が、講師の生い立ちや経験からなる話や、基本的な知識を、児童生徒に分かりやすく、学校のニーズに合わせて内容を調整するなど、柔軟にご対応いただける講師のお人柄も重なり、需要が増えてきていると思われる。					
		◆男女共同参画の視点からの目的		「多様な性のあり方」について学ぶことで、性別にとられることなく、自分らしさや一人一人の個性を尊重することの大切さを認識し、理解を深める。					◆推進委員会の点検項目			【特に良かった点等】 ・高知市独自の特徴的な取組として、とても良い取組だと思う。		
		◆活動指標(目標)		市立小・中・義務教育・特別支援学校(59校)のうち、18校への派遣を目標とする。(昨年度から6校増)令和6年度は、高知県出身で京都在住のトランスジェンダー大久保暁さんを招聘の予定。					必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。				
		(参考)関連する数値目標		男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加					効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。		【課題等】 ・県内講師を招く等、限られた予算の中でもできるだけ実施校を増やす取組が必要。		
		◆活動指標(目標)		担当課 人権・こども支援課					有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。				
		◆活動指標(目標)		写真等 					工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				



基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)													
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	1	ア	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>保健教育に関する外部講師派遣事業の授業では、大学教授や助産師、産婦人科医師による講演を実施し、二次性徴や個人差があること、男女の体の仕組みや違いについて知ることを発達段階に応じた内容で学ぶことができた。また、専門家から妊娠と出産について科学的に説明してもらうことで、命についての考えを深めることができた。</p> <p>性に関する知識量の差があり、自分事にして考えることが課題としてある。また、複雑な家庭環境の児童生徒がいるため、事前に講師等との打合せの際に伝える等した。</p> <p>助産師や産婦人科医師による専門的な立場から、パワーポイント資料や動画を工夫して、見たり聞いたり児童生徒にわかりやすく命の大切さを具体的に学習できた。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課 評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">                     評価基準                      A: 目標達成(100%以上)                      B: 概ね達成                      (80~100%未満)                      C: 少し下回った                      (60~80%未満)                      D: 大きく下回った                      (60%未満)                 </td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>B</td> </tr> </table>	自課 評価	R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成 (80~100%未満) C: 少し下回った (60~80%未満) D: 大きく下回った (60%未満)	R4	B	R5	B	R6	B	R7	B	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>・体育科、保健体育科における「性に関する指導」をより深めるための方法として、外部講師を招いた指導や、胎児人形や沐浴人形など教材を用いた体験型学習の提案も引き続き行う。</p> <p>・中学生の中で、性交を「いのち」と結びつけることができず、軽く捉えている生徒がいたり、ひとり親家庭や経済的困難さがある家庭が多い中、正しい知識を得ることで、命や自他を尊重する人間関係について考えることを学ばせたい。</p> <p>・養護教諭の研修会等で、性に関する指導の計画的な取組を啓発する。</p>
		自課 評価	R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成 (80~100%未満) C: 少し下回った (60~80%未満) D: 大きく下回った (60%未満)															
			R4	B																
			R5	B																
			R6	B																
			R7	B																
		7	健康教育(性に関する指導)の推進	<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>学校における「性に関する指導」について、体育科・保健体育科の他に生活科、理科、家庭科、道徳科等関連教科においても実施する他に、学校行事といった特別活動等、教育活動全体を通じて計画的に実施する。</p> <p>子供たちの心身の発育・発達や性に関する内容について理解させ、健康づくりの大切さを認識させる。また、危険を回避するとともに、自らの健康を管理し、改善する能力を育てる。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>授業を通して、思春期では身体や心に変化が起こり、その成長には個人差があることを理解することができていた。振り返りシートで「体のこと、心のこと、困ったことや悩みができたなら誰かに相談しようと思いましたが」の問いに、「分からない」と回答した児童生徒がいた。</p> <p>相談先については、日ごろから困ったときどうやって助けを求めたらいいかを伝えていく必要がある。</p>															
		◆ <b>事業(概要)</b>		<p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>・生命や人格の尊重、男女平等や男女相互の理解と協力の重要性、自己や他者を尊重する態度を育み、望ましい人間関係を築いていける資質や能力を育てる。</p> <p>・性に関する科学的知識や自他の心身の健康のためにできることを学ぶことを通して、命や自他を尊重した行動選択・意思決定ができる態度を育成する。</p>	<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		0	0	0	0	0	<p>◆<b>検証委員会からの点検項目</b></p>	<p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p>	
		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7													
			0	0	0	0	0													
◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b>		<p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>・胎児人形やエプロンシアター等の教材を用いた体験型学習といった、命の大切さを具体的に学習できるように指導・支援する。</p> <p>・養護教諭の研修会等で性に関する指導の取組を啓発する。</p>	<p>◆<b>推進委員会からの点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p>																	
◆ <b>活動指標(目標)</b>		<p>◆<b>(参考)関連する数値目標</b></p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上ほか全8項目増加</p>	<p>◆<b>推進委員会からの点検コメント</b></p> <p>【課題等】</p>																	
◆ <b>(参考)関連する数値目標</b>		<p>◆<b>必要</b></p> <p>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p>	<p>◆<b>必要</b></p> <p>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p>																	
◆ <b>(参考)関連する数値目標</b>		<p>◆<b>効率性</b></p> <p>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</p>	<p>◆<b>効率性</b></p> <p>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</p>																	
◆ <b>(参考)関連する数値目標</b>		<p>◆<b>有効性</b></p> <p>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p>	<p>◆<b>有効性</b></p> <p>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p>																	
◆ <b>(参考)関連する数値目標</b>		<p>◆<b>工夫・配慮</b></p> <p>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	<p>◆<b>工夫・配慮</b></p> <p>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>																	
◆ <b>(参考)関連する数値目標</b>																				

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)					
		No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》					自課評価	R3	C	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》				
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	1	ア	No.	事業名		◆具体的取組《工夫や配慮した点等》						R3	C	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》	
		8		市職員に対する研修		・高知市実施の人権研修の他、こうち人づくり広域連合実施の研修へ対象となる職員を派遣し、人権に関する啓発及び意識改革を行った。 ・派遣研修は、各部局研修委員会から派遣研修の推薦を受け、選考を行った。					男女共同参画社会づくりや人権に関する最新の法令や政策を定期的に反映しながら、より効果的な研修機会を提供していく。  また、各部局研修委員会とも連携しながら、研修案内を全庁的に周知し、引き続き、各種研修機関へ職員を積極的に派遣していく。						
		◆事業(概要)		こうち人づくり広域連合と連携し、男女共同参画社会づくりに係る研修や人権研修を実施する。 また、女性職員の能力開発や意識改革のため、自治大学校や市町村アカデミーなど各種研修機関へ積極的に派遣する。					◆検証《達成状況、その要因》					●階層別人権研修(新採研修200人、基本(一般)研修172人、基本(管理職)研修61人)、人権・コンプライアンス研修(79人) ●職場人権研修(3,422人) ●ダイバーシティ推進研修(34人) ●派遣研修 ・市町村アカデミー「人権を尊重した地域社会の形成」「管理職を目指すステップアップ講座」(各1人) ・国際文化アカデミー「女性リーダーのためのマネジメント研修」(1人) ・日本経営協会「地方自治体女性職員交流研究会」(1人)  人権研修推進員研修を人権とコンプライアンス推進の2部構成として実施。受講率も高く、職場人権研修の実施に真剣に取り組む所属長の姿勢が伺える。			
		◆男女共同参画の視点からの目的		・男女の人権に対する啓発等、人権に対する市職員の意識啓発・能力発揮促進のために研修を実施する。 ・階層別研修や管理職の研修等に男女共同参画社会づくり研修を実施、全職員また意思決定権限のある管理職員の意識改革を促す。					◆推進委員会の点検項目							◆推進委員会から点検コメント	
		◆活動指標(目標)		・こうち人づくり広域連合実施の階層別研修を受講することで、各階層で男女の人権に関する啓発を継続する。 ・職員の意識改革のために、2年目課長補佐級職員をダイバーシティ推進研修へ派遣する。 ・女性リーダー職員育成のため、研修機関等へ計画的に派遣することで女性職員の能力開発の機会を継続する。					◆決算額(千円)					必要性		【特に良かった点等】	
		(参考)関連する数値目標		男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上ほか全8項目増加					R3 R4 R5 R6 R7					効率性		【課題等】	
				48 100 177 251					担当課					有効性			
				写真等					人事課					工夫・配慮			


基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	<table border="1"> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ソーレにおける広報・啓発及び情報提供</td> </tr> </table>	No.	事業名	9	ソーレにおける広報・啓発及び情報提供	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="5">評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	B	R6	B	R7		<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p>
		No.	事業名																		
9	ソーレにおける広報・啓発及び情報提供																				
自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)																		
	R4	A																			
	R5	B																			
	R6	B																			
	R7																				
<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>&lt;広報・啓発&gt; 情報紙「ソーレ・スコープ」発行(年4回)、メールマガジン発行、SNSによる情報発信等</p> <p>&lt;情報提供&gt; 男女共同参画に関する図書・DVD・情報等の提供 図書・DVD購入、図書団体貸出、新聞クリッピング等</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報紙 7,000部発行</li> <li>メールマガジン発信件数 延べ4,800件</li> <li>SNSによる情報発信             <ul style="list-style-type: none"> <li>Facebook リーチ数 10,000</li> <li>Twitter インプレッション数 200,000</li> </ul> </li> <li>団体貸出先 10件</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加</p>	<p>&lt;広報・啓発&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソーレ・スコープ発行(年4回) 各7,000部</li> <li>メールマガジン発信件数 延べ5,569人(登録者数477件)</li> <li>ホームページアクセス数 47,614件</li> <li>SNSによる情報発信             <ul style="list-style-type: none"> <li>Facebookリーチ数 10,013件</li> <li>X(旧Twitter)インプレッション数 54,932件</li> <li>Instagramインプレッション数 3,610件</li> </ul> </li> <li>旭やらかい祭り(高知市)及び人権フェスティバル(高知市)において啓発展示や情報紙等配布</li> </ul> <p>&lt;情報提供&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書、DVD蔵書数 11,611冊・本</li> <li>利用登録者数 8,371人</li> <li>図書団体貸出 10件 389冊 DVD2本(市町村7件、大学2件、団体1件)</li> <li>新聞クリッピング 更新24回</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5,859</td> <td>5,464</td> <td>5,947</td> <td>5,571</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 ソーレ</p> <p>写真等 (男女共同参画講座の様子をInstagramで紹介)</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		5,859	5,464	5,947	5,571		<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>概ね目標は達成できているが、X(旧Twitter)インプレッション数が指標を下回った。SNSは若い世代の利用が多いとされるが、関心があるワードを検索し情報を得るといより、既にフォローをしているサイトのタイムラインをチェックしているという傾向があり、まず当センターをフォローしてもらえよう、登録投稿の時間帯や興味を引いてもらいやすいよう、内容の工夫が必要。</p>	<p>情報紙やホームページ、SNSによるより分りやすくきめ細やかな情報発信に努めるとともに、啓発誌や動画等の多様な啓発ツールの作成及び活用に努める。</p>						
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																
	5,859	5,464	5,947	5,571																	

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)					Action(見直し)
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	1	ア	No.	事業名	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> 講座名: 思うがままに服を着る、それはあなたが自由である証 開催日: 10月12日(土) 講師: 田中 史緒里(株式会社クーゼス代表取締役) 参加者: 29名、オンライン30名	自課評価 R3 ー R4 B R5 B R6 A R7	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> 引き続き、次年度もSOGIに関する講座を実施し、性の多様性から自分自身のことを考え、多様性を認めあうことの大切さを学んでもらう。  実施時期: 9月~10月頃 開催方法: オンデマンド配信		
				10	男女共同参画推進事業(SOGIに関する講座)						
		<b>◆事業(概要)</b>					<b>◆検証《達成状況、その要因》</b> 市民に向けたSOGI及びジェンダーへの理解について講座を行い、啓発に努めた。テーマの通り一切の妥協をしない生き方に惹かれたのか10代から20代の参加者が6割を超えていた。また講師が20代であることで、若い世代が等身大の生き方を学ぶとともに、LGBTに対する理解を素直に捉えていく機会になったと考える。オンライン配信の実施により、参加者が増加した。				
		・SOGIに関する講座 ジェンダーの多様性への理解を深め、性自認、性的指向の尊重につながるよう啓発に取り組む。									
		<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b>					決算額(千円) R3 ー R4 127 R5 147 R6 186 R7				
		社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。									
		<b>◆活動指標(目標)</b>					担当課 ソーレ				
		・SOGIに関する講座 参加者数 30名									
		<b>(参考)関連する数値目標</b>					写真等(講座チラシ) 				
		男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目): 社会全体25%以上 ほか全8項目増加									

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)					Action(見直し)									
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	政策、方針決定過程における男女平等の促進	1	イ	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内において審議会等への女性委員の登用について理解を求めため、男女共同参画推進本部本部会、幹事会において、女性委員の登用及び取組状況を報告した。</li> <li>・女性委員がいない審議会の所管課にヒアリングを行う等登用について働きかけを行った。</li> <li>・庁内掲示板で女性委員の登用を呼びかけた。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr><td>R4</td><td>B</td></tr> <tr><td>R5</td><td>B</td></tr> <tr><td>R6</td><td>B</td></tr> <tr><td>R7</td><td>B</td></tr> </table>	自課評価	R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6	B	R7	B	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き庁内への働きかけを継続するとともに、より効果的な手段を検討していく。</li> <li>・庁内関係課へのヒアリング等の結果をもとに分析する。</li> </ul>
				自課評価					R3	B		評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)								
		R4	B																	
		R5	B																	
		R6	B																	
		R7	B																	
		11	審議会等の女性登用の推進																	
		◆ <b>事業(概要)</b>		市が所管する各種審議会の女性委員比率の向上及び女性委員がいない審議会等の数を減少させるため、庁内関係課へ調査、働きかけ等を継続的に行う。																
		◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b>		政策・方針決定過程への男女平等の促進により、多様な市民の意見を反映させることができる。																
		決算額(千円)	R3	R4	R5			R6	R7	◆ <b>検証《達成状況、その要因》</b>		<p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的な目標は「各審議会における比率が40%未満にならないこと」と条例に定められているため、条例の数値を目指してもらいたい。</li> <li>・女性委員を登用するためには、関係団体に推薦依頼を出すだけでなく、依頼方法も工夫が必要。</li> <li>・審議会委員について、条例等で定められたとおりの選任方法では、女性を選べない場合もある。女性を入れる工夫をしなければ現状は変わらない。</li> <li>・現在女性登用に至っていない審議会は、その理由を明確にし、困難な場合は除外規定を設ける等の整理も必要。</li> </ul>								
0	0	0	0	0	◆ <b>検証《達成状況、その要因》</b>															
◆ <b>活動指標(目標)</b>		・庁内関係課へ調査を行うとともに、女性委員登用の働きかけを行う。																		
◆ <b>推進委員会の点検項目</b>		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。			◆ <b>検証《達成状況、その要因》</b>														
担当課	人権同和・男女共同参画課				効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。														
写真等	/				有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。														
◆ <b>(参考)関連する数値目標</b>					工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。														
市の審議会等で女性がない審議会数:0会																				


基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)					
		No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》					自課評価	R3	C	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》				
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	政策、方針決定過程における男女平等の促進	12	各役職段階に占める女性職員の割合の向上	◆事業《概要》 高知市特定事業主行動計画に基づき、事務系の職種について男女の区別なく実績・能力に基づき、管理的地位への登用を行う。									R4 C R5 C R6 B R7	C	C	◆対応《改善、今後どのようにするか》 女性職員の活躍のためには、長時間勤務の是正や男性の家事・育児等への参加、固定的性別役割分担意識の解消等が課題であり、女性職員に限らず広く職員全体への意識付けが必要であると考えている。そのためにも、引き続き庁内掲示を活用し、ワークライフバランスや女性活躍に関する情報提供に努めていきたい。	
		◆事業(概要)		◆男女共同参画の視点からの目的 女性が能力を十分に発揮できる職場環境を形成し、多角的な視点で業務を推進することで、住民の多様なニーズに対応できる。					◆検証《達成状況、その要因》 ○令和6年度の実績(女性職員の割合) ・部長・副部長級:20.0% ・課長級:20.2% ・課長補佐級:42.6%  各役職段階に占める女性職員の割合について、数値目標(令和7年度末時点)の達成には至っていないものの、全体的に上昇傾向が続いている。								
		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標) 女性職員のキャリア形成についてイメージしやすいような情報や、ワークライフバランスに関する情報等を庁内掲示により周知する。					◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント						
		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標) 女性職員のキャリア形成についてイメージしやすいような情報や、ワークライフバランスに関する情報等を庁内掲示により周知する。					必要性		【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 ・管理職比率は徐々にではあるが、向上しており、取組の成果はできていると評価する。						
		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標) 女性職員のキャリア形成についてイメージしやすいような情報や、ワークライフバランスに関する情報等を庁内掲示により周知する。					効率性		【課題等】 ・市の女性職員のうち、半分は女性であるため、もっと女性管理職を増やす必要がある。女性管理職が増えれば、女性職員もさらに働きやすい職場となる。 ・管理職比率を更に向上させるため、女性管理職がロールモデルとなり、後輩を育てるための課題や提言、後輩の指導を行うような女性の組織をつくって自ら取り組む姿勢、アピールすることも考えてはどうか。						
		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標) 女性職員のキャリア形成についてイメージしやすいような情報や、ワークライフバランスに関する情報等を庁内掲示により周知する。					有効性								
		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標) 女性職員のキャリア形成についてイメージしやすいような情報や、ワークライフバランスに関する情報等を庁内掲示により周知する。					工夫・配慮								
		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標) 女性職員のキャリア形成についてイメージしやすいような情報や、ワークライフバランスに関する情報等を庁内掲示により周知する。													
		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標) 女性職員のキャリア形成についてイメージしやすいような情報や、ワークライフバランスに関する情報等を庁内掲示により周知する。													
		◆活動指標(目標)		◆活動指標(目標) 女性職員のキャリア形成についてイメージしやすいような情報や、ワークライフバランスに関する情報等を庁内掲示により周知する。													


基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)					Action(見直し)		
1	イ	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>女性の活躍応援講座【オンデマンド配信】</p> <p>講座名:「完璧じゃないほうが魅力的なリーダーになれる!～仕事と人生を豊かにする3つの法則～」</p> <p>開催日:10月21日～11月3日</p> <p>講師:山本 幸美(株式会社プライド代表取締役社長)</p> <p>参加者:150名</p>	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>次年度も企業研修としての活用を想定し、オンデマンド配信により実施。</p> <p>実施時期:10月</p> <p>実施方法:オンデマンド配信</p>	自課評価	R3	B	<p>評価基準</p> <p>A:目標達成(100%以上)</p> <p>B:概ね達成(80～100%未満)</p> <p>C:少し下回った(60～80%未満)</p> <p>D:大きく下回った(60%未満)</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>女性活躍に必要なマインド&amp;スキルアップにつながった。企業研修として活用できるよう、オンデマンド配信により実施。広報を高知県経営者協会に協力してもらった。</p>			
		R4	A				R5	A			R6	A	R7
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	政策、方針決定過程における男女平等の促進	◆ <b>事業(概要)</b>		<p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7			
		◆ <b>活動指標(目標)</b>			担当課	ソーレ							
		◆ <b>活動指標(目標)</b>			写真等(講座チラシ、オンデマンド配信画面)								
		(参考)関連する数値目標			男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加								


基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)					Action(見直し)				
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	政策、方針決定過程における男女平等の促進	14	事業名 情報の収集及び提供、広報・啓発事業(政治分野への女性の参画)	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 講演、研修会の開催等啓発事業を通じた政治分野への女性の参画に関する情報の提供を行うとともに、情報紙やホームページ、SNSによる情報発信や多様な啓発ツールによる意識啓発を行う。					
				・ソーレホームページの統計資料を収集し、ホームページに関連データのリンク先を掲載した			R4	A							
				・県民からの企画提案事業「高知の先駆的女性群像～男女平等と権利のために立ち上がった女性たち～」講演会の実施を委託 参加者:33名			R5	A							
				・ソーレまつり2025において、シンポジウム「くらしも政治もジェンダー平等でやるがやきね」を開催 参加者:52名 ※オンデマンド配信を実施			R6	A							
							R7								
				◆事業(概要)		◆検証《達成状況、その要因》									
				・情報収集及び提供、広報・啓発情報紙、SNS、ホームページ等を活用し、政治分野への女性の参画に関する情報提供及び啓発を行う。		様々なデータの提供、講演会等企画運営を委託することにより、女性参画の現状及び女性の政治分野への参画拡大の重要性について、県内広域での周知をすることができた。									
				◆男女共同参画の視点からの目的		決算額(千円)		R3	R4	R5	R6	R7			
				社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。		-		-	-	-	-				
				◆活動指標(目標)		担当課		ソーレ							
情報紙及びSNSを通じ、政治分野への女性の参画に関する情報等を発信する。		写真等(講演会)													
(参考)関連する数値目標															
男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加															

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等等暴力を根絶するための啓発の充実	<p>No. 事業名</p>	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p>	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p>	
		<p>15 人権啓発の推進</p> <p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>人権尊重の意識を高める啓発活動を実施する。(講演会、関係機関と連携した人権啓発、出前講座など)</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>市民一人ひとりが人権尊重の理念に対する理解を深め、社会全体の人権意識の高揚をはかる。</p>	<p>●啓発活動 計27回</p> <p>・部落差別をなくする強調旬間記念講演会 演題:「部落差別の現在-部落解放への展望」 講師:内田 龍史さん 参加者190名</p> <p>・部落差別をなくする強調旬間映画「破戒」上映会 参加者:29名</p> <p>・企業向け講演会 演題:「誰もが知らぬ間にハラスメントの加害者に!？」 講師:大谷 邦郎さん 参加者74名</p> <p>・人権の花運動(人権擁護委員との連携)の実施 小学校等10か所</p> <p>・サッカー、野球教室(高知県人権啓発センター主催)での啓発 計2回</p> <p>・出前講座 12回 計422名</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>・部落差別をなくする強調旬間事業及び企業向け講演会のアンケートで「人権についての関心や理解が深まった」との回答が平均して85%を超えていた。</p> <p>・出前講座では「じんけんってなんだろう」「防災をジェンダー平等の視点で考えよう」等のジェンダーや性の多様性に関する出前講座を行った。</p>	
<p>決算額(千円)</p>	<p>R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>1,691 1,457 1,418 1,305</p>	<p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p>	<p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p>		
<p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>講演会等の啓発活動を年15回以上とする。</p>	<p>担当課</p> <p>人権同和・男女共同参画課</p>	<p>◆<b>必要性</b></p> <p>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p>	<p>【特に良かった点等】</p>		
<p>◆<b>写真等</b></p>	<p>写真等</p> 	<p>◆<b>効率性</b></p> <p>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</p>	<p>【課題等】</p>		
<p>(参考)関連する数値目標</p>	<p>DVを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上</p>	<p>◆<b>有効性</b></p> <p>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p>	<p>【課題等】</p>		
<p>◆<b>工夫・配慮</b></p>	<p>◆<b>工夫・配慮</b></p> <p>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	<p>◆<b>評価基準</b></p> <p>A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</p>	<p>◆<b>評価</b></p> <p>R3 A R4 A R5 A R6 A R7</p>		

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)		
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実	No.	事業名	◆ <b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・パネル展開催(11月5日～11月15日、高知市役所本庁舎1階北側通路) ・庁内トイレのDVカードの設置(44箇所) ・課Instagramでの記事掲載 ・庁内デジタルサイネージでのDV防止啓発動画の放映(11月1日～11月30日)					自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆ <b>対応《改善、今後どのようにするか》</b> ・SNS等を活用し、若年層を対象に継続して啓発を行っていく。 ・DVで悩んでいる方に必要な情報が届くように他機関と協力した啓発方法を検討する。	
		16	DV防止啓発							R4	C			
		◆ <b>事業(概要)</b> ・DVに関する相談先の周知に努める。 ・DVについて正しい知識を持てるよう、若年層への啓発に努める。								R5	A			
		◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b> DV等について正しい認識が持てるよう、若年齢期からの啓発に努める。								R6	A			
		◆ <b>活動指標(目標)</b> DV等の防止啓発のために、パネル展開催(年1回以上)、SNSによる広報、庁内トイレへのDVカードの設置(39箇所)を継続する。								◆ <b>検証《達成状況、その要因》</b> ・引き続きパネル展の開催、DVカードの設置、課Instagramへの記事掲載を行った。 ・パネル展とあわせて、庁内デジタルサイネージでDV防止啓発動画を放映することで、効果的に啓発を行うことができた。				
		◆ <b>推進委員会の点検項目</b>								◆ <b>推進委員会から点検コメント</b>				
		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。		【特に良かった点等】			
		担当課	人権同和・男女共同参画課					効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。		【課題等】			
		写真等						有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。					
		(参考)関連する数値目標	DVを内容まで知っていると感じた人の割合:70%以上					工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。					

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																												
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等等暴力を根絶するための啓発の充実	<table border="1"> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td>17</td> <td>DV・デートDVに関する啓発及び情報提供</td> </tr> </table>	No.	事業名	17	DV・デートDVに関する啓発及び情報提供	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生・生徒等を対象にデートDVに関する出前講座を実施し、意識啓発及び情報提供を行い、参加者へのDV防止啓発を実施 実施件数:8件 参加者:953名</li> <li>・DV防止啓発講演会を開催 参加者:会場57名、オンデマンド586名</li> <li>・小学生と高校生ボランティアにDV防止の周知・意識啓発を行った。</li> <li>・情報紙 ソーレスコープ112号にDV防止講演会(R6年度実施)の概要及び「性的同意」の重要性についての寄稿を掲載し、意識啓発を行った。</li> <li>・パープルリボン・オレンジリボンツリーを中学、高校、大学等に設置し、啓発を行った。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td></td> <td>338</td> <td>346</td> <td>343</td> <td>448</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 <span style="margin-left: 100px;">ソーレ</span></p> <p>写真等(講演会)</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		338	346	343	448		<table border="1"> <tr> <th rowspan="5">自課評価</th> <th>R3</th> <td>B</td> <td rowspan="5">                     評価基準                      A:目標達成(100%以上)                      B:概ね達成(80~100%未満)                      C:少し下回った(60~80%未満)                      D:大きく下回った(60%未満)                 </td> </tr> <tr> <th>R4</th> <td>B</td> </tr> <tr> <th>R5</th> <td>A</td> </tr> <tr> <th>R6</th> <td>A</td> </tr> <tr> <th>R7</th> <td></td> </tr> </table> <p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>出前講座や講演会等の実施により、参加者のDV防止に向けた理解が進んだ。</p>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	A	R6	A	R7		<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>男女共同参画及び女性問題について、デジタル啓発誌や動画等の多様な啓発ツールを作成し、出前講座やSNS等を通じて啓発し、県民の正しい理解につなげる。</p>
		No.	事業名																														
17	DV・デートDVに関する啓発及び情報提供																																
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																												
	338	346	343	448																													
自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																														
	R4	B																															
	R5	A																															
	R6	A																															
	R7																																
		<p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上</p>																															

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)			
		No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》					自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》		
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実	2	ア	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》							自課評価	R3	B
		18	児童虐待予防推進事業	要保護児童対策地域協議会の実施(実務者会議年24回・新規ケース連絡会年12回・代表者会議年1回・個別ケース会議年220回)を開催し、児童虐待予防をメインとして男女の人権尊重にも触れた。					R4	B	◆対応《改善、今後どのようにするか》 令和7年度も引き続き講演会を通しての一般市民向けへの児童虐待予防の啓発と関係機関への児童虐待対応研修を行い、また、必要に応じて子ども家庭支援センター職員が関係機関へ出向いて、出前講座も行って児童虐待予防を積極的に推進していく。 昨年度は医療法人社団光風会三光病院院長、海野 順氏を招き、ネット・ゲーム依存症について理解し、児童虐待予防や児童を適切に養育できるよう講演をしていただいた。毎年市民向けの講演会テーマは変更しており、今年度は講演会テーマを「ペアレント・トレーニング」とし、行動の理解、環境調整や不適切な行動への対応等について保護者が学ぶことにより、子どもとの関わりに理解を深め、児童虐待予防や児童を適切に養育していけるよう子育て世帯への啓発に努める。 講演会は市民向けとして、子育て中の聴講者をより多く獲得するため、広報手段等を工夫し、昨年度より増やしていく。 関係機関への虐待対応研修では、事例を上げ積極的にワークショップ形式もを行い、関係職員の対応力の向上を図っており、今後も継続していくこととしている。さらに保育所への出前研修も行っていくこととしている。				
		◆事業(概要)					・児童虐待予防講演会を、令和6年11月10日に開催。(参加者46名、アンケート回収率93%)広報紙あかいるまち以外に、各関係機関へのチラシの配布し、ホームページ、SNS(facebook、LINE)、ケーブルテレビ等を利用し、積極的に呼びかけし参加者を募った。					R5	B		
		・要保護児童の早期発見や適切な対応を図るために、関係機関、関係団体及び児童の福祉に関連する職務に従事する者等により構成される「要保護児童対策地域協議会」において、当該児童に関する情報や支援についての考え方を共有し、適切な連携のもとで対応する。 ・児童虐待問題に対する深い関心と理解促進、また、虐待の発生予防、早期発見・早期対応推進のため、児童虐待対応研修の実施や、広報紙、講演等を通じて、継続的な広報・啓発活動を行う。					・関係機関に対し、児童虐待対応研修及び子育て支援研修を実施した。(延べ8回、延参加者97名)					R6	B		
		◆男女共同参画の視点からの目的					子どものいる家庭におけるDVは、児童の人権を著しく侵害し、その心身の成長や人格の形成に重大な影響を与えるとともに、将来の世代の育成にも懸念を及ぼす問題であり、関係機関等が連携しつつ、適切な対応に努める必要がある。 また母親が被害者である場合、長期の支配下で依存傾向が強く、判断能力の低下や、経済的自立に段階的な対応が必要な場合があり、特に女性相談支援センターや母子生活支援施設との連携が重要となる。					R7			
		◆活動指標(目標)					決算額 (千円)					◆検証《達成状況、その要因》		◆推進委員会から点検コメント	
		・実務者会及び新規ケース連絡会を毎月開催し、関係機関との情報共有や援助方針の見直し等を行うことにより、要保護児童等への適切な支援を図る。 ・児童虐待についての正しい理解と認識を深めることができるよう、児童虐待予防講演会(年1回)を実施する。 ・関係機関に対し、児童虐待対応研修及び子育て支援研修を継続し行う。					担当課					◆推進委員会の点検項目		【特に良かった点等】	
		(参考)関連する数値目標					846 837 853 814					必要性		・事業がプランの数値目標に結びつくか。	
		DVを内容まで知っている人と答えた人の割合:70%以上					子ども家庭支援センター					効率性		・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	
							写真等					有効性		【課題等】	
										工夫・配慮		・男女共同参画の視点からの配慮があるか。			

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)				Action(見直し)												
		No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》					自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》												
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実	19	情報モラル教育の推進	◆事業(概要) インターネットに関する正しい知識を身に付け、ネットトラブルを未然に防止するため、情報モラル教育を進める。 ・講演、出前研修 ・広報、啓発  ◆男女共同参画の視点からの目的 未成年の健全育成という観点から加害者にも被害者にもさせないという意識で啓発・指導に取り組む。  ◆活動指標(目標) ・依頼のあった学校等で情報モラルの講演や出前授業を実施する。依頼への対応 100% ・インターネットの危険性を伝えるとともにフィルタリングの必要性や正しいネットとの付き合い方等を指導、広報していくよう啓発を行う。  (参考)関連する数値目標 —									◆検証《達成状況、その要因》 ・学校からの依頼には100%対応できた。(96団体・199回) ・学校からは、実際にあったトラブルや事案をもとに授業を実施してくれたことで児童生徒にはストレートに指導が入り、助かったという声や、色々な職種や職種の方が来ていただいたことで、より専門的な観点で授業を展開してくれて効果的だったという声をいただいた。 ・日常的にタブレットの使用や家庭への持ち帰りが始まり、家庭でのタブレットの使用時間が長くなっていたり、低学年のうちからスマートフォンを所持していたりと低学年からの授業依頼も増え、対応できた。					◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・令和6年度より児童生徒の家庭学習にGIGAタブレットが活用され毎日の持ち帰りが行われることにより、ネットトラブルの増加や低年齢化が予想されるため、低学年からの授業依頼が増えてきた。今まで以上に学校と連携して、児童生徒だけでなく保護者や教職員への情報モラル教育の推進や啓発が必要になると考える。しかし、出前授業の実施が少年補導センター主体になってしまっているため、学校主体で取り組んでいただけるように依頼書への記載や、授業内容の改善、「あみのめせかいノート」の活用等を呼びかけていく。また、年々新しいソフトや機能が開発されているので、新しい技術に対応できる知識や授業内容・課題の習得、研究をしていくようにする。							
		◆事業(概要)				・少年補導センターの職員を派遣する際も、小学校・中学校の補導教員が行く場合や、教員と警察籍の職員がペアになって行く場合等、依頼内容に応じて変えていく工夫をした。 ・小・義務教育学校の2年生と6年生に情報モラルの合言葉「あみのめせかい」をデザインした啓発クリアファイルを配付した。 ・小・義務教育学校4年生から6年生までの3年間を通して使用することを目的とした「あみのめせかいノート」を、小・義務教育学校4年生に配付した。					◆検証《達成状況、その要因》				◆対応《改善、今後どのようにするか》										
		◆男女共同参画の視点からの目的				決算額(千円) <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>528</td> <td>574</td> <td>282</td> <td>443</td> <td></td> </tr> </table>					R3	R4	R5	R6	R7	528	574	282	443		◆推進委員会の点検項目				◆推進委員会から点検コメント
		R3	R4	R5	R6	R7																			
		528	574	282	443																				
		◆活動指標(目標)				担当課 少年補導センター					必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。			【特に良かった点等】										
		◆活動指標(目標)				写真等					効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。			【課題等】										
		(参考)関連する数値目標									有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。													
											工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。													

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)	
		No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》					自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	20	人権全般における相談体制の充実	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・人権相談 39件(うち、DVIに関するもの12件)必要に応じ、専門の窓口を案内した。 ・職員が各種研修(人権啓発指導者養成研修会、県主催犯罪被害者等支援研修会他)に参加し、資質向上を図った。 ・特設人権相談(人権擁護委員による相談)について市ホームページでの案内をした。 ・6月1日「人権擁護委員の日」に合わせ、人権擁護委員の周知を目的に、公用車スピーカーから制度について放送し、市内を巡回した。									
		◆事業(概要)		・様々な人権問題についての相談に応じ、関係機関と連携し必要な支援を行う。 ・特設人権相談所の開設 ・相談にあたる職員の資質の向上を目的に各種研修会へ参加する。					◆検証《達成状況、その要因》				
		◆男女共同参画の視点からの目的		あらゆる人権課題の解決とすべての人の人権が尊重される社会の実現を目指す。					◆研修等を通じて、職員の資質向上を図ることができ、人権相談に対しても適切に対応できた。				
		◆活動指標(目標)		・人権相談の受付、必要な機関につなげる。 ・研修等を通じて相談にあたる職員の資質向上及び相談窓口の周知を図る。 ・法務局人権擁護委員と連携し、市民からの予約に応じて特設人権相談所を開設する。					◆検証《達成状況、その要因》				
		(参考)関連する数値目標		DVIについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下					◆検証《達成状況、その要因》				
		決算額(千円)		R3	R4	R5	R6	R7	◆推進委員会の点検項目			◆推進委員会から点検コメント	
				15	48	70	95		必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。				
		担当課		人権同和・男女共同参画課					効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。			【特に良かった点等】	
		写真等							有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。				【課題等】




基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																					
2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2 (イ)DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	<table border="1"> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td>22</td> <td>DV被害者の市営住宅入居</td> </tr> </table>	No.	事業名	22	DV被害者の市営住宅入居	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DV被害を受けており、住宅に困窮しているとの申し出がある方からの相談に応じた(来所しての相談は、R6年度中3件)。</li> <li>・公募時の申込条件の緩和ができる旨を説明し、緊急の場合は目的外入居についての説明を行った。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td rowspan="5">                     評価基準                      A:目標達成(100%以上)                      B:概ね達成(80~100%未満)                      C:少し下回った(60~80%未満)                      D:大きく下回った(60%未満)                 </td> </tr> <tr><td>R4</td></tr> <tr><td>R5</td></tr> <tr><td>R6</td></tr> <tr><td>R7</td></tr> </table> <p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関とも連携し1件については、緊急性を要することから目的外入居の申請を受け付け、許可を行った(その後取下げの意思があり、使用許可は取り消し済み)。</li> <li>・配偶者暴力対応機関等(以下、相談機関)に相談する前に当課へ相談している場合、一旦お話を聞きするようにしているが、被害状況や緊急性について当課では判断し難いため、当課での事業内容について一度ご説明の上、相談機関への案内をしている(相談者からすれば何度も同じ話を聞かれるため、二度手間と感ずるのではないか)。</li> </ul> <p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	自課評価	R3	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	R5	R6	R7	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者から問い合わせがあった際は、まず相談機関へ相談済みか問うこととし、まず被害につき相談の上、発行される証明書が必要であることを伝える。</li> <li>・事業内容について、聞きたいということであれば説明することとし、安易に被害状況について聞き取りを行わない(最終的に当課へ繋がることとなれば、その際に詳しく、関係機関及び本人から聞き取る必要があるため)。</li> </ul> <p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>		
		No.	事業名																							
22	DV被害者の市営住宅入居																									
自課評価	R3	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																								
	R4																									
	R5																									
	R6																									
	R7																									
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																									
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																									
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																									
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																									
<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>DV被害者の住宅確保のため、公募時の申込条件の緩和(DV被害者である確認ができたものについては婚姻関係が解消されたとみなし、母子父子世帯向け住宅または単身向け住宅への入居資格を有する)や緊急を要する事情がある場合には市営住宅の目的外入居を行う。</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>関係各課と連携し、DV被害者が安心して支援を受けられる体制を充実していく。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>DV被害者からの相談に応じるとともに、住民異動や福祉に関する相談についても関係各課と連携を取り、市営住宅に係る情報提供についても積極的に行っていく。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVIについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下</p>	<table border="1"> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <th>担当課</th> <td colspan="5">住宅政策課</td> </tr> <tr> <td>写真等</td> <td colspan="5" rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7					-		担当課	住宅政策課					写真等						
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																					
				-																						
担当課	住宅政策課																									
写真等																										


基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)	Check(点検)					Action(見直し)	
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	イ	No.	事業名	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・一般相談 2,074件 ・法律相談 月2回(1回4名まで) 92件 ・こころの相談 月2回(1回2名まで)48件 ・男性相談 月4回(1回2名まで) 62件 ・性的少数者対象:にじいろコール～LGBTsに関する相談～ 月1回 6件	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> ・総合的な相談窓口として、情報紙、ホームページ、SNS等で広報し、相談につながるよう、引き続き取り組む。 ・男性相談の4回のうち1回を、zoomによるオンライン対応へ変更。		
		23	相談事業	<b>◆事業(概要)</b> ・女性対象:一般相談(開館日) ・専門相談(法律相談/月2回、こころの相談/月2回) 令和3年度からこころの相談を月2回に拡充 ・男性対象:月4回 ・LGBTsに関する電話相談(にじいろコール)/月1回		R4	A			R5	A
<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。	<b>◆検証《達成状況、その要因》</b> 一般相談件数は前年度比30.1%減となったものの、前々年度以前と比較すると2,000件前後で推移しており、例年並の水準だった。法律相談、男性相談及びにじいろコールの相談件数は前年度より減少したが、こころの相談は前年度より増加した。										
<b>◆活動指標(目標)</b> ・一般相談 2,000件以上(DVを含む)	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	0      0      1,741      1,670				
<b>◆活動指標(目標)</b> ・一般相談 2,000件以上(DVを含む)	担当課	ソーレ									
<b>(参考)関連する数値目標</b> DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下	写真等(相談窓口紹介チラシ)										

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	<p><b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>・相談員スキルアップ研修 テーマ:「対人援助職のセルフケア」 全2回実施</p> <p>①セルフケア力を高める 参加者:会場15名、オンデマンド110名</p> <p>②マインドフルネス体験 参加者:19名</p> <p>・相談関連講座 ①「近いしき仲にも礼儀あり?!〜心地よい親子関係〜」 参加者:29名</p> <p>②女性居場所づくり「ゆるりのしっぽ」 実施回数:6回 参加者:延べ126名</p> <p>※「コスメバンクプロジェクト」と連携し、化粧品セットを初参加で希望する方に無償で提供</p>	<p><b>◆検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>・相談員スキルアップ研修 研修を通じて、県内相談機関及び相談員との連携を推進することができた。また、オンデマンド配信を実施したことで、受講者の増加につながった。</p> <p>・関連講座 女性の居場所づくり「ゆるりのしっぽ」第4回において「ふらりっとゆるりつつつながる相談会」を開催。複合的な悩みを抱え、生きづらさを感じている女性の孤立や孤独を防ぐよう、一時的な支援と合わせて、安心して相談できる機会を提供できた。</p>	<p><b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>・相談員スキルアップ研修 喪失による悲しみを乗り越えるための回復プロセスや、悲嘆と病との線引きを学ぶ研修を行う。オンデマンド配信を実施し、参加者の増加につなげる。</p> <p>「喪失を支える ～回復のプロセスと寄り添う支援～」 ①6月29日開催 ②8月2日開催</p> <p>・女性の居場所づくり事業「ゆるりのしっぽ」全2回 ①5月25日開催 ②12月</p>	
		<p>No. 24 相談体制の充実</p> <p><b>◆事業(概要)</b> 相談関係者に対する研修及び相談に関連する女性問題の解決に向けた啓発 ・相談員スキルアップ研修 ・相談関連講座</p> <p><b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p><b>◆活動指標(目標)</b> ・相談員スキルアップ研修 実施回数:2回、参加者数:各30名 ・相談関連講座 実施回数1回、参加者数20名</p> <p><b>(参考)関連する数値目標</b> DVIについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下</p> <p>決算額(千円) R3 378 R4 654 R5 518 R6 647 R7</p> <p>担当課 ソーレ</p> <p>写真等(講座チラシ)</p> 	<p>自課評価 R3 B R4 B R5 B R6 B R7 B</p> <p>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</p>		


基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)				Action(見直し)
		No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》					自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実	25	ハラスメント防止研修	<p>◆事業(概要)</p> <p>市職員等を対象としたハラスメント防止研修を実施し、職場におけるハラスメントの防止と、ハラスメントの事態が生じた際の迅速・適切な対応について、理解を深めてもらう。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>職員一人ひとりが、お互いの価値観等の違いを認め、尊重し、協力し合うことで、ハラスメントのない職場づくりを目指す。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>・管理監督職員を対象に、ハラスメント防止に関する内容を含めた職場環境づくり研修を実施する。 ・ハラスメント苦情相談窓口の周知を図る。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上</p>						R3	A		<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>●風通しの良い職場環境づくり研修…(330人、受講率76%)</p> <p>・ハラスメント苦情相談員の周知について、6月に庁内掲示を行い、新採研修(4月、10月、1月実施)において周知を行った。</p>
		<p>◆事業(概要)</p> <p>市職員等を対象としたハラスメント防止研修を実施し、職場におけるハラスメントの防止と、ハラスメントの事態が生じた際の迅速・適切な対応について、理解を深めてもらう。</p>					R4	A	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>ハラスメントのない職場を目指して、研修内容の充実を図るとともに、受講対象者に研修の必要性を理解させ、受講を促す。 また、研修の効果についても検証し、今後の研修内容に反映していく。</p>				
		<p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>職員一人ひとりが、お互いの価値観等の違いを認め、尊重し、協力し合うことで、ハラスメントのない職場づくりを目指す。</p>					R5	A					
		<p>◆活動指標(目標)</p> <p>・管理監督職員を対象に、ハラスメント防止に関する内容を含めた職場環境づくり研修を実施する。 ・ハラスメント苦情相談窓口の周知を図る。</p>					R6	A					
		<p>(参考)関連する数値目標</p> <p>セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上</p>					R7						
		<p>決算額(千円)</p> <p>R3: 0, R4: 0, R5: 0, R6: 0, R7: 0</p>					◆推進委員会の点検項目			◆推進委員会から点検コメント			
		<p>担当課</p> <p>人事課</p>					必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	【特に良かった点等】				
		<p>写真等</p>					効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。					
							有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	【課題等】				
							工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。					


基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2 ウ No. 事業名 26 出前講座 ◆事業(概要) ハラスメント防止に関する出前講座の実施。 ◆男女共同参画の視点からの目的 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。 ◆活動指標(目標) 申込に応じて出前講座に講師を派遣する。 (参考)関連する数値目標 セクシャル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・サポーター講師 17件 参加者数2,077名(うち男性790名)	自課評価 R3 A R4 A R5 A R6 A R7 ◆検証《達成状況、その要因》 出前講座の依頼件数及び参加者数は前年度に比べ約1.2倍と増加した。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・引き続き広報によるニーズの掘り起こしや、郡部からも参加しやすいように、講座のオンデマンドまたはライブ配信を活用する。 ・ソーレ登録のサポーター講師の発掘を行う。	
		決算額(千円) R3 29 R4 58 R5 103 R6 139 R7 担当課 ソーレ 写真等(出前講座紹介チラシ) 			


基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)											
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	No. 27 性的少数者に関する電話相談  ◆事業(概要) にじいろコール(LGBTsに関する相談) 毎月第4土曜日 13:30~16:30 専用電話番号(フリーダイヤル)で専門の相談員がLGBTsに関する相談を受ける。  ◆男女共同参画の視点からの目的 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。  ◆活動指標(目標) LGBTsに関する相談を受ける。  (参考)関連する数値目標 —	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 月1回 相談件数6件  実施時期 毎月第4土曜日 13:30~16:30  実施方法 専門相談員による電話相談	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>D</td> <td rowspan="5">                             評価基準                              A:目標達成(100%以上)                              B:概ね達成(80~100%未満)                              C:少し下回った(60~80%未満)                              D:大きく下回った(60%未満)                         </td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> ◆検証《達成状況、その要因》 情報紙に相談室の案内を毎号掲載するとともに、テレビ、ラジオ、SNS等により積極的な広報を行った。相談件数は前年より減少した。	自課評価	R3	D	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6	B	R7		◆対応《改善、今後どのようにするか》 引き続き、相談窓口についての積極的な広報を行い、県内全域への周知を図る。
		自課評価	R3		D	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)										
R4	B															
R5	B															
R6	B															
R7																
<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>218</td> <td>156</td> <td>157</td> <td>156</td> <td></td> </tr> </table> 担当課 ソーレ  写真等(相談窓口紹介チラシ) 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		218	156	157	156					
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7											
	218	156	157	156												

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	ワーク・ライフ・バランスの推進	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・表彰企業数1社(応募1社)。 日興電設株式会社 ・8月20日に本庁舎特別応接室にて表彰式を実施した。	自課評価 R3 A R4 A R5 A R6 D R7	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> ・多くの市内事業者へ応募してもらえるよう募集時の広報の仕方を工夫する。 ・募集時の広報や表彰企業の好事例紹介を通し、市内事業者へ男女共同参画の取組の浸透を図っていく。
		<b>◆事業(概要)</b> 「男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」に基づき、男女共同参画の推進に関する活動を積極的に実施している事業者を表彰し、市内事業者の男女共同参画推進を目指す。	<b>◆検証《達成状況、その要因》</b> ・目標数に至らなかった。 ・応募について、問い合わせは数社あったが、要件を満たさず、応募には至らなかったため、応募要件の見直しや広報の工夫等が必要。 ・受賞企業の取組内容を紹介したチラシ、動画を作成し、事業のPRを行った。		
		<b>◆男女共同参画の視点</b> 育児・介護休業制度の充実やワーク・ライフ・バランスの推進、女性活躍を支援する取組などを積極的に実施する事業者を表彰することで、働く場におけるジェンダー平等の意識向上を図る。	<b>◆推進委員会の点検項目</b>	<b>◆推進委員会から点検コメント</b>	
		<b>◆活動指標(目標)</b> 表彰企業数 3社以上	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	【特に良かった点等】	
		<b>(参考)関連する数値目標</b> 高知市男女共同参画推進企業の表彰企業数:毎年3社以上	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	【課題等】	
		写真等 	有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。		
		決算額(千円) R3 28 R4 20 R5 29 R6 25 R7	工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		
		担当課 人権同和・男女共同参画課			




基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)											
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	ワーク・ライフ・バランスの推進	<p>No. 事業名</p>	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p>	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p>	<p>引き続き労働ニュースを発行し、雇用、労働の制度改正に関するニュースを中心に、時宜に合った情報を届ける。</p>											
		<p>30 「高知市労働ニュース」の充実・情報提供の拡充</p>	<p>中小企業等に対する助成制度を中心に、労働関連法の改正等の情報を掲載した。できるだけ多くの方に読んでいただけるように、読者目線で興味を引く内容となるよう心がけた。</p>	<p>自課評価</p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td>B</td><td rowspan="7">評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)</td></tr> <tr><td>R4</td><td>B</td></tr> <tr><td>R5</td><td>B</td></tr> <tr><td>R6</td><td>B</td></tr> <tr><td>R7</td><td></td></tr> </table>		R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6	B	R7	
		R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)												
		R4	B													
		R5	B													
		R6	B													
		R7														
		<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>平成18年度から発行している「高知市労働ニュース」で労働関係の施策について周知を図る。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>年4回発行(令和6年度の主な内容) 6月号:産業政策課の助成事業ほか 9月号:職場におけるハラスメントほか 12月号:高知市技能功労者表彰式、高知市男女共同参画推進企業表彰式ほか 3月号:育児・介護休業法の改正ほか</p>													
		<p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>働きたい人が性別にかかわらずその能力を十分に発揮できるように、労働者や事業者に対して法や制度の周知を図る。</p>	<p>◆<b>検証委員会からの点検項目</b></p>			<p>◆<b>検証委員会から点検コメント</b></p>										
		<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>9</td><td>9</td><td>10</td><td>6</td><td></td></tr> </table>	R3	R4		R5	R6	R7	9	9	10	6		<p>◆<b>必要性</b></p> <p>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p>	<p>【特に良かった点等】</p>	
R3	R4	R5	R6	R7												
9	9	10	6													
<p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>・「高知市労働ニュース」を年4回発行し、情報誌への折込や労働組合等に配布するとともに、市ホームページに掲載し幅広く広報を図る。 ※配布先:情報誌「情報プラットフォーム」:1,000部、労働組合:200か所</p>	<p>◆<b>効率性</b></p> <p>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。</p>	<p>【課題等】</p>														
<p>(参考)関連する数値目標</p>	<p>◆<b>有効性</b></p> <p>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p>															
<p>高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数:毎年3社以上</p>	<p>◆<b>工夫・配慮</b></p> <p>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>															
<p>写真等</p> 																

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	ワーク・ライフ・バランスの推進	<table border="1"> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td>31</td> <td>ワークライフバランス事業 (男性家事・介護基礎講座)</td> </tr> </table>	No.	事業名	31	ワークライフバランス事業 (男性家事・介護基礎講座)	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>男性の家事・介護への参加を促進し、性別役割分担についての気づきやワークライフバランスの充実について考える講座として座学や講話、親子料理教室等を実施した。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課 評価</td> <td>R3</td> <td>C</td> <td rowspan="5">評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成 (80~100%未満) C: 少し下回った (60~80%未満) D: 大きく下回った (60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	自課 評価	R3	C	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成 (80~100%未満) C: 少し下回った (60~80%未満) D: 大きく下回った (60%未満)	R4	B	R5	B	R6	A	R7		<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>男女の性別役割分担意識への気づきと、身辺自立やワークライフバランスについて考える機会を提供し、男性の家事・育児・介護への主体的な参加を促進する。</p>
		No.	事業名																		
31	ワークライフバランス事業 (男性家事・介護基礎講座)																				
自課 評価	R3	C	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成 (80~100%未満) C: 少し下回った (60~80%未満) D: 大きく下回った (60%未満)																		
	R4	B																			
	R5	B																			
	R6	A																			
	R7																				
<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>・男性家事・介護基礎講座 男性の家事・育児・介護への参画を促進し、男女の性別役割分業についての気づきと身辺自立やワーク・ライフ・バランスの充実について考える機会を提供する。 夏休み親子教室、家事講座、介護講座の3講座を実施。</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>・男性家事・介護基礎講座 実施回数 3回 参加者数 66名</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>—</p>	<p>①家事男親子料理教室 講師：山本尚高(サクラハウス新阪急高知副総料理長) 参加者：10名</p> <p>②家事男料理教室 講師：島村昌利(RKC調理製菓専門学校校長) 参加者：9名</p> <p>③「ケアメンをサポート」男性介護者のためのオンデマンド 参加者：92名 講師：苅谷 貢(認知症の人と家族の会高知県支部副代表) 講師：中山祐介、福島新二(男性介護者) 講師：田部佳枝(高知市基幹型地域包括支援センター)</p> <table border="1"> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td></td> <td>27</td> <td>163</td> <td>219</td> <td>108</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 ソーレ</p> <p>写真等(講座チラシ、講座第2回目の様子)</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		27	163	219	108		<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>第3回講座をオンデマンド配信とすることで、来館が困難な介護者の参加につながった。固定的な性別役割分担意識やワークライフバランスについて考える機会を提供できた。</p>	<p>夏休みシーズンに男性保護者(親、祖父)と子(孫)を対象とした料理教室を実施するとともに、家事講座、介護講座を全3回実施する予定。また、講座の内容によるオンデマンド配信を検討し、受講者の増加につなげる。</p>						
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																
	27	163	219	108																	

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)												
3	イ	No.	事業名	<p><b>◆事業(概要)</b> 地域子育て支援拠点事業(子ども育成課・保育幼稚園課所管) 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談や情報提供、助言その他の援助を行う。 【子ども育成課所管】 社会福祉法人3か所、学校法人1か所に業務委託して市内4か所(東・西・南・北部)の地域子育て支援センターで実施。また、NPO法人が開設している地域子育て支援センター2か所と学校法人が開設している地域子育て支援センター2か所に補助実施。</p> <p><b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 性別に関わらず、育児に関わることが子どもの健全育成につながることから、交流・相談の場を男女ともに行きやすく身近なものとなるよう図り、子育て家庭が孤立しないよう、地域での子育て支援を推進していく。</p> <p><b>◆活動指標(目標)</b> ・施設数(高知市合計)16か所 ・地域子育て支援拠点事業 延べ利用者数(高知市合計)61,600人</p> <p><b>(参考)関連する数値目標</b> 社会資源「集いの場」状況:705以上</p>	<p><b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> 感染症の影響が少ないなかで年間を通して開設することができた。乳児や妊婦が多く利用する施設であることから、施設の衛生管理を徹底し、利用者が安心して過ごせる環境となるよう図った。 当事業を実施している施設は妊娠から子育て期にかけて、切れ目ない支援を行い、保護者の性別に関わらず、利用することができる施設である。父親の利用は土日祝が中心ではあるが、育児休業中の父親の平日の利用もあり、父親が子どもと過ごしやすいう母親とは違う関わり方ができるよう取り組んだ。 また、地域団体や学生等と連携した行事や講座の実施を通して、地域とつながるよう図った。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="5">                     評価基準                      A:目標達成(100%以上)                      B:概ね達成(80~100%未満)                      C:少し下回った(60~80%未満)                      D:大きく下回った(60%未満)                 </td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	A	R6	A	R7		<p><b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> 市内16か所の施設で、子育て親子が交流し、相談や情報提供等の援助が得られるよう事業を実施している。今後は地域との繋がりがづくりに取り組んでいく。 土曜日に6施設、日曜日に4施設、祝日に3施設が開設しており、父親を含め様々な家庭の事情に沿った利用しやすい環境となるよう図っている。 相談・情報提供においては、従来の電話に加えて、メールやブログ、SNS等を活用し、保護者等が必要な時に情報にアクセスできる環境を整えている。 なお、延べ利用者数の目標については、子ども・子育て支援法に定める市町村事業計画等に対応した本市における子ども・子育て支援を総合的かつ計画的に推進するための計画である「第2期高知市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度~6年度)」にて設定している事業目標値であり、少子化等を勘案しているもののコロナ禍の影響は勘案されていない。子ども・子育て支援事業計画の目標値は変更されていないことから、本計画の目標値も変更していない。</p>
		自課評価	R3		A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)													
			R4		A														
			R5		A														
			R6		A														
			R7																
		決算額(千円)	R3		R4	R5	R6	R7	<p><b>◆検証《達成状況、その要因》</b> 延べ利用者数:90,024人 子ども:45,601人 大人:44,423人(うち父親 4,146人) 施設数:16か所 市内16か所の施設で子育て親子が交流し、相談や情報提供等の援助が受けられるよう図った。 延べ利用者数は目標を上回り、令和6年度は前年度より843人増であった。大人の利用者のうち、父親の利用者は令和5年度より492人増となっており、父親が占める割合も令和5年度の8.3%から令和6年度は9.3%と父親の利用が増えている。</p>	<p><b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> 市内16か所の施設で、子育て親子が交流し、相談や情報提供等の援助が得られるよう事業を実施している。今後は地域との繋がりがづくりに取り組んでいく。 土曜日に6施設、日曜日に4施設、祝日に3施設が開設しており、父親を含め様々な家庭の事情に沿った利用しやすい環境となるよう図っている。 相談・情報提供においては、従来の電話に加えて、メールやブログ、SNS等を活用し、保護者等が必要な時に情報にアクセスできる環境を整えている。 なお、延べ利用者数の目標については、子ども・子育て支援法に定める市町村事業計画等に対応した本市における子ども・子育て支援を総合的かつ計画的に推進するための計画である「第2期高知市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度~6年度)」にて設定している事業目標値であり、少子化等を勘案しているもののコロナ禍の影響は勘案されていない。子ども・子育て支援事業計画の目標値は変更されていないことから、本計画の目標値も変更していない。</p>									
		担当課	子ども育成課					<p><b>◆推進委員会の点検項目</b></p> <p>必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつかか。</p> <p>効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</p> <p>有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	<p><b>◆推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>										
		写真等	 <p>地域子育て支援センターくすくすひろっぱ</p>																




基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																		
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	イ	<table border="1"> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td>34</td> <td>多様な保育サービスの充実</td> </tr> </table>	No.	事業名	34	多様な保育サービスの充実	<p><b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センター事業では、施設ごとに毎月のおたよりの発信や、ホームページやInstagramを活用して事業の内容やセンターの雰囲気、育児講座の様子などを知ってもらい、来所しやすいようなPRの工夫をした。また、育児講座などの開催にあたっては、地域の人材を活用しながら、親子で楽しめる新しい内容を取り入れたりした。</li> <li>・子ども・子育て相談支援員を配置し、教育・保育施設などを円滑に利用できるよう、情報提供や個別の相談対応を行った。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>C</td> <td rowspan="5">                     評価基準                      A: 目標達成(100%以上)                      B: 概ね達成(80~100%未満)                      C: 少し下回った(60~80%未満)                      D: 大きく下回った(60%未満)                 </td> </tr> <tr><td>R4</td><td>C</td></tr> <tr><td>R5</td><td>B</td></tr> <tr><td>R6</td><td>B</td></tr> <tr><td>R7</td><td></td></tr> </table> <p><b>◆検証《達成状況、その要因》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援事業(一般型)保育所併設等8施設で実施し、延べ利用者数は27,410人であった。令和3年度(21,158人)、令和4年度(25,494人)、令和5年度(28,440人)と前年度より減少しているものの、少子化の影響で子どもの数が減っていることやニーズの地域差を考慮すると、一定の成果があったものと考えられる。</li> <li>・待機児童は5名(令和6年4月現在)。令和5年4月現在は5名であった。</li> </ul>	自課評価	R3	C	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	C	R5	B	R6	B	R7		<p><b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシやおたよりの配布、ホームページ・Instagramなどの活用により、子育て世帯に地域子育て支援センターの存在や事業内容を知ってもらえるよう情報提供を継続していく。育児講座については、地域の人材も活用しながら、親子で参加しやすく楽しめる新しい内容を取り入れていき、利用者の増加につなげたい。また、利用者同士が交流したり、気軽に相談ができるような雰囲気作りを心がけていきたい。</li> <li>・利用者支援では、教育・保育施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう情報提供を行い、利用にあたっての不安などに対し、丁寧に聞き取りを行うなど、きめ細やかな支援体制を継続していく。</li> </ul>		
		No.	事業名																				
34	多様な保育サービスの充実																						
自課評価	R3	C	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)																				
	R4	C																					
	R5	B																					
	R6	B																					
	R7																						
<p><b>◆事業(概要)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センター事業(一般型)…子育て家庭への交流の場の提供と交流の促進、地域の子育て情報の提供や育児講座の実施、育児相談への対応等を行う。</li> <li>・子育て相談事業…子育て相談、園庭開放等</li> <li>・利用者支援事業…子ども・子育て相談支援員を配置し、きめ細やかな支援を行う。</li> </ul> <p><b>◆男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>地域での人間関係の希薄化や、子育ての孤立化は深刻な状況であり、子育て不安は高まっている。こうした状況を改善するため、支援体制の充実を図る。親子を、また親同士を「つなぐ」という取組みが重要になってきており、地域ぐるみで子育てを進めていくことが大切であると考えている。</p> <p><b>◆活動指標(目標)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センターの利用者数の維持又は増加を目指す。</li> </ul> <p><b>(参考)関連する数値目標</b></p> <p>待機児童数:0人</p>	<table border="1"> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td></td> <td>488,265</td> <td>41,583</td> <td>42,028</td> <td>47,432</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 保育幼稚園課</p> <p>写真等</p>  <p>子育て支援センターおおつ・にじいろひろば</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		488,265	41,583	42,028	47,432		<p><b>◆推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p><b>◆推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																		
	488,265	41,583	42,028	47,432																			
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。																						
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																						
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																						
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																						

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)			Action(見直し)																			
3	イ	No.	事業名	<p><b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> 令和5年度より、地域の生活支援サービスの充実を図るため、各地域包括支援センターに生活支援コーディネーターの専従配置を推進し、その結果、全体の9割のセンターで配置。生活支援コーディネーターが役割を的確に果たし、具体的な活動を展開できるよう、生活支援コーディネーター研修を企画・実施した。加えて、既存の会議体や地域のネットワークを活用し、地域課題について協議する場や機会を設け、住民と協働して課題解決に向けた仕組みづくりを進めている。本年度は、地域住民に生活支援コーディネーターの存在やその役割について理解を深めてもらうことを目的に、「地域支え合いフォーラム」を開催し、住民とともに活動報告を行った。また、その取り組みがメディアにも取り上げられ、広く発信することができた。さらに、第2層協議体としては、年間81回開催。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">                     評価基準                      A: 目標達成(100%以上)                      B: 概ね達成(80~100%未満)                      C: 少し下回った(60~80%未満)                      D: 大きく下回った(60%未満)                 </td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	自課評価	R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	C	R5	B	R6	B	R7		<p><b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> 日本能率協会の外部アドバイザーに業務委託し、個別課題から地域課題の把握、さらに地域課題解決に向けた検討の仕組みづくりに取り組む。その過程で、地域に必要な社会資源について、既存の民間事業との協働や新規事業の創設を検討し、高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう、生活支援サービスの充実を図っていく。</p>										
		自課評価	R3				B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)																				
R4	C																											
R5	B																											
R6	B																											
R7																												
35	生活支援サービスの充実	<p><b>◆事業(概要)</b> 各種高齢者支援事業から見えてきた地域課題について、地域住民や関係機関と話し合う場(第2層協議体)を創設する。 住民主体の地域課題解決のための仕組みづくりを目指す。</p> <p><b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 既存の地域の集いは、女性の参加者がほとんどであることから、男性でも参加できる、集いの場や地域の課題解決活動の創出を目指し、第2層協議体の活動を支援する。</p>	<p><b>◆検証《達成状況、その要因》</b> 生活支援コーディネーターの専従配置が進み、既存の会議体やネットワークを活用しながら、年間81回開催された地域課題を検討する会議等へ参加することができた。 これにより、地域課題の共有や解決に向けた検討が進み、地域によっては互助活動の活性化が見られた。しかし、生活支援サービスの充実という観点では、十分な成果には至っていない。 今後、生活支援体制整備事業をより効果的に活用するため、既存事業の見直しを進めるとともに、生活支援コーディネーター等を中心とした個別課題から地域全体の課題を把握し、解決に向けた取組に発展できるような仕組みを構築する必要がある。</p>																									
<p>家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しよう 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充</p>		<p><b>◆活動指標(目標)</b> 第2層協議体の開催及び事業実施回数 252回(令和6~8年度の3年間累計回数)</p>		<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>291</td> <td>279</td> <td>589</td> <td>1,592</td> <td></td> </tr> </table>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		291	279	589	1,592		<p><b>◆推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>			必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p><b>◆推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																					
	291	279	589	1,592																								
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																											
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																											
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																											
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																											
<p><b>◆活動指標(目標)</b> 第2層協議体の開催及び事業実施回数 252回(令和6~8年度の3年間累計回数)</p>		<p><b>◆活動指標(目標)</b> 第2層協議体の開催及び事業実施回数 252回(令和6~8年度の3年間累計回数)</p>		<p><b>◆活動指標(目標)</b> 第2層協議体の開催及び事業実施回数 252回(令和6~8年度の3年間累計回数)</p>			<p><b>◆活動指標(目標)</b> 第2層協議体の開催及び事業実施回数 252回(令和6~8年度の3年間累計回数)</p>																					
<p><b>(参考)関連する数値目標</b> 社会資源「集いの場」状況:705以上</p>		<p><b>(参考)関連する数値目標</b> 社会資源「集いの場」状況:705以上</p>		<p><b>(参考)関連する数値目標</b> 社会資源「集いの場」状況:705以上</p>			<p><b>(参考)関連する数値目標</b> 社会資源「集いの場」状況:705以上</p>																					





基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)													
		No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》					自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》												
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	女性活躍の推進	36	高知市職員の技術職に占める女性の割合の向上	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の工業系高校や大学に具体的な業務内容、勤務条件に福利厚生制度等を加えた職場の魅力を積極的に広報し、インターンシップ生として学生を受け入れた。また、仕事内容について具体的にイメージできるよう、採用ガイドブックに先輩職員の声を掲載した。</li> <li>・ノー残業デー(毎週水曜日)の実施。夏季休暇取得時に計画的な年休取得を通知。</li> <li>・人事考課、職員申告書、所属長からのヒアリング等をもとに、職員の状況を把握し配属先の配慮に務めた。</li> <li>・女性職員の仕事と育児の両立のための新しい取組について、検討、準備を行った。</li> <li>・「職員の給与の男女の差異」をホームページ上で公表した。</li> </ul>									B	B	B	B	B	B	B	B	B	B			
		◆事業(概要)					◆検証《達成状況、その要因》			◆対応《改善、今後どのようにするか》															
		<p>女性職員が働きやすい職場環境の整備、高知市特定事業主行動計画に基づく技術系職員の女性の採用者数の拡大の取り組み等を実施し、高知市職員における技術職に占める女性の割合の向上を図る。</p>					<p>○令和6年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術職受験者に占める女性の割合:7.9%</li> <li>・技術職採用者に占める女性の割合:8.3%</li> </ul>				<p>住民の多様なニーズに対応するため、従来より女性職員の割合が低い技術職においては、女性の人材確保が特に重要である。そのため、引き続き工業系高校や大学の学生をインターンシップ生として積極的に受け入れ、具体的な業務内容や福利厚生について情報提供を行っていく。</p> <p>また、女性職員が仕事と家庭を両立し、その能力を十分に発揮できるよう、働きやすい職場環境づくりのための取組を継続して行っていく。</p>														
		◆男女共同参画の視点からの目的					◆推進委員会の点検項目			◆推進委員会から点検コメント															
		<p>女性が能力を十分に発揮できる職場環境を形成し、多角的な視点で業務を推進することで、住民の多様なニーズに対応できる。</p>					<table border="1"> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>			決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		0	0	0	0		<p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</li> </ul>		【特に良かった点等】	
		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																		
			0	0	0	0																			
		◆活動指標(目標)					<p>担当課 人事課</p>			<p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施方法は適切か。</li> <li>・事業コスト、費用対効果は適当か。</li> </ul>		【課題等】													
		<p>インターンシップの受入れ、県内の高校・大学等での具体的な業務内容や福利厚生事業の説明等、採用後のイメージを持ちやすいような職場案内を積極的に行っていく。</p>					<p>写真等</p>			<p>有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の活動指標の達成状況は順調か。</li> <li>・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</li> </ul>															
		(参考)関連する数値目標								<p>工夫・配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</li> </ul>															
高知市職員の技術職に占める女性の割合:15%以上																									

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しよう	ウ	<table border="1"> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td>37</td> <td>ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援</td> </tr> </table>	No.	事業名	37	ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来所電話相談の他、LINE相談を実施し、開設時間内に相談できない場合や、来所電話相談を希望しない相談者についても、個々の相談者に寄り添った支援を実施している。</li> <li>・弁護士や司法書士の他、心理カウンセラー、キャリアコンサルタント、社会福祉士、ファイナンシャルプランナーの専門家相談を行い、様々な相談ができるようにしている。</li> <li>・令和6年度から、相談管理システムを稼働し、センターの職員間での相談内容の把握や、相談者の自立目標の達成に向けた進捗状況の管理などを行い、より相談者に寄り添った対応を実施した。</li> <li>・ひとり親家庭支援センター公式ホームページについて、閲覧・検索しやすいホームページに改修した。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>C</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	自課評価	R3	C	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	C	R6	C	R7		<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌への定期的な掲載や、関係機関にチラシを配付するなど、引き続き周知に務める。</li> <li>・来所電話相談の他、LINEやオンライン相談を実施。法律相談や専門家相談の実施、母子父子支援プログラム策定(個々のケースに応じた自立目標や支援内容を設定し、目標達成後もアフターケアを実施)による支援等を生かしながら、関係機関との連携も図り、自立に向けた適切な支援に繋がった。</li> <li>・就職実績を増やすことができるように、引き続き、関係機関と連携をとるとともに、今後も、就職の関するセミナーや就業に繋がる講習会を実施する予定をしている。</li> </ul>
		No.	事業名																		
37	ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援																				
自課評価	R3	C	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																		
	R4	B																			
	R5	C																			
	R6	C																			
	R7																				
<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>ひとり親家庭の幅広い相談内容に対して必要な情報提供や助言等を行う相談業務を行う。子育て給付課に母子・父子自立支援員2名を配置し開庁日は常時相談を受け付けている。</p> <p>就業相談は、県と共同で「ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業」をNPO法人に委託し、就業情報の提供、就業のための各種資格や技能取得のための制度案内、保育所等に関する情報提供を実施している。ほかに、弁護士や司法書士の専門相談員による課題整理も行い自立を支援している。</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>従前は母子及び寡婦家庭中心の支援であったが、近年は支援の対象を父子家庭も含めたひとり親家庭全般とし、様々な悩みに適切な助言を与えることで生活の安定を図り、就業相談の内容を充実させることによって経済的な自立を目指す。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親家庭支援センターにおける就職率が目標値の60%を超えるよう、効果的な就労支援を行う。</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>—</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の相談件数は、2,150件(LINE相談537件を含む。)であり、前年度(1,721件)から増加した。</li> <li>・LINE相談件数は全体相談数の約25%を占めている。</li> <li>・専門家相談を実施することにより、より専門的な相談内容に対応できており、相談者の不安解消に繋がっている。</li> <li>・センター利用者の満足度については、94%を超えており、相談者に寄り添った対応が実施できている。(相談利用者アンケートより)</li> <li>・ひとり親家庭支援センターにおける就職率38.7%(就職者12人/求職者31人)</li> </ul> <p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5,300</td> <td>6,154</td> <td>8,573</td> <td>7,516</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</li> <li>・事業実施方法は適切か。</li> <li>・事業コスト、費用対効果は適当か。</li> <li>・事業の活動指標の達成状況は順調か。</li> <li>・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</li> <li>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</li> </ul> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物価高からひとり親家庭の経済状況が困難になっているため、できるだけ安定した就労に結びつける必要がある。</li> <li>・ひとり親家庭支援センターにおけるアンケートについて、分析し今後につなげるため、「良かった点」「悪かった点」を記述式にすることを勧める。</li> </ul>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		5,300	6,154	8,573	7,516									
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																
	5,300	6,154	8,573	7,516																	

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)					Action(見直し)		
3	ウ	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組(工夫や配慮した点等)</b></p> <p>参加者は、就職につなげられるように、企業側の人材登用ニーズを踏まえたセミナーのテーマ設定等を検討した。 求職者側と求人側の双方のニーズをマッチングさせるため、セミナーや合同面接会等への参加者のうち希望者を高知市無料職業紹介所の登録につなげ、継続的な支援を行った。</p> <p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>地域雇用活性化推進事業による接客・販売力向上セミナー・面談会やシニア向けの再就職応援セミナー・面談会等を開催し、女性やシニア世代を含む求職者の就職につなげる。 また、セミナー等の受講後は、高知市無料職業紹介所に登録いただき、継続的な就職支援を行う。</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>女性やシニア世代を含むさまざまな年代層を対象としたセミナー等の実施により、性別や年齢にかかわらず、男女ともにいきいきと働ける社会の実現に寄与する。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>・雇用活性化推進事業による就職支援のセミナーの参加者数、セミナー受講後の就職者数(高知市無料職業紹介所による就職者を含む。) 参加者:160人 就職者数:118人</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>—</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>参加者数: 131人 就職者数: 109人 (内訳)</p> <p>①地域雇用活性化推進事業 参加者数 131人(うち就職者数48人) ②高知市無料職業紹介所 就職者数 61人</p>					<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>令和7年度の各事業について、次のとおり対応することとする。 ①地域雇用活性化推進事業 国の委託事業である地域雇用活性化推進事業が令和6年度で終了したため、令和7年度から令和9年度の3年間の委託事業を検討し、提案する。 ②高知市無料職業紹介所 本事業と連携して進めている地域雇用活性化推進事業で実施したセミナー受講者に対し、直接面談による職業紹介を継続して実施するなど根気強くサポートを続けていく。</p>			
		38	雇用促進・就労支援		<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>地域雇用活性化推進事業による接客・販売力向上セミナー・面談会やシニア向けの再就職応援セミナー・面談会等を開催し、女性やシニア世代を含む求職者の就職につなげる。 また、セミナー等の受講後は、高知市無料職業紹介所に登録いただき、継続的な就職支援を行う。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>参加者数: 131人 就職者数: 109人 (内訳)</p> <p>①地域雇用活性化推進事業 参加者数 131人(うち就職者数48人) ②高知市無料職業紹介所 就職者数 61人</p>	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>令和7年度の各事業について、次のとおり対応することとする。 ①地域雇用活性化推進事業 国の委託事業である地域雇用活性化推進事業が令和6年度で終了したため、令和7年度から令和9年度の3年間の委託事業を検討し、提案する。 ②高知市無料職業紹介所 本事業と連携して進めている地域雇用活性化推進事業で実施したセミナー受講者に対し、直接面談による職業紹介を継続して実施するなど根気強くサポートを続けていく。</p>						
		◆ <b>事業(概要)</b>				◆ <b>検証《達成状況、その要因》</b>					◆ <b>対応《改善、今後どのようにするか》</b>		
		地域雇用活性化推進事業による接客・販売力向上セミナー・面談会やシニア向けの再就職応援セミナー・面談会等を開催し、女性やシニア世代を含む求職者の就職につなげる。 また、セミナー等の受講後は、高知市無料職業紹介所に登録いただき、継続的な就職支援を行う。				参加者数: 131人 就職者数: 109人 (内訳)					令和7年度の各事業について、次のとおり対応することとする。 ①地域雇用活性化推進事業 国の委託事業である地域雇用活性化推進事業が令和6年度で終了したため、令和7年度から令和9年度の3年間の委託事業を検討し、提案する。 ②高知市無料職業紹介所 本事業と連携して進めている地域雇用活性化推進事業で実施したセミナー受講者に対し、直接面談による職業紹介を継続して実施するなど根気強くサポートを続けていく。		
		◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b>				◆ <b>検証《達成状況、その要因》</b>					◆ <b>対応《改善、今後どのようにするか》</b>		
		女性やシニア世代を含むさまざまな年代層を対象としたセミナー等の実施により、性別や年齢にかかわらず、男女ともにいきいきと働ける社会の実現に寄与する。				参加者数: 131人 就職者数: 109人 (内訳)					令和7年度の各事業について、次のとおり対応することとする。 ①地域雇用活性化推進事業 国の委託事業である地域雇用活性化推進事業が令和6年度で終了したため、令和7年度から令和9年度の3年間の委託事業を検討し、提案する。 ②高知市無料職業紹介所 本事業と連携して進めている地域雇用活性化推進事業で実施したセミナー受講者に対し、直接面談による職業紹介を継続して実施するなど根気強くサポートを続けていく。		
		◆ <b>活動指標(目標)</b>				◆ <b>検証《達成状況、その要因》</b>					◆ <b>対応《改善、今後どのようにするか》</b>		
		・雇用活性化推進事業による就職支援のセミナーの参加者数、セミナー受講後の就職者数(高知市無料職業紹介所による就職者を含む。) 参加者:160人 就職者数:118人				参加者数: 131人 就職者数: 109人 (内訳)					令和7年度の各事業について、次のとおり対応することとする。 ①地域雇用活性化推進事業 国の委託事業である地域雇用活性化推進事業が令和6年度で終了したため、令和7年度から令和9年度の3年間の委託事業を検討し、提案する。 ②高知市無料職業紹介所 本事業と連携して進めている地域雇用活性化推進事業で実施したセミナー受講者に対し、直接面談による職業紹介を継続して実施するなど根気強くサポートを続けていく。		
		(参考)関連する数値目標				◆ <b>検証《達成状況、その要因》</b>					◆ <b>対応《改善、今後どのようにするか》</b>		
		—				参加者数: 131人 就職者数: 109人 (内訳)					令和7年度の各事業について、次のとおり対応することとする。 ①地域雇用活性化推進事業 国の委託事業である地域雇用活性化推進事業が令和6年度で終了したため、令和7年度から令和9年度の3年間の委託事業を検討し、提案する。 ②高知市無料職業紹介所 本事業と連携して進めている地域雇用活性化推進事業で実施したセミナー受講者に対し、直接面談による職業紹介を継続して実施するなど根気強くサポートを続けていく。		
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう		女性活躍の推進		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	◆ <b>推進委員会の点検項目</b>		◆ <b>推進委員会から点検コメント</b>	
					14,978	17,138	10,181	18,703		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。	【特に良かった点等】	
				担当課	産業政策課					効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	【課題等】	
				写真等						有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。		
										工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		






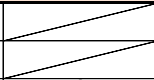

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)										
3	ウ	No. 事業名	◆ <b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b>	◆ <b>対応《改善、今後どのようにするか》</b>											
		<p>40 女性のための就業支援事業</p> <p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>・就労支援講座 職場で活用するさまざまなスキルを身に付ける講座を実施し、女性の就労を支援する。 ワード・エクセル超基礎講座 エクセル検定講座 その他就労支援講座</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>・就労支援講座 就労支援パソコン講座 実施回数4回 参加者数 各15名 ・就労支援講座 実施回数1回 参加者数 20名</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>—</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>パソコン講座は検定対策講座を設けることで、就労に活かしてもらえる実務的な内容となった。また、「メイクで伝える自己表現力」講座では、メイクの基礎から学ぶことで、就職活動において自信を持って前向きに挑戦するというモチベーションにつながった。</p>	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>・就労支援パソコン講座修了者の就業状況についてのアンケートを実施する。 ・職場で活用できるスキルの習得を目的とした就労支援講座をオンライン併用で実施し、参加者の拡大を図る。 ・効果的な広報を実施し、講座の周知を図る。</p>											
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	女性活躍の推進	<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>・就労支援講座 職場で活用するさまざまなスキルを身に付ける講座を実施し、女性の就労を支援する。 ワード・エクセル超基礎講座 エクセル検定講座 その他就労支援講座</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>・就労支援講座 就労支援パソコン講座 実施回数4回 参加者数 各15名 ・就労支援講座 実施回数1回 参加者数 20名</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>—</p>	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>・就労支援パソコン講座 ①基礎Excel講座 実施日:8月3日 参加者:15名 ②検定対策Excel講座 実施日:8月4日、17日、25日 参加者:10名 ③Excelサーティファイ3級検定 実施日:9月7日、18日 参加者:5名</p> <p>・就労支援講座 「メイクで伝える自己表現力」 実施日:9月8日 参加者:10名</p>	<p>自課評価</p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td>B</td></tr> <tr><td>R4</td><td>B</td></tr> <tr><td>R5</td><td>B</td></tr> <tr><td>R6</td><td>B</td></tr> <tr><td>R7</td><td>B</td></tr> </table> <p>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</p> <p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>パソコン講座は検定対策講座を設けることで、就労に活かしてもらえる実務的な内容となった。また、「メイクで伝える自己表現力」講座では、メイクの基礎から学ぶことで、就職活動において自信を持って前向きに挑戦するというモチベーションにつながった。</p>	R3	B	R4	B	R5	B	R6	B	R7	B	
R3	B														
R4	B														
R5	B														
R6	B														
R7	B														
		<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>561</td><td>592</td><td>826</td><td>797</td><td></td></tr> </table>	R3	R4	R5	R6	R7	561	592	826	797		<p>担当課</p> <p>ソーレ</p>	<p>写真等(左:パソコン講座チラシ、右下:メイク講座の様子)</p> 	
R3	R4	R5	R6	R7											
561	592	826	797												

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)			Action(見直し)				
		No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》			
地域で、防災で、男女共同参画をすすめてみましょう	地域活動における女性の参画の促進	41	地域コミュニティ再構築事業	◆事業(概要) 少子化・高齢化、また人口減少社会の到来などによって、将来的な住民自治活動の継続が懸念される中で、今後の地域コミュニティのあり方、協力信頼による住民自治の継続、市民と行政の協働のまちづくりの仕組みづくりを目指すもの。 なお、主な事業として、地域内での連携・協力によって地域課題の解決を目指す仕組みである「地域内連携協議会」の設立・運営に関する支援。当該協議会において、地域の将来を見据えた「新コミュニティ計画」の策定及び事業を実施するもの。			◆検証《達成状況、その要因》 【地域内連携協議会】R6年度には一宮小学校区において、R7年度内の設立に向け、準備活動に繋がった。 令和6年度末時点で、のべ30地域(31小学校区)で設立。 【新コミュニティ計画】新たに江ノ口小学校区で第1期計画を策定した。			R3	A	◆対応《改善、今後どのようにするか》 【地域内連携協議会】地域内連携協議会の未設立地域である春野地域(2小学校区)及び神田地域での設立に向け、地域の各種団体の会議に積極的に参加し、地域活動の状況及びキーパーソンの把握に努める。  【新コミュニティ計画】R7年度以降の策定を目指し鏡地域においてR6年度に連携協議会員に対し、計画策定に係る説明会を実施した。今後、地域において、まちづくりに関するアンケート等を実施し、その後の策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるよう努める。  今後も地域内連携協議会及びコミュニティ計画推進市民会議の総会や定例会へ継続的に参加し、地域活動に積極的な若年層及び女性の人材の発掘等に努め、事業の承継や多様な視点での住民自治を推進する。	
		◆男女共同参画の視点からの目的 住民自治活動や市民と行政の協働のまちづくりを進めるうえで、女性の参画により、多様な市民の意見を反映させることができる。		【地域内連携協議会】地域内の団体が互いに連携・協力しあえる仕組みを構築している。  【新コミュニティ計画】地域主体の取組が多く盛り込まれ、地域の活動計画として役割を果たすものとなっている。  引き続き、女性の参画による多様な市民の意見を反映できるように、地域の状況に沿った支援を行っていく。		R4	C						
		◆活動指標(目標) 地域内連携協議会の認定(のべ数): 31地域(32小学校区)		◆推進委員会の点検項目				R5	B	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】			
		◆活動指標(目標) 地域内連携協議会の認定(のべ数): 31地域(32小学校区)		◆推進委員会の点検項目		R6	C				【課題等】		
		(参考)関連する数値目標 高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上		◆決算額(千円)				R3	R4	R5		R6	R7
				◆担当課		地域コミュニティ推進課						効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。
				◆写真等								有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。
												工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)											
4	ア	No.	事業名	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> スポーツ指導員更新講習を計5回実施し、45名の方々に受講いただいた。スポーツ指導における基礎から応用まで必須の内容をカリキュラムで組んだため、指導員としての活動を見直すきっかけになったと考える。					自課評価	R3	D	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> スポーツ指導員同士の交流の場、指導活動の場についてさらに増やしていく必要があると考える。懇親会や全体研修会など毎年開催している会への出席をさらに促し、交流の場を増やしていく。その中で指導員としての活動意識をさらに向上させ高知市のスポーツ振興に繋げていく。										
		42	スポーツ指導者の育成							R4	C												
										R5	D												
										R6	D												
										R7													
		◆事業(概要)							<b>◆検証《達成状況、その要因》</b> 更新講習を計5回実施し、受講者は対象者全体の約4割と目標を大きく下回った。コロナ禍によりスポーツ指導員としての活動幅が減少し、指導員同士の交流が希薄化した影響が残っていることや、指導員の高齢化が主な要因であると考えられる。					<b>◆推進委員会の点検項目</b>									
		地域スポーツの推進役として、地域でのスポーツ大会や教室等の企画運営などを行う高知市スポーツ指導員(令和3年度名称変更)の活性化を図るため、スポーツ指導員認定更新講習会を開催し、スポーツ指導者の育成を行う。																					
		◆男女共同参画の視点からの目的																					
		スポーツ指導者における女性の参画を促進するとともに、生涯を通じた健康支援のため男女ともに、スポーツ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ社会の実現を目指す。																					
		◆活動指標(目標)																					
スポーツ指導員認定更新講習会を年10回実施予定。更新対象者全員の参加を目指す。																							
(参考)関連する数値目標																							
高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上																							
地域で、防災で、地域活動における女性の参画の促進をすすめてみましょう																							
決算額(千円)		R3	R4	R5	R6	R7	<b>◆推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】  【課題等】																
		346	218	361	296																		
担当課		スポーツ振興課								必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。												
写真等		/								効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。												
										/					有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。							
															/					工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		
																				/			

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																				
地域で、防災で、男女共同参画をすすめる女性の参画の促進	地域活動における女性の参画の促進	<p><b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>令和6年度中に、トイレ等、女性団員に配慮した構造を備えた一宮分団屯所の移転新築が完了した。</p> <p>令和6年度は、女性のみで構成される高知市消防団団本部分団を中心に、積極的に他の自治体分団と交流を図った。</p> <p>その他、団本部分団の取組として、救命講習や防災講話を通じて、保育園や自主防災組織の訓練に積極的に参加することができた。</p>	<p><b>◆検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>団本部分団が、南国市消防団の女性団員と、お互いの取組みについて意見交換を行うことができた。</p> <p>団本部分団について、救命講習を5回、防災イベント1回、防火パトロール1回、防災講話1回など、地域防災力向上の取組に参画することができた。</p>	<p><b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>令和7年度は、分屯所建設の予算が計上されない見通しであるが、今後予算計上された際には、スムーズに工事をすすめられるよう調整を図る。</p> <p>他の自治体分団と意見交換会を実施し、得られた意見を自分達の活動に活かすことが出来ている。今後は、現在行っている活動をより良くする必要がある。</p> <p>救命講習、防災イベント及び防災講話を通じて地域防災力向上の取組に参画することができた。地域の多様なニーズに女性団員として何が出来るか考え、実践していく必要がある。(女性団員は60人在籍※R7.1時点)</p>																					
		<p><b>◆事業(概要)</b></p> <p>消防団員の定数確保とともに、地域の防災拠点としての機能を併せ持つ消防分団屯所の整備を図り、消防団が地域防災の中核的な役割を担えるよう、体制強化に取り組む。</p> <p><b>◆男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>事業の実施により、消防団の役割や必要性の周知を図るとともに、男女共同参画を推進し、地域防災における女性の参画の促進をすすめる。</p> <p><b>◆活動指標(目標)</b></p> <p>活躍する女性消防団員の意見を伺いながら、消防団の活性化を図り、広報活動等に活かして女性消防団員の増加及び男女共同参画や地域防災活動の普及啓発を行う。</p> <p><b>(参考)関連する数値目標</b></p> <p>高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>	<p><b>◆推進委員会の点検項目</b></p> <p>必要性: 事業がプランの数値目標に結びつくか。</p> <p>効率性: 事業実施方法は適切か。 事業コスト、費用対効果は適当か。</p> <p>有効性: 事業の活動指標の達成状況は順調か。 事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮: 男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	<p><b>◆推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>																					
		<p><b>決算額(千円)</b></p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>	R3	R4	R5	R6	R7	-	0	0	0		<p><b>自課評価</b></p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	C	R6	B	R7		
R3	R4	R5	R6	R7																					
-	0	0	0																						
R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																							
R4	B																								
R5	C																								
R6	B																								
R7																									
		<p><b>担当課</b></p> <p>消防局総務課</p> <p><b>写真等</b></p> 																							


基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																
地域で、防災で、男女共同参画をすすめてみましょう	地域活動における女性の参画の促進	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="170 284 232 363">No.</th> <th data-bbox="232 284 618 363">事業名</th> </tr> <tr> <td data-bbox="170 363 232 478">44</td> <td data-bbox="232 363 618 478">エンパワメント事業</td> </tr> </table>	No.	事業名	44	エンパワメント事業	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>男女共同参画の視点を持ちながら、女性が個々に持つ能力を十分発揮し、課題に対応できる能力を身につけることを目的とする講座を開催した。 財団の自主事業である休眠預金活用事業として実施。</p> <p>内容:「ジャーナリストに学ぶ「言語化力」～ジェンダー視点のアプローチ」 講師:中野円佳(東京大学多様性包摂共創センターDEI共創推進戦略室准教授) 実施日:会場8月18日 オンデマンド8月26日～9月9日 参加者:会場27名、オンデマンド128名</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1111 284 1182 363" rowspan="5">自課評価</td> <td data-bbox="1182 284 1263 325">R3</td> <td data-bbox="1263 284 1420 325">D</td> <td data-bbox="1420 284 1653 325" rowspan="5">                     評価基準                      A:目標達成(100%以上)                      B:概ね達成(80~100%未満)                      C:少し下回った(60~80%未満)                      D:大きく下回った(60%未満)                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1182 325 1263 367">R4</td> <td data-bbox="1263 325 1420 367">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1182 367 1263 408">R5</td> <td data-bbox="1263 367 1420 408">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1182 408 1263 450">R6</td> <td data-bbox="1263 408 1420 450">A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1182 450 1263 491">R7</td> <td data-bbox="1263 450 1420 491"></td> </tr> </table> <p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>ジェンダー視点での思考と、自分の中の思いを言語化することの意義について気づく機会となった。</p>	自課評価	R3	D	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	A	R6	A	R7		<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>内容:「私たち、この星でどう生きていく?～女性の人生 傾向と対策～」 実施方法:オンデマンド配信 配信期間:9月12日(金)9:00～9月25日(木)17:00</p>
		No.	事業名																		
44	エンパワメント事業																				
自課評価	R3	D	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																		
	R4	A																			
	R5	A																			
	R6	A																			
	R7																				
<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>・エンパワメント講座 自己肯定感を高め、女性が自分らしく社会に参画するために必要なスキルを見につける。</p> <p>※休眠預金活用事業(助成金)により実施</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>・エンパワメント講座 参加者数20名</p> <p>(参考)関連する数値目標 高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="618 901 712 986">決算額(千円)</td> <td data-bbox="712 901 792 986">R3 290</td> <td data-bbox="792 901 873 986">R4 191</td> <td data-bbox="873 901 954 986">R5 26</td> <td data-bbox="954 901 1034 986">R6 311</td> <td data-bbox="1034 901 1111 986">R7</td> </tr> <tr> <td data-bbox="618 986 712 1129">担当課</td> <td colspan="5" data-bbox="712 986 1111 1129">ソーレ</td> </tr> <tr> <td colspan="6" data-bbox="618 1129 1111 1444">                     写真等(講座のチラシ)                      </td> </tr> </table>	決算額(千円)	R3 290	R4 191	R5 26	R6 311	R7	担当課	ソーレ					写真等(講座のチラシ) 							
決算額(千円)	R3 290	R4 191	R5 26	R6 311	R7																
担当課	ソーレ																				
写真等(講座のチラシ) 																					

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)				
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	ワーク・ライフ・バランスの推進	3	ア	No.	事業名	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・高知市総合防災訓練にブース出展し、パネル展示と啓発物品の配布を行った。 ・防災分野におけるジェンダー平等についての出前講座を実施した(3回)。					自課	R3		評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> 今後も作成した啓発物をSNSやパネル展示等で活用し、啓発を継続していく。	
		45	防災分野におけるジェンダー平等の啓発	<b>◆事業(概要)</b> 防災分野におけるジェンダー平等の啓発を実施する。					R4	R5	A	<b>◆検証《達成状況、その要因》</b> ・高知市総合防災訓練では「災害時の人権意識は普段から意識することが大切だと思った。」等といった市民の方からの声があり、防災分野におけるジェンダー平等について理解してもらった機会となった。				
		<b>◆男女共同参画の視点</b> ジェンダー平等の視点を取り入れた防災の取組を行うことで地域の防災力向上につなげる。		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	<b>◆推進委員会の点検項目</b>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。			<b>◆推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】	
		<b>◆活動指標(目標)</b> ・防災分野におけるジェンダー平等に関する情報発信を行う。 ・高知市総合防災訓練に参加する。		担当課	人権同和・男女共同参画課					<b>◆活動指標(目標)</b>	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。			【課題等】	
		<b>(参考)関連する数値目標</b> 防災士認定登録者に占める女性の割合:50%以上		写真等						<b>◆活動指標(目標)</b>	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。				
				<b>◆活動指標(目標)</b>						<b>◆活動指標(目標)</b>	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)	
		No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》					自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》
地域で、防災で、男女共同参画をすすめてみましょう	防災分野における女性の参画の促進	46	避難所運営体制の整備	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・各施設の避難所運営マニュアルのベースとなるテンプレートに、避難所運営体制を確立する際は多様な視点が運営に反映されるよう、女性もメンバーに入ってもらうことを明記し、どの施設の避難所運営マニュアルにも男女共同参画の視点が盛り込まれるようにした。 ・マニュアル作成の際には、避難所のある地域の自主防災組織と意見交換を行い、実際に地域住民がマニュアルに沿った運営ができるものとなるよう配慮した。									
		◆事業(概要)		大規模災害発生時に避難者が避難所を自主運営できるよう、避難所ごとに「避難所運営マニュアル」を作成する。 また、マニュアルを用いた避難所開設・運営訓練を実施し、マニュアルの効果検証を行う。					◆検証《達成状況、その要因》 ・令和6年度に作成を予定していた施設のマニュアルは、すべて作成が完了した。(令和6年度目標3施設、実績:3施設)				
		◆男女共同参画の視点からの目的		・避難所の運営マニュアル作成時に男女共同参画の視点を導入する。 ・避難所開設訓練で男女共同参画の視点を導入する。					◆推進委員会の点検項目			◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】	
		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。				
		担当課	地域防災推進課						効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。			
		◆活動指標(目標)		男女共同参画の視点を導入した避難所運営マニュアルの作成施設数の増加(令和6年度目標:3施設)						有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。		
		(参考)関連する数値目標		写真等 					工夫・配慮		・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		
												【課題等】	




基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)											
地域で、防災で、男女共同参画をすすめてまいろう	No. 48 事業名 人材育成事業(女性防災プロジェクト)	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="5">評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	A	R6	A	R7		◆対応《改善、今後どのようにするか》
		自課評価	R3		A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)										
R4	A															
R5	A															
R6	A															
R7																
<p>(1)女性防災リーダー養成推進講座 参加者が「受講して終わり」ではなく、自分で考える力を養い、学んだことを地域活動へ還元する女性リーダーの育成を目的とした講座を開催した。 ①ソーレ・東部会場合同開催(オープン講座) 実施日:4月14日(午前) 参加者:72名 ②ソーレ会場 実施日:4月14日(午後)、5月18日、6月8日、8月24日 参加者:延べ75名 ③東部会場 実施日:5月19日、6月16日、8月25日 参加者:延べ44名 (2)被災地訪問 実施日:7月19日~21日 参加者30名 (3)地域連携フォーラム(安芸市) 実施日:10月6日、参加者67名 (4)地域活動推進 ①出前講座 6件 参加者:237名、オンデマンド:65名 ②防災減災アクションプラン 11件 14回実施 参加者:延べ863名 ③防災・減災講座 実施日:12月14日 参加者:21名 ④防災フェスタ 実施日:12月1日 参加者:600名 ⑤女性防災リーダーサミット 実施日:1月12日~13日 参加者:17名 (5)防災教室(オンデマンド配信) 実施日:10月17日~31日 参加者:280名</p>	◆検証《達成状況、その要因》	<p>・女性防災プロジェクト:高知市で連続講座(5回)を実施,うち1回はフィールドワークを行う。 ・講座修了生の地域活動に対する継続的な支援 ・「女性防災リーダー地域活動推進事業」実施による資金面での支援。</p>														
<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16</td> <td>553</td> <td>5,539</td> <td>7,634</td> <td></td> </tr> </table>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		16	553	5,539	7,634		◆検証《達成状況、その要因》			
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7											
	16	553	5,539	7,634												
◆事業(概要)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆男女共同参画の視点からの目的	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《達成状況、その要因》															
◆活動指標(目標)	◆検証《															

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)	
		No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》					自課評価	R3 R4 R5 R6 R7		◆対応《改善、今後どのようにするか》	
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	49	さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 お世話役や参加者の高齢化により、活動が低迷している体操会場もみられており、こうした課題に対して、地域包括支援センターの生活支援コーディネーターや市社会福祉協議会(市社協)のコミュニティソーシャルワーカー(CSW)などが連携し、体操会場の継続支援や新規立ち上げ支援に取り組んでいる。また、市民が地域のどこで体操が行われているか分かりやすいように、のぼり旗を製作し、希望する会場から順次配布している。 体操参加者の高齢化に伴い、虚弱な方や認知症の方の参加も増えており、これを受け、サポーターのフォローアップ研修では、認知症サポーター養成講座やフレイル予防についての講義も内容に加えるなど工夫している。さらに、NPO法人いきいき百歳応援団と連携し、課題や取り組み状況の把握を目的として体操会場の訪問調査を行っているほか、年2回『いきいき百歳新聞』を発行し、情報発信にも努めている。						R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 いきいき百歳体操は、住民主体の介護予防活動として20年以上継続しており、お世話役や参加者の高齢化が進んでいるところに、新型コロナウイルス感染拡大したことで参加者や体操会場が減少している。これから先も高齢者の介護予防を目的に高知市発祥のいきいき百歳体操を継続することができるよう、引き続き、地域包括支援センターに専従配置された生活支援コーディネーターと市社協のCSWが協働しながら伴走支援するとともに、いきいき百歳体操を幅広い年代の方に知ってもらうよう情報発信していく。
		◆事業(概要)		◆検証《達成状況、その要因》		◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント					
		・いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、しゃきしゃき百歳体操の実施		令和6年度末で、いきいき百歳体操会場352会場、かみかみ百歳体操会場335会場、しゃきしゃき百歳体操会場254会場となっている。新型コロナウイルス感染拡大以降、廃止会場が新規会場を上回っていたが、今年度は新規会場が若干増加した。いきいき百歳体操参加者数:6,395人(R6.7.1調査時)		必要 性		【特に良かった点等】					
		・低栄養予防(栄養改善活動)事業の実施		住民主体の活動として継続できる支援を強化するため、インストラクター派遣や住民ボランティアの育成にも取り組んでいる。		効率 性		【課題等】					
		・いきいき百歳サポーター育成教室の実施		住民ボランティアであるいきいき百歳体操サポーターを令和6年度55人を養成、延べ1,639人(R7.3末)となっている。		有効 性							
		◆男女共同参画の視点からの目的		◆活動指標(目標)		工夫 配 慮							
		介護予防活動への住民参画を促進することで、より活動的な生活となり、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるようになる。		・いきいき百歳体操参加者数9,000人/年		R3 R4 R5 R6 R7							
		既存のいきいき百歳体操等の集いに、体操会場の人間関係を通じ、男性の参加を促す。		・いきいき百歳サポーター新規育成数80人/年		決算額(千円)							
				・いきいき百歳体操等会場における低栄養予防啓発活動の実施箇所割合 25会場/年以上、食品摂取の多様性得点7点以上の人割合 60%以上		31,638 28,845 28,060 35,571							
		(参考)関連する数値目標		健康寿命(65歳の平均自立期間): 男性18.90年 女性22.89年		担当課		基幹型地域包括支援センター					
													

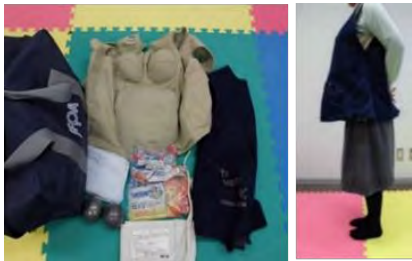
基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
5	ア	No. 事業名	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・中央公民館事業は市民のニーズに合わせて講座を提供するため、各室の特徴を活かした講座を実施した。また、男性受講生がより参加しやすいよう広報を行い、男女問わず積極的に生涯学習に参加できるよう工夫した。	R3 B R4 B R5 B R6 B R7 B 評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> ・男女問わず、参加意欲を刺激し、生涯学習の機会を増やすような魅力的な講座を実施していく。また、未来の公民館利用者を育てるべく、中央公民館施設を活かしたことも向けの講座を開設する。  ・地域の公民館では、今後も受講者アンケートの意見等を踏まえ、教養や能力の向上等市民のニーズに応える学習内容のほか、地域の課題解決につながる学習機会の提供に努める。
		50 生涯学習活動の促進  <b>◆事業(概要)</b> 市立公民館で年間を通じて各種講座を開設し、広く市民に生涯学習の機会を提供する。  <b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 性別・年齢を問わず、生きがいづくりと健康増進、また受講生同士の交流の場となるような講座を実施する。	自課評価  <b>◆検証《達成状況、その要因》</b> ●中央公民館各種講座等受講者数2,536人 ・受講数は徐々に増加している。 ・女性参加率は相変わらず高いが、男性の受講率が3割を超え、やや増加した。  ●地域の市立公民館事業参加者数7,137人 ・地域の市立公民館で実施した受講後のアンケート調査で、生涯学習の中で身に付けた知識や技術を活かそうとしている人の割合は、R6年度は98.1%と昨年度から微増しており、高い数値を維持している。 (参考:R5年度 97.6%)		
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	<b>◆活動指標(目標)</b> ・中央公民館各種講座等受講者数(3,500人) ・地域の市立公民館事業参加者数(5,000人)	決算額(千円) R3 R4 R5 R6 R7 - - - - -	<b>◆推進委員会の点検項目</b> 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	<b>◆推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】  【課題等】
		<b>(参考)関連する数値目標</b> ・健康寿命(65歳の平均自立期間): 男性18.90年、女性22.89年	担当課 文化振興課  スマートフォン活用教室 お寿司作り教室 	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。  有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。  工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	


基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)	
		No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》					自課評価	R3	D	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	51	スポーツ推進事業	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 地区体育会の地区運動会の実施や、各種スポーツイベントに対する補助を実施し、開催地区の増加を図った。 また、補助金を活用した事業の積極的な取組を促した。									
		◆事業(概要)			◆男女共同参画の視点からの目的 生涯を通じた健康支援のため男女ともに、スポーツ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ社会の実現を目指す。					R5	C		
		小学校区ごとに設置の地区体育会で開催される地区運動会や各種スポーツイベント等が実施されるよう地区体育会への活動支援を実施し、男女ともに年齢を問わずスポーツに触れる機会の提供を図る。								R6	C		
		◆活動指標(目標)								R7			
		地区体育会での地区運動会の開催 各種スポーツイベントの実施								◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。			
		(参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間): 男性18.90年 女性22.89年(全国平均)			効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。					【課題等】			
		決算額(千円) R3: 346, R4: 1,381, R5: 1,573, R6: 1,573, R7:			有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。								
		担当課 スポーツ振興課			工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。								
		写真等											

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																		
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	ア	No. 事業名	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ○4月:年度末年齢42～45歳の方のうち前年度に受診していない方と、46～63歳の方のうち過去5年間に高知市実施の検診の受診履歴のある方で前年度に受診していない方へ、乳がん検診・子宮頸がん検診個別受診券と集団案内を送付。 ○6月:乳がん検診は年度末年齢41歳、子宮頸がん検診は年度末年齢21歳の方へ、無料クーポン券付受診券を送付。 ○7月:女性健診受診のオンライン申込み開始。広報あかるいまち7月号で女性健診の実施と申込み方法(オンライン)についての記事を掲載。 ○11月:年度末年齢20歳～39歳の方のうち平成30年度～令和4年度に子宮頸がん検診の受診歴があるが、令和5年度及び令和6年度に未受診の方へ子宮頸がん受診勧奨はがきを送付。 ○12月:高知市のがん検診を未受診の方がいる世帯へ受診案内はがきを送付。(40歳～69歳の未受診の方がいる世帯) ○1月:高知市成人式で配布されるチラシに子宮頸がん検診受診案内を掲載。 ○2月:次年度の集団検診申込書を送付。 ○3月:令和7年度に大腸がん検診実施機関に啓発ポスターを送付。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	B	R6	B	R7		<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> 受診券と一緒に送付する受診案内チラシについて、受診方法がわかりやすく伝わるように改善する。 若年層の受診率向上のために、オンライン申し込みを継続し、高知市公式LINEや市広報あかるいまちを活用し、オンライン申込みの周知を図る。						
		自課評価	R3	B		評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																	
R4	A																						
R5	B																						
R6	B																						
R7																							
52 がん検診 <b>◆事業(概要)</b> 胃がん検診、大腸がん検診、胸部検診(以上、40歳以上の市民対象)、子宮頸がん(20歳以上の女性市民対象)、乳がん検診(40歳以上の女性市民対象)を実施する。実施にあたっては、利便性向上を図るとともに対象者への受診勧奨を行う。 <b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、がんの早期発見のための検診機会を確保する。	<b>◆検証《達成状況、その要因》</b> ・子宮頸がん検診:16.6% ・乳がん検診:19.3%  子宮頸がん検診については、21歳に無料クーポン券付受診券で受診勧奨をして以降、受診勧奨ができていなかった39歳までの方に、受診勧奨はがきの送付を令和6年度から開始した。	<b>◆検証《達成状況、その要因》</b> ・子宮頸がん検診:16.6% ・乳がん検診:19.3%  子宮頸がん検診については、21歳に無料クーポン券付受診券で受診勧奨をして以降、受診勧奨ができていなかった39歳までの方に、受診勧奨はがきの送付を令和6年度から開始した。	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> 受診券と一緒に送付する受診案内チラシについて、受診方法がわかりやすく伝わるように改善する。 若年層の受診率向上のために、オンライン申し込みを継続し、高知市公式LINEや市広報あかるいまちを活用し、オンライン申込みの周知を図る。																				
<b>◆活動指標(目標)</b> ・子宮頸がん検診受診率 17%以上 ・乳がん検診受診率 20%以上  <b>(参考)関連する数値目標</b> 子宮頸がん検診受診率:20%以上 乳がん検診受診率:22%以上	<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>89,162</td> <td>89,646</td> <td>93,845</td> <td>95,027</td> <td></td> </tr> </table> 担当課 健康増進課  写真等 実施医療機関に送付した大腸がん検診啓発ポスター 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		89,162	89,646	93,845	95,027		<b>◆推進委員会の点検項目</b> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<b>◆推進委員会から点検コメント</b> <b>【特に良かった点等】</b>   <b>【課題等】</b>
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																		
	89,162	89,646	93,845	95,027																			
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																						
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。																						
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																						
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																						


基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																	
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	<p>5 ア No. 事業名</p> <p>53 成人歯周病検診</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>かかりつけ歯科医を持つ割合が少ない40歳、50歳、60歳、70歳(年度末年齢)の節目年齢の市民を対象に、歯周病検診を委託歯科医療機関における個別検診により実施する。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、生活習慣病などの全身疾患に関連する歯周病を早期に発見し、歯科受診のきっかけづくりとして、成人歯周病検診を実施する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>・受診者数 1,200人</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.90年 女性22.89年</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢に70歳を追加し、40、50、60、70歳の節目年齢を対象として実施。</li> <li>・高知市近隣の市町村でも受診できるよう県内統一広域での個別歯科医療機関委託で実施。</li> <li>・4月に対象者へ個別に案内ハガキで通知。</li> <li>・案内ハガキの情報を整理し、申込みから受診までの流れを分かりやすく記載し、申込みの利便性を図るため、申込用のQRコードを掲載。</li> <li>・ホームページ上のWeb受付と、Webを利用しない方のために従来の電話での申込も併用。</li> <li>・各種保健事業でのPR。</li> <li>・広報あかるいまちで啓発記事(6月・11月・2月)を掲載。</li> <li>・申込者が受診に結び付くように、受診票を送付する際に同封するチラシはナッジ理論を活用。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>B</td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込者1,585名に対して、994名の受診であった。</li> <li>・対象者への個別通知、広報あかるいまちの啓発記事の掲載直後は申込が増加。Web受付により、休日や夜間の申込ができることにより、就業者も申込の利便性が向上している。申込者に対する受診率は前年度より低下しているが、新たに加わった70歳は定期的に歯科受診している割合は他の年代よりも多いことから、申込をしたものの、歯科検診を利用せずに医療で対応した方がいることも影響していると考える。</li> </ul>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	B	R6	B	R7	B	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>20歳、30歳の若い世代が高校卒業後、歯科検診を受ける機会がなく、国の健康増進事業では、令和6年度から20・30歳を歯周病検診の対象年齢に追加し、生涯を通じた歯科健診の機会を確保することとしている。本市においても、令和7年度から20・30歳を対象年齢に加え、歯周病検診の機会を確保することで、若い世代からかかりつけ歯科医をもち歯科受診するきっかけづくりとする。</p>						
		自課評価	R3		B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																
R4	A																					
R5	B																					
R6	B																					
R7	B																					
<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,274</td> <td>2,672</td> <td>4,211</td> <td>4,996</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 健康増進課</p> <p>写真等</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		2,274	2,672	4,211	4,996		<p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																	
	2,274	2,672	4,211	4,996																		
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																					
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																					
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																					
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																					

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																													
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	<p>5 ア No. 事業名</p> <p>54 こころの相談窓口</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>市民の誰もがこころの健康について相談できる場として、仕事や生活に不安を感じている方などの相談に対応する。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、相談対応を通してこころの健康を保つための支援を行う。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>精神保健福祉相談 延べ2,800件</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.90年 女性22.89年</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉相談は、専用の相談電話(2回線)で主に受付し、来所を希望する方及び職員が訪問が必要と判断した時には来所や訪問での相談にも対応した。</li> <li>・パソコンやスマートフォンから簡単にストレス度や落ち込み度などの心の状態がチェックでき、相談窓口が表示されるシステム「こころの体温計」を、高知市ホームページからアクセスできるようにするとともに、名刺サイズのカードにQRコードを載せ配布することで、周知した。</li> <li>・高知市公式LINEで相談窓口、こころの体温計へのアクセスを呼びかけた。</li> </ul> <p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>250</td> <td>262</td> <td>266</td> <td>267</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課</p> <p>健康増進課</p> <p>写真等</p> 	R3	R4	R5	R6	R7	250	262	266	267		<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="5">評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉相談(訪問・来所・電話)の延べ件数 6,980件。</li> <li>・こころの体温計へのアクセス数 30,755回。</li> </ul> <p>パソコンやスマートフォン、LINE等の活用により、相談窓口を効果的に周知できていると思われる。</p> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	A	R6	A	R7		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き高知市ホームページ、高知市公式LINEなどを活用し、アクセスしやすい相談の場となるよう、広報を行う。</li> <li>また、市民のこころの健康が保たれるよう相談対応の質を向上していく。</li> </ul> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
		R3	R4	R5	R6	R7																												
250	262	266	267																															
自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)																															
	R4	A																																
	R5	A																																
	R6	A																																
	R7																																	
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																																	
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																																	
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																																	
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																																	

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																	
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	<p><b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校及び養護教諭との連携を図り、児童生徒への啓発につながるよう、年度初めの高知市立学校養護教諭研修会で、事業目的と物品貸し出し方法を記載した資料の配布を行っている。</li> <li>・サポート授業については、一定の学校や団体からの依頼があり、保健師・助産師が出前講座を行っている。性教育関係の物品貸出についても、学校等依頼分については全て対応できた。</li> <li>・庁内思春期保健情報交換会の開催 第1回目では、地域保健課、学校教育課との情報交換会を行い、各課の現状を確認した。第2回目では、妊娠SOS高知みそのランプより相談支援の現状を共有した。</li> </ul>	<p><b>◆検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>学校で性教育を実施できるように、養護教諭定例会で思春期教室のサポートや性教育関係の物品貸出等について説明、啓発を実施。(毎年)</p> <p>思春期教室(サポート授業) 保健師2回 助産師10回</p> <p>性教育関係の物品貸出 小学校:7校、高等学校:2校、その他:3か所 延べ18回</p>	<p><b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>今までの取り組みを継続するとともに、今年度は、若い男女が将来のライフプランを考えて、日々の生活や自身の健康と向き合うことができるよう、庁内の関係機関での情報交換会の開催を継続し、連携してプレコンセプションケアの概念をもとにした啓発を行えるよう方法を検討していく。</p>																		
		<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 母子保健課</p> <p>写真等</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		0	0	0	0		<p><b>◆推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																	
	0	0	0	0																		
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																					
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。																					
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																					
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																					

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)												
生涯にわたる健康生活を充実させよう	ア	No. 事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内4カ所に子育て世代包括支援センターを開設。西部と北部については土曜日開所をしており、市民の妊娠届出の利便性を図った。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6	A	R7		<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>パパママ教室・子育て相談はぐくみは、事業を継続し、子育て世代包括支援センターでも沐浴指導や乳児の計測、離乳食などの個別の相談も実施していく。</p> <p>・子育てアプリみらい(母子モ)のプッシュ型通知も継続し、事業の案内や妊娠・出産・育児に関する情報や制度を発信していく。アプリの登録を増やしていくことが課題である。</p>
		自課評価	R3	A		評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)											
R4	B																
R5	B																
R6	A																
R7																	
<p>56 妊娠・出産期等の支援</p> <p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援の第一歩として、子育て世代包括支援センターに母子保健コーディネーターを配置し、母子健康手帳交付時の窓口面接、相談支援、医療機関との連絡調整を行うとともに必要な支援につなげる。</p> <p>・妊娠期間に産後・子育てに関する知識・技術を習得し、子育てがイメージできるよう妊婦の他にもパートナーや家族と一緒に参加できる「パパママ教室」を各子育て世代包括支援センターにおいて開催する。</p> <p>・妊婦や子育て中の保護者が一人で悩まず気軽に相談できる機会として「妊産婦子育て相談はぐくみ」を開催する。</p> <p>・生後4か月までの乳児のいる全ての子育て家庭を訪問し、家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、子育て家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図る。</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>妊娠前から継続して、出産・子育て期へと切れ目ない支援につなげていくために、必要な情報提供や支援を行う。</p> <p>教室開催により、出産・子育てにおいて父親や家族のサポートが重要であることの啓発を行うとともに、具体的な実技等を含めた学習の機会を提供する。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。</p> <p>・妊娠期間に産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域における子育てサービスや相談先の情報提供。</p> <p>・パパママ教室参加組数 200組</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>低出生体重児出生率:9.5</p>	<p>・パパママ教室は、1回の定員を増加することで年間回数を見直し(年12回開催)、西部・東部・北部子育て世代包括支援センターで実施した。沐浴体験や妊婦体験を取り入れパートナーの育児参加を促し、育児開始に向けて夫婦の家事分担を準備しておく重要性を講義に入れて啓発した。</p> <p>・子育て世代包括支援センターが相談先として周知されて来たことを受け、妊産婦子育て相談はぐくみも回数を見直した(年18回開催)。保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士、保育士などの専門職を配置し、様々な相談に対応できる体制にしている。</p> <p>・伴走型相談支援を目的に加え、こんにちは赤ちゃん訪問事業として保健師・訪問員による乳児家庭全戸訪問に取り組んだ。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>・妊娠届出時の妊婦の面接率100%は継続達成。</p> <p>・パパママ教室は、妊婦がパートナーや家族と一緒に参加できるため好評。参加組数174組。</p> <p>・子育て相談はぐくみは各種専門職による、様々な相談に対応できることが高い満足度につながっているが相談者数は減少。相談者数(延)262人。アンケートによる満足度100%。</p> <p>・こんにちは赤ちゃん訪問事業は、出産・子育て応援給付金事業の給付条件に位置づけし、伴走型相談支援の充実を図った。訪問率96.3%。</p> <p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>						
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																
	<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,815</td> <td>1,798</td> <td>3,437</td> <td>3,518</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 母子保健課</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		1,815	1,798	3,437	3,518					
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7												
	1,815	1,798	3,437	3,518													

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																		
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	ア	<table border="1"> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td>57</td> <td>幼児健診</td> </tr> </table>	No.	事業名	57	幼児健診	<p><b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>1歳6か月児健診の受診率は、95.2%と前年度を下回り、目標値に至らなかった。コロナ禍で受診可能年齢を2歳半まで延長していたものを終了し、通常の2歳までにしたため、2歳過ぎでの受診が難しくなったためと考えられる。</p> <p>1歳6か月児健診では、R4年度より子ども育成課と連携し、生活リズムの確立、食習慣に関する保健指導とともに親子絵本ふれあい事業として、絵本の読み聞かせやふれあい遊びを通しての子どもの成長発達を促す啓発を行っている。</p> <p>3歳児健診の受診率は、100.2%と目標値を超えており、随時の転入者の受診があったからと思われる。</p> <p>日曜健診は今年も各3回ずつ年6回実施した。1歳6か月児も3歳児も受診率は全体の8.4%程度であり、1回の受診が60名を超えている。日曜健診は父母で来所する割合が高く、子どもの成長発達を父親も確認できる機会となっていると思われる。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr><td>R4</td><td>B</td></tr> <tr><td>R5</td><td>B</td></tr> <tr><td>R6</td><td>B</td></tr> <tr><td>R7</td><td></td></tr> </table> <p><b>◆検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>1歳6か月児健診 対象者数 1,872人 受診者数 1,781人 受診率 95.2% 受診勧奨訪問実績 93件</p> <p>3歳児健診 対象者数 2,121人 受診者数 2,124人 受診率 100.1% 受診勧奨訪問実績 147件</p>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6	B	R7		<p><b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>新型コロナは5類へ移行されたが、基本的な感染対策は実施し、保護者や子どもが安心して受診できるよう、配慮を行う。</p> <p>健診受診率の向上のため、日曜健診の実施は継続して行い、一定期間の未受診者者に対しては子育て支援訪問員や保健師が手紙や訪問により受診勧奨を継続して実施する。また、父母に対しての育児に関する情報提供の機会とし、内容や方法も検討していきたい。</p>		
		No.	事業名																				
57	幼児健診																						
自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																				
	R4	B																					
	R5	B																					
	R6	B																					
	R7																						
<p><b>◆事業(概要)</b></p> <p>母子保健法に基づく健康診査として、幼児の成長発達の確認及び子育ての助言を行うため、1歳6か月児健診及び3歳児健診を実施する。</p> <p>幼児健診受診促進事業として、一定期間の未受診児に対し、子育て支援訪問員や保健師が訪問し受診勧奨をする。訪問して会えない場合、文書による勧奨も実施。</p> <p><b>◆男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>受診率向上及び父親の子育て参加の機会促進ため、各健診のうち一定数の日曜健診を実施する。</p>	<table border="1"> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td></td> <td>18,338</td> <td>23,289</td> <td>21,882</td> <td>21,639</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 母子保健課</p> <p>写真等</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		18,338	23,289	21,882	21,639		<p><b>◆推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p><b>◆推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																		
	18,338	23,289	21,882	21,639																			
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																						
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																						
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																						
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																						
<p><b>◆活動指標(目標)</b></p> <p>子どもの発育や発達に関する保護者の育児不安の軽減を図るとともに、幼児の疾患や精神運動発達面での問題を早期に発見し、治療や支援につなげる。</p> <p>1歳6か月児健診受診率 98% 3歳児健診受診率 95%</p>																							
<p><b>(参考)関連する数値目標</b></p> <p>低出生体重児出生率:9.5</p>																							

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)								
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	<p><b>5</b> <b>ア</b> No. <b>事業名</b></p> <p>58 相談事業(No. 23再掲)</p> <p>◆<b>事業(概要)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性対象:一般相談(開館日)</li> <li>・専門相談(法律相談/月2回、こころの相談/月2回)</li> <li>・令和3年度からこころの相談を月2回に拡充</li> <li>・男性対象:令和5年度から男性のための悩み相談 月4回に拡充</li> <li>・LGBTsに関する電話相談(にじいろコール)/月1回</li> </ul> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p>	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般相談 2,074件</li> <li>・法律相談 月2回(1人4回まで) 92件</li> <li>・こころの相談 月2回(1回2名まで)48件</li> <li>・男性相談 月4回(1回2名まで) 62件</li> <li>※ 月4回のうち1回をzoomで対応</li> <li>・性的少数者対象:にじいろコール～LGBTsに関する相談～ 月1回 6件</li> </ul>	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な相談窓口として、情報紙、ホームページ、SNS等で広報し、相談につながるよう引き続き取組む。</li> <li>・男性相談の4回のうち1回を、zoomによるオンライン対応へ変更。</li> </ul>									
		<p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般相談 2,000件以上</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.90年 女性22.89年</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>一般相談件数は前年比30.1%減となったものの、前々年度以前と比較すると2,000件前後で推移しており、例年並の水準だった。法律相談、男性相談及びにじいろコールの相談件数は前年度より減少したが、こころの相談は前年度より増加した。</p>	<p>◆<b>自課評価</b></p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td>A</td><td rowspan="7">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td></tr> <tr><td>R4</td><td>B</td></tr> <tr><td>R5</td><td>A</td></tr> <tr><td>R6</td><td>A</td></tr> <tr><td>R7</td><td></td></tr> </table>	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	A	R6	A
R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)											
R4	B												
R5	A												
R6	A												
R7													
<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>1,796</td><td>1,756</td><td>1,741</td><td>1,670</td><td></td></tr> </table> <p>担当課</p> <p>ソーレ</p> <p>写真等(チラシ)</p> 	R3		R4	R5	R6	R7		1,796	1,756	1,741	1,670		
R3	R4		R5	R6	R7								
1,796	1,756	1,741	1,670										



# 数值報告



## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	1	人権同和・男女共同参画課	高知市男女共同参画に関する市民意識調査(5年毎に実施) ①抽出方法 ②抽出日 ③調査期間 ④有効回収数 ⑤有効回収率	①住民基本台帳マスターファイルより無作為抽出3,000人 ②令和元年10月2日 ③令和元年10月10日～11月11日 ④ 1,023人(うち女性605人) ⑤34.1%	-	-	-	-	①住民基本台帳マスターファイルより無作為抽出3,000人 ②令和6年10月23日 ③令和6年11月8日～11月28日 ④ 872人(うち女性489人) ⑤29.1%
	2	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「社会通念・慣習・しきたり」などで男女の地位が平等だと思う人の割合	15.7%(市)	-	-	-	-	11.7%(市)
	3	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「男は仕事、女は家庭などの性別による固定的な役割分担意識に同意しない割合」	70.3%(市)	-	-	-	-	77.8%(市)
	4	人権同和・男女共同参画課	①市審議会等の女性委員比率 ②女性委員0の市審議会等の比率	①30.1% (1,502人のうち女性452人) ②17.3% (138会のうち24会が女性0人)	①32.3% (1,417人のうち女性457人) ②11.0% (118会のうち13会が女性0人)	①31.1% (1,317人のうち女性432人) ②13.0% (115会のうち15会)	①30.7% (1,431人のうち女性439人) ②10.8% (120会のうち13会)	①30.8% (1,423人のうち女性438人) ②12.6% (119会のうち15会)	①31.8% (1,402人のうち女性446人) ②12.8% (117会のうち15会)
	5	職員厚生課	高知市管理・監督職(係長級以上)女性比率	33.1% (612人うち女性203人)	33.3% (620人うち女性207人)	36.0% (630人うち女性227人)	37.5% (634人うち女性238人)	37.6% (633人のうち女性238人)	38.3% (656人のうち女性251人)
	6	学校教育課	市立学校(小・中・特別支援学校)における ①女性教職員人数(比率) ②女性管理職人数(比率)	①932人(67.6%) ②41人(32.5%)	①897人(66.2%) ②40人(32.3%)	①920人(66.4%) ②43人(33.3%)	①896人(64.9%) ②41人(32.0%)	①863人(63.5%) ②56人(43.1%)	①884人(60.8%) ②59人(45.0%)
	7	人権同和・男女共同参画課	【男女共同参画研修】(階層別) ①対象階層 ②参加人数	「男女共同参画の視点からのワーク・ライフ・バランス」 ①主事・技師級 ②306名	「ちゃんと知りたいLGBTs」 ①係長級 ②190名	「SOGI職員研修」 ①全職員 ②530名	「男女共同参画の視点からの防災～災害対応全般の質/効果を上げるために～」 ①オンライン研修:係長級職員 オンデマンド研修:全職員 ②オンライン研修:43人 オンデマンド研修:再生回数167回	「わたしにもある?アンコンシャス・バイアスとは～ジェンダー平等の視点から～」 主任級職員:68人	「WLB:ワーク・ライフ・バランスを考える～均衡を破るゲームチェンジャー～」 主査級職員:69人
	8	人事課(人材育成)	【男女共同参画研修】 対象:新任課長補佐研修 参加人数	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和2年1月22日 2年目課長補佐級職員等54人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年1月6日 2年目課長補佐級職員等40人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年11月5日 2年目課長補佐級職員等36人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和4年11月8日 2年目課長補佐級職員等30人	「ダイバーシティ推進研修」 ※実施日 令和5年7月12日 2年目課長補佐級職員等36人	「ダイバーシティ推進研修」 ※実施日 令和6年7月10日 2年目課長補佐級職員等34人
2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	9	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「DVを経験したことのある人の割合」	25.2%(市)	-	-	-	-	20.9%(市)
	10	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合」	65.1%(市)	-	-	-	-	63.6%(市)
	11	人権同和・男女共同参画課	ソーレ 女性対象一般相談のうち「暴力」に関する相談件数	136件	97件	74件	74件	82件	58件
	12	子ども家庭支援センター	子ども家庭支援センターにおける児童相談のうち「児童虐待相談」件数	230件(修正)	217件	180件	191件	227件	247件

## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	13	少年補導センター	街頭補導状況【市少年補導センター】 ①在学少年（小・中・高校・その他の学校） ②非在学少年（有職・無職）	①90人（うち女子8人） ②3人（うち女子0人）	①80人（うち女子23人） ②15人（うち女子1人）	①168人（うち女子28人） ②17人（うち女子4人）	①94人（うち女子23人） ②8人（うち女子1人）	①78人（うち女子14人） ②5人（うち女子0人）	①17人（うち女子5人） ②10人（うち女子0人）
	14	少年補導センター	相談受理状況【市少年補導センター】 夜間電話相談「アスト119」「ソナー119」含む ①在学少年（小・中・高校・その他の学校） ②非在学少年（有職・無職）	①167人（うち女子46人） ②1人（うち女子0人）	①132人（うち女子54人） ②2人（うち女子0人）	①97人（うち女子53人） ②2人（うち女子1人）	①97人（うち女子46人） ②1人（うち女子1人）	①90人（うち女子21人） ②0人	①94人（うち女子49人） ②2人（うち女子1人）
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	15	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「性別による不当な扱いと感じる項目と割合」	賃金格差 11.6% 昇給・昇格 11.3% 自由に休暇とりにくい 9.2% 育児・介護休暇とりにくい 7.1%	-	-	-	-	賃金格差 8.9% 昇給・昇格 8.7% 自由に休暇とりにくい 7.6% 能力が正当に評価されない 7.0%
	16	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「家事を全くしない男性の割合」	15.2%	-	-	-	-	13.1%
	17	職員厚生課	①男性の育児休暇 取得者数・取得率（市職員） ②配偶者出産休暇 取得者数・取得率（市職員）	①7人 9.9% ②52人 73.2%	①9人 12.5% ②57人 79.2%	①10人 17.9% ②47人 83.9%	①22人 32.4% ②61人 89.7%	①38人 48.1% ②68人 86.1%	①55人 84.6% ②60人 92.3%
	18	職員厚生課	市新規採用職員（事務職）女性比率 <実施年度別>	57.4% (54人のうち女性31人)	51.2% (41人のうち21人)	78.1% (64人のうち50人)	57.1% (49人のうち28人)	49.2% (63人のうち31人)	49.2% (65人のうち32人)
	19	人事課（人材育成）	【市女性職員の人材育成・能力開発研修】参加人数 ①自治大学（25日間） ②市町村アカデミー（a 4日間・b 8日間） ③国際文化アカデミー（5日間） ④その他の研修	①1人 ②1人 ③1人 ④1人	①1人 ②1人 ③0人 ④0人	①0人 ②0人 ③1人 ④0人	①0人 ②1人 ③1人 ④0人	①0人 ②1人 ③1人 ④1人	
	20	学校教育課	高等学校進学率 ①全体 ②男 ③女	①98.7% ②97.6% ③99.5%	①98.6% ②98.4% ③98.8%	①98.3% ②98.0%③98.8% 未進学（就職含む） 男 21名 女 11名	①98.5% ②98.2%③98.8%	①97.7% ②96.7% ③98.8%	①98.6% ②98.1% ③99.2%
	21	子育て給付課	ひとり親家庭自立支援相談件数（延件数） <医療・健康、就労、児童、経済的支援等> ①母子家庭相談数 ②父子家庭相談数	①母子家庭 1,019件 ②父子家庭 30件	①母子家庭 1,084件 ②父子家庭 38件	①母子家庭 825件 ②父子家庭 28件	①母子家庭 1,729件 ②父子家庭 38件	①母子家庭 1,568件 ②父子家庭 67件	①母子家庭 1,380件 ②父子家庭 43件
	22	子育て給付課	母子家庭等就業・自立支援センター事業 【高知県と共同実施】 （就業相談・就業情報提供等支援サービス提供） ①相談件数 ②就業者数	①632件 ②31人（高知市のみ）	①647件 ②21人（高知市のみ）	①691件 ②3人（高知市のみ）	①1,835件 ②20人（高知市のみ）	①1,721件 ②23人（高知市のみ）	①2,150件 ②12人（高知市のみ）
	23	産業政策課	就職につながった市主催セミナー修了者 ①若者就職応援セミナー	①12人（うち女性8人）	①3人（うち女性2人）	①5人（うち女性2人）	①4人（うち女性1人）		

## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	24	母子保健課	母子訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 ②産婦 ③新生児 ④未熟児<21年度から⑧の数に再掲> ⑤乳児 ⑥幼児 ⑦その他  ⑧赤ちゃん誕生おめでとう訪問<全戸訪問>(実人数/対象者数=訪問率)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (90/179) ②産婦 (274/466) ③新生児 (53/62) ④未熟児 (30/51) ⑤乳児 (407/938) ⑥幼児 (846/1,175) ⑦その他 (12/29) ①~⑦合計 2,900人(延)  ⑧赤ちゃん(訪問率) (2,230/2,289=97.4%)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (74/130) ②産婦 (224/441) ③新生児 (47/83) ④未熟児 (10/35) ⑤乳児 (350/776) ⑥幼児 (744/871) ⑦その他 (20/39) ①~⑦合計 2,375人(延)  ⑧赤ちゃん(訪問率) (2,101/2,205=95.3%)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (56/96) ②産婦 (231/400) ③新生児 (57/71) ④未熟児 (13/28) ⑤乳児 (283/485) ⑥幼児 (504/626) ⑦その他 (11/15) ①~⑦合計 1,721人(延)  ⑧赤ちゃん(訪問率) (2,118/2,223 = 95.2%)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (62/124) ②産婦 (210/364) ③新生児 (43/58) ④未熟児 (7/7) ⑤乳児 (268/463) ⑥幼児 (604/686) ⑦その他 (3/3) ①~⑦合計 1,705人(延)  ⑧赤ちゃん(訪問率) (1,934/2,037 = 94.9%)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (52/107) ②産婦 (147/328) ③新生児 (52/75) ④未熟児 (22/23) ⑤乳児 (306/618) ⑥幼児 (519/598) ⑦その他 (2/3) ①~⑦合計 1,752人(延)  ⑧赤ちゃん(訪問率) (1,793/1,831=97.9%)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (67/131) ②産婦 (154/358) ③新生児 (90/112) ④未熟児 (133/144) ⑤乳児 (241/495) ⑥幼児 (492/605) ⑦その他 (5/7) ①~⑦合計 1,852人(延)  ⑧赤ちゃん(訪問率) (1,632/1,659=98.4%)
	25	母子保健課 (地域子育て支援センター)	パパママ教室 (初めての妊娠の方とパートナー対象) ①実参加組数 ②延参加組数	元年度から内容・回数等変更 ・パパママ教室 妊婦 73人, 家族 73人 ・パパママひろば 妊婦73人, 家族 69人 合計参加総数 146組, 288人	・パパママ教室 妊婦 84人, 家族 84人 ・パパママひろば 妊婦106人, 家族 97人 合計参加総数 190組, 371人	・パパママ教室 妊婦 71人, 家族 68人 合計参加総数 71組, 139人	・パパママ教室 妊婦 134人, 家族130人 合計参加総数 134組, 264人	・パパママ教室 妊婦189人, 家族188人 合計参加総数 189組, 377人	・パパママ教室 妊婦174人, 家族171人 合計参加総数 174組, 345人
	26	子ども育成課	ファミリーサポートセンター ①依頼会員登録者数 ②援助会員登録者数 ③両方会員登録者数 ④活動件数	①784人(男性34人, 女性750人) ②441人(男性26人, 女性415人) ③62人(男性1人, 女性61人) ④5,521件	①741人(男性34人, 女性707人) ②447人(男性29人, 女性418人) ③55人(男性0人, 女性55人) ④4,278件	①727人(男性36人, 女性691人) ②443人(男性28人, 女性415人) ③51人(男性1人, 女性50人) ④5,743件	①720人(男性42人, 女性678人) ②456人(男性29人, 女性427人) ③50人(男性1人, 女性49人) ④4,429件	①751人(男性47人, 女性704人) ②479人(男性33人, 女性446人) ③49人(男性1人, 女性48人) ④4,575件	①798人(男性54人, 女性744人) ②498人(男性34人, 女性464人) ③50人(男性1人, 女性49人) ④3,645件
	27	子ども育成課	病児・病後児童保育実施施設・利用人数 ①細木病院 <定員:6人> ②三愛病院 <定員:6人> ③うららか保育園<定員:3人> ④もみのき病院 (合計 利用人数)	① 492人 ② 614人 ③ 235人 ④ 451人 (計1,792人)	① 153人 ② 131人 ③ 125人 ④ 128人 (計537人)	① 281人 ② 170人 ③ 182人 ④ 196人 (計829人)	① 356人 ② 72人 ③ 224人 ④ 166人 (計818人)	① 391人 ② 352人 ③ 238人 ④ 186人 (計1,167人)	① 387人 ② 327人 ③ 153人 ④ 111人 (計978人)
	28	子ども育成課	子育て相談件数(延件数) ③地域子育て支援センター a「あい」 b「ほけっとランド」 c「くすくすひろば」 d「はるの・わくわくほけっと」	③a 361件 b 66件 c 130件 d 148件	③a 203件 b 119件 c 103件 d 164件	③a 213件 b 118件 c 192件 d 143件	③a 324件 b 137件 c 153件 d 150件	③a 375件 b 119件 c 214件 d 73件	③a 469件 b 109件 c 92件 d 197件
	29	子ども育成課	放課後児童クラブ ①クラブ数 ②児童数 ③指導員数(男女比)	①92 ②3,507人 ③154人(うち女性153人)	①89 ②3,355人 ③152人(うち女性151人)	①88 ②3,202人 ③151人(うち女性150人)	①84 ②3,395人 ③150人(うち女性149人)	①83 ②3,293人 ③148人(うち女性145人)	①82 ②3,385人 ③141人(うち女性139人)
	30	保育幼稚園課	保育所入所児童数/就学前児童数(入所率) (ハき地保育所は除く)	8,657人/15,216人(56.9%)	8,513人/14,653人(58.1%)	8,238人/14,043人(58.7%)	7,888人/13,463人(58.6%)	7,567人/12,977人(58.3%)	7,108人/12,097人(58.8%)

## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	31	保育幼稚園課	市保育所待機児童数 ①4月1日時点 ②1月1日時点 児童の年齢	① 34人 0歳 5人 1・2歳 28人 3歳以上 1人 ②168人 0歳 116人 1・2歳 52人 3歳以上 0人	①26人 0歳 0人 1・2歳 24人 3歳以上 2人 ②109人 0歳 89人 1・2歳 18人 3歳以上 2人	①11人 0歳 0人 1・2歳 11人 3歳以上 0人 ②79人 0歳 70人 1・2歳 8人 3歳以上 1人	①3人 0歳 0人 1・2歳 3人 3歳以上 0人 ②102人 0歳 94人 1・2歳 8人 3歳以上 0人	①5人 0歳 0人 1・2歳 5人 3歳以上 0人 ②48人 0歳 43人 1・2歳 5人 3歳以上 0人	①5人 0歳 0人 1・2歳 5人 3歳以上 0人 ②36人 0歳 34人 1・2歳 2人 3歳以上 0人
	32	保育幼稚園課	延長保育実施保育所数/認可保育所全数 利用人数	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,481人+②163人=1,644人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,316人+②147人=1,463人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,316人+②117人=1,433人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,156人+②108人=1,264人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,117人+②90人=1,207人	①民営 38園/全61園 ②市営 12園/全26園 ①944人+②84人=1,028人
	33	保育幼稚園課	一時保育実施保育所数 利用人数	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=9,251人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=5,361人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=4,783人	①民営 4園 ②市営 2園 ①+②=3,427人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=5,168人	①民営 5園 ②市営 2園 ①+②=5,216人
	34	保育幼稚園課	低月齢保育児受入れ実施保育所数 受入れ人数(待機人数) ①4月1日時点 ②1月1日時点	84園 ①487人 (5人) ②832人 (116人)	84園 ①467人 (0人) ②818人 (89人)	84園 ①377人 (0人) ②776人 (70人)	84園 ①411人 (0人) ②818人 (94人)	84園 ①364人 (0人) ②732人 (43人)	84園 ①279人 (0人) ②704人 (34人)
	35	保育幼稚園課	子育て相談件数(延件数) ①<保育園>	①2,926件	①2,565件	①2,285件	①2,368件	①2,634件	①2,709件
	36	子ども家庭支援センター	子育て相談件数(延件数) ②子ども家庭支援センター(実数/延件数)	1,057件(延件数)	1,162件(延件数)	1,148件(延件数)	1,176件(延件数)	1,197件(延件数)	1,239件(延件数)
4 地域で、防災共同参画をすすめますよう	37	スポーツ振興課	スポーツ推進指導員数(うち女性数)	380人(うち女性136人)	363人(うち女性129人)	357人(うち女性130人)	341人(うち女性126人)	336人(うち女性118人)	320人(うち女性112人)
	38	人権同和・男女共同参画課	地区人権啓発推進委員会の女性委員比率	36.3% (1,141人のうち女性363人)	37.8% (993人のうち女性375人)	37.7% (976人のうち女性368人)	38.8% (962人のうち女性373人)	39.5% (951人のうち女性376人)	39.6% (939人のうち女性372人)
	39	くらし・交通安全課	交通安全指導員協議会人数(うち女性数)	196人(うち女性58人)	184人(うち女性57人)	169人(うち女性55人)	175人(うち女性58人)	175名(うち女性57名)	186名(60名)
	40	地域防災推進課	自主防災組織数(組織率)	816組織(96.0%)	824組織(96.0%)	832組織(96.8%)	833組織(96.8%)	840組織(96.8%)	847組織(96.8%)

## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう	41	健康増進課	がん検診受診率(検診対象者に対する受診者割合) 【市健康増進課】 ①子宮頸がん ②乳がん	①子宮頸がん 15.1% ②乳がん 18.8%	①子宮頸がん 14.2% ②乳がん 17.4%	①子宮頸がん 14.2% ②乳がん 17.3%	①子宮頸がん 16.1% ②乳がん 19.0%	①子宮頸がん 16.5% ②乳がん 19.3%	①子宮頸がん 16.6% ②乳がん 19.3%
	42	健康増進課	女性健康診査受診者数 対象:20～39歳 内容:一般検診・歯科検診・子宮頸がん検診	219人	179人	145人	167人	209人	214人
	43	【高知県】 (母子保健課)	中絶件数(うち10代)【高知県】	812件(70件)	756件(70件)	694件(53件)	616件(65件)	625件(52件)	555件(61件)
	44	地域保健課	HIV検査件数 相談件数<検査時の相談は除く・夜間含> 【市地域保健課】	検査 368件 相談 47件	検査 201件 相談 22件	検査 258件 相談 12件	検査 280件 相談 40件	検査 329件 相談 40件	検査 278件 相談 26件



こうち男女共同参画センター  
(ソーレ) 事業報告



## 令和6年度事業報告(こうち男女共同参画センター ソーレ)

### 1 事業概要

高知県・高知市が共同設置したこうち男女共同参画センターの指定管理者として、センターの管理運営及び男女共同参画を推進する事業等を実施した。

### 2 施設利用状況

(1)施設利用登録団体数	3,063団体(累計) ※行政団体を除く
(2)託児室利用数	287組 753人
(3)グループ交流室利用数	171組
(4)印刷機利用数	448組
(5)パソコン利用者数	104人

### 3 受託施設運営状況

	開館日数	利用件数	利用者数
創作実習室	332日	271 件	3,145 人
大会議室		190 件	10,374 人
研修室1		601 件	5,039 人
研修室2		593 件	5,626 人
研修室3		635 件	5,495 人
調理実習室		141 件	1,566 人
和室1		194 件	1,102 人
和室2		155 件	1,017 人
視聴覚室		480 件	6,642 人
レクリエーション室		550 件	5,381 人
計			3,810 件

## 事業実施報告書

### I 情報収集及び提供に関する業務

#### 1 令和6年度事業報告（こうち男女共同参画センター ソーレ）

##### (1) 図書・DVDの購入・整理

蔵書数		図書利用登録者数	
本	10,562冊	新規利用登録者数	95人
ビデオ・DVD	1,049本		
計	11,611冊・本	〃 累計	8,371人



図書・情報資料室

##### (2) 図書団体貸出

市町村図書館や学校、団体等に100冊まで貸し出し、図書情報の周知を図った。

貸出先	市町村7件、大学2件、団体1件
貸出冊数	389冊、2本

##### (3) 新聞クリッピング

男女共同参画・人権に関連する新聞記事を館内に掲示した。(月2回実施)

#### 2 図書・情報資料室利用促進事業

##### (1) テーマ別図書展示

定期的にテーマを決めて関連図書等を展示し、図書室の利用促進を図った。

4月	新着からおすすめ図書	10月	家事講座特集
5月	ジェンダー	11月	DV防止月間の啓発本
6月	男女共同参画月間講演会特集	12月	暮らし・生き方
7月	女性議員・パリティ関係特集	1月	防災を考える
8月	絵本の読み聞かせ	2月	性暴力・同意について
9月	男性家事関連	3月	国際女性デー、自殺対策強化月間特集

### II 調査研究に関する業務

男女共同参画に関する統計データ収集・提供事業

##### (1) 統計データの収集・分析

統計データを収集し、ホームページに関連データのリンク先を掲載した。

(年間ホームページアクセス 47,614件)

##### (2) ウェブ調査の実施

家族とのコミュニケーションの取り方に関する実態調査(ウェブ調査)を行い、結果を情報紙やホームページで周知した。回答者数276名

### Ⅲ 県民の理解を深めるための広報及び啓発に関する業務

#### 1 広報・啓発事業

##### (1) 情報紙の発行

情報紙「ソーレ・スコープ vol.109～112」の発行  
(7・10・1・4月に各7,000部発行)

##### (2) ホームページによる情報発信

実施事業の紹介・報告、センターの利用案内、男女共同参画に関する情報、財団の経営状況等をホームページを通じて広く県民に発信した。  
また、よりわかりやすい情報発信のため、動画にオープニングやエンディングを作成し、情報を追加して配信するなど工夫をこらした。

情報紙ソーレ・スコープ

##### (3) メールマガジンの発行(ソーレの事業や取組を周知)

メールマガジン「FROM ソーレ」の配信(毎月1日、計12回 ※令和6年度末の登録数 477件)

##### (4) SNSによる情報発信

SNS(Facebook、X(旧Twitter)、Instagram)を活用した広報・啓発を行った。  
高知のパパ「TEAM家族」メッセージ動画をInstagramで配信した。

##### (5) 啓発誌発行・配布

男女共同参画及び女性問題に関する啓発誌を講座開催や企画展示の機会に合わせ、県民に配布し、理解促進につなげた。



ソーレ啓発誌

##### (6) 啓発パネル作成・貸出し・企画展示

作成したパネル等を館内の企画や地域のイベントで展示するとともに、他機関に貸し出すことで男女共同参画及び女性問題の啓発を図った。

啓発パネルの貸出	市町村等 10件13パネル
啓発パネル展等 企画展示	館内企画展示 7件 男女共同参画推進月間(6月)、女性に対する暴力をなくす運動期間(11月)、ソーレまつり(1月)ほか 地域イベント展示 2件 (旭やらかい祭り(高知市)、人権啓発フェスティバル(12月))



啓発パネルの展示

##### (7) その他の広報・啓発

人権啓発フェスティバル(高知市内)に出展し、啓発パネルの展示や情報紙等を配布し、来場者にソーレの利用促進と啓発を図った。また、啓発誌「ジェンダーってなあに？」のデジタル版を作成し、YouTubeや館内デジタルサイネージでの配信を行った。

##### (8) 講演会概要掲載

男女共同参画推進月間講演会、DV防止啓発講演会等の概要を情報紙やホームページに掲載した。

## 2 出前講座事業

男女共同参画、ハラスメント、DV・デートDV防止等について学ぶ機会を提供するため、市町村や地域、団体、企業等に講師を派遣する講座等を行った。

実施回数及び参加者数 73講座 5,420名 うち男性 2,392名

(1) 出前講座(サポーター講師活用) ※サポーター講師はゾーレに登録している県内講師(令和6年度末30名)  
実施回数 47回 参加者数 3,818名

	開催日	内容	派遣先	参加者数 ( )内は男性
1	4月2日	職場におけるハラスメント研修	学校法人太平洋学園高等学校	77名 (42)
2	4月5日	働き方改革とハラスメントについて	(一社)高知県山林協会	36名 (30)
3	4月26日	ハラスメント予防研修 (会場開催・オンライン配信併用)	金星製紙(株)	28名 (26)
4	5月14日	「子どもとジェンダー」自分らしさを奪わないために	高知市子ども育成課	110名 (4)
5	5月22日	インターネットによる人権侵害	土佐市立戸波中学校	17名 (9)
6	6月6日	「ジェンダー平等」ってなんだろう	鴨田成人学級	41名 (3)
7	6月11日	ハラスメントのない職場づくりのために	高知県私立幼稚園連合会	30名 (3)
8	6月20日	インターネット時代の子育て	社会福祉法人嶺南福祉事業会 浜改田保育園	25名 (4)
9	6月22日	魅せる～好印象を伝える「メール・電話対応マナー」～	(公財)高知勤労者福祉サービスセンター なんこくファミリーサポートセンター	9名 (0)
10	6月22日	女性の活躍とハラスメント	高知県高坂学園 生涯大学I組	98名 (13)
11	7月2日	子育て講座「“アサーティブ”について知ろう」	地域子育て支援センターとおちどんぐりの森	7名 (0)
12	7月6日	アングーマネジメント講座	JP労組土佐中央支部 女性フォーラム	23名 (1)
13	8月16日	アンコンシャス・バイアスに気づくことから進めよう ジェンダー平等	高知市人権同和・男女共同参画課	16名 (6)
14	8月17日	職場におけるハラスメント	社会福祉法人幡多手をつなぐ育成会 福祉工場「中村」A型	14名 (4)
15	8月25日	最近のハラスメント事情	下知地区民生委員・児童委員協議会	21名 (8)
16	8月30日	令和6年度事業者向けコンプライアンス研修(ハラスメント)録画配信	高知県土木部土木政策課	1,431名 (464)
17	9月6日	人権問題について考えるとともに、SNSの時代に考慮すべきことについて学ぶ	高知県立高岡高等学校定時制	19名 (9)
18	9月6日	女性の活躍とハラスメント	高知県高坂学園 生涯大学I組	65名 (12)
19	9月19日	ピアサポーターのための傾聴スキルアップ講座	高知県警察本部厚生課	58名 (43)
20	9月26日	女性の視点に立った防災活動	高知県人権擁護委員連合会	11名 (6)
21	10月15日	第3次日高村男女共同参画プラン策定委員会	日高村教育委員会	9名 (3)
22	10月18日	ハラスメントのない職場づくり	社会福祉法人長い坂の会 特別養護老人ホームやすらぎの家	22名 (9)
23	10月25日	ワーク・ライフ・バランス	高知県教育センター	17名 (3)
24	10月25日	「男女共同参画社会」ってなんだろう?～男性の家事・育児への関わりの重要性～	南国市総務課	42名 (15)
25	10月31日	メディアリテラシー・スマホ依存について	高知県立高岡高等学校	19名 (10)
26	11月2日	中学生及び保護者を取り巻くSNS等のトラブルについて	高知市立介良中学校	234名 (107)

	開催日	内容	派遣先	参加者数 ( )内は男性
27	11月7日	ネット社会について「インターネットとどう付き合っていく？」	地域子育て支援センター「サンサンひろば」	8名 (0)
28	11月19日	ハラスメントのない職場づくりのために	社会福祉法人すずめ福祉会	24名 (8)
29	11月21日	アンコンシャス・バイアスを知ろう！	兼松エンジニアリング(株)	284名 (227)
30	11月28日	アンコンシャス・バイアスを知ろう	高知親公会	50名 (48)
31	12月4日 12月12日	ハラスメントのない職場づくりのために	(株)ヒワサキ	43名 (34)
32	12月7日	乳幼児期からの性教育	(公財)高知勤労者福祉サービスセンター なんこくファミリーサポートセンター	13名 (0)
33	12月9日	アンコンシャス・バイアスとは	近森病院附属看護学校	36名 (6)
34	12月18日	アンコンシャス・バイアスって何だろう？	(特非)環境の杜こうち	5名 (1)
35	12月18日	自他尊重のコミュニケーション	高知市子ども育成課	202名 (5)
36	12月20日	ハラスメントのない職場づくり	福留開発(株)	82名 (75)
37	1月15日	職場におけるハラスメントの対策基礎知識	(株)四電工 高知支店	41名 (30)
38	1月24日	ジェンダー教育(人権教育研修会)	安芸市立赤野小学校	30名 (12)
39	1月29日	ワーク・ライフ・バランスについて	高知市人権同和・男女共同参画課	69名 (32)
40	2月4日	ハラスメント防止研修	(株)与力水産 貝ノ川定置作業所	9名 (9)
41	2月10日	室戸市男女共同参画プラン策定委員会	室戸市人権啓発課	14名 (9)
42	2月13日	ハラスメントのない職場づくりのために	特別養護老人ホームうららか春陽荘	24名 (15)
43	2月13日	第2回第3次日高村男女共同参画プラン策定委員会	日高村教育委員会	10名 (3)
44	2月19日	デートDV	高知県立高知工業高等学校	264名 (215)
45	3月6日	ハラスメント	香南市高齢者介護課	32名 (8)
46	3月13日	いのちの教育「乳幼児期の性教育」	香美市立子育てセンターびらふ	17名 (1)
47	3月27日	デジタル社会における子育てについて	高知市立朝倉保育園	82名 (9)
				<b>3,818名 (1,581)</b>

(2) 出前講座(県内・県外講師活用)

実施回数 14回 参加者数 780名

	開催日	内容	派遣先	参加者数 ( )内は男性
1	5月7日	LGBTQへの理解を深めよう	越知町人権教育研究協議会	119名 (56)
2	5月31日	男女共同参画推進出前教室、ジェンダーHUG	南国市立稲生小学校	19名 (9)
3	6月12日	LGBTQについての理解を深める	高知県立四万十高等学校	30名 (24)
4	6月14日	ジェンダーの視点から人権について考えよう	土佐市立戸波中学校	16名 (7)
5	6月19日	男女共同参画で四万十のみらいを考える	四万十町人権教育研究協議会 窪川支部	106名 (49)
6	6月21日	男女共同参画推進出前教室、ジェンダーHUG	南国市立白木谷小学校	23名 (9)
7	7月5日	性同一性障害・性自認について理解を深める	高知県立城山高等学校	13名 (4)
8	7月12日	男女共同参画推進出前教室、ジェンダーHUG	南国市立北陵中学校	52名 (32)
9	8月7日	LGBTQの現状と課題	日高村教育委員会	89名 (46)
10	8月16日	パートナーシップ制度の理解に繋がる研修	室戸市人権啓発課	119名 (53)
11	10月25日	ジェンダーと性別役割分担	宿毛市立小筑紫中学校	13名 (5)
12	12月19日	LGBTQについての理解	高知県立窪川高等学校	82名 (39)
13	12月26日	LGBTQについて	高知リハビリテーション専門職大学	25名 (15)
14	2月19日	人権研修・防災	高知市公営事業課	74名 (24)
				<b>780名 (372)</b>

## (3) 出前講座(ソール職員)

実施回数 8回 参加者数 693名

	開催日	内 容	派遣先	参加者数 ( )内は男性
1	5月7日	デートDV	高知県立岡豊高等学校	286名 (153)
2	5月8日	アンコンシャス・バイアス	高知市人権同和・男女共同参画課	15名 (0)
3	7月17日	デートDV	高知県立春野高等学校	129名 (61)
4	9月12日	デートDV	高知大学	48名 (33)
5	9月18日	デートDV	高知県立北高等学校	145名 (85)
6	11月13日	デートDV	高知県立四万十高等学校	30名 (24)
7	11月25日	男女共同参画推進の取組	四万十市生涯学習課	25名 (16)
8	11月29日	デートDV	高知市立高知商業高等学校定時制	15名 (14)
				<b>693名 (386)</b>

## (4) ウェルカムセミナー(施設見学他)

実施回数 4回 参加者数 120名

	開催日	内 容	来館者(団体等)	参加者数 ( )内は男性
1	6月3日	施設見学	高知大学 森田教授ゼミ	8名 (3)
2	6月10日	デートDV	高知県立大学社会福祉学部	27名 (5)
3	6月25日	男女共同参画・ジェンダーについて	高知市立旭東小学校3年生	82名 (44)
4	3月6日	視察対応	香川県男女共同参画課	3名 (1)
				<b>120名 (53)</b>

#### IV 講演会、講習会、研修会等の開催に関する業務

##### 1 男女共同参画推進事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ( )内は男性
男女共同参画推進月間講演会【オンライン】 《共催団体》 高知県経営者協会他	会場・オンライン 6月29日	男女共同参画についての理解と意識の浸透を図るため、6月の男女共同参画推進月間に講演会を実施した。  演題「その『普通』って、ホントに普通?! 社会にあふれる無意識の思い込み」 <講師> 守屋 智敬((一社)アンコンシャスバイアス研究所代表理事)	会場 134名 (47)  オンライン 122名 (40)
男女共同参画講座「ジェンダーカフェ」	①9月28日 ②9月29日	絵本を通して、身近な生活の中に潜むジェンダーや潜在的に刷り込まれたジェンダー感に気づき、生きづらさや社会的課題について、参加者がカフェ形式で自由に話し合いながら考え学ぶ講座を開催した。  ①絵本といっしょにBOOK CAFE(親子) ②絵本から読むBOOK CAFE(大人)  <講師> 金 香百合 (堺市立男女共同参画センター館長、eトプロジェクト代表)	23名 (9)
SOGIに関する講座	会場・オンライン 10月12日	多様性への理解と、性自認・性指向の尊重に資する内容の講座を開催した。  タイトル 「思うがままに服を着る、それはあなたが自由である証」  <講師> 田中史緒里((株)クーゼス代表取締役)	会場 29名 (3)  オンライン 30名 (10)



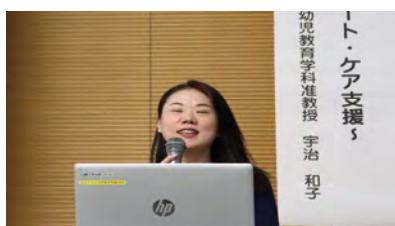
男女共同参画推進月間講演会



男女共同参画講座「ジェンダーカフェ」

##### 2 DV防止啓発事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ( )内は男性
DV防止啓発講演会【オンデマンド】 《共催団体》 高知地方法務局 他 《協力機関》 香南市人権課	会場 11月9日  オンデマンド 11月15日～ 11月30日	11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、DV防止を広く県民に啓発するため講演会を実施した。  演題「DVからの回復 再起する力を育むサポート・ケア支援」  <講師> 宇治 和子 (郡山女子大学短期大学部 幼児教育学科准教授) (同時開催)11/8～11/25 啓発パネル展示、パープル・オレンジリボンツリー等の設置 (中学、高校、大学等)	会場 57名 (14)  オンデマンド 586名 (190)



DV防止啓発講演会



### 3 ワーク・ライフ・バランス事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ( )内は男性
大学生向けキャリア形成支援 ※高知県立大学との連携	①6月12日 ②11月6日	就職を控え、これからの人生設計を考え始める学生たちを対象に、自分に合った働き方やこれからの生き方など、キャリアを考える機会を設ける講座を開催した。(2回)  テーマ「女性の職業生活を通じた自己実現」 <講師> 長澤紀美子(高知県立大学教授) <ロールモデル> 松田さやか((株)高知新聞社メディア企画部読もっかNIE担当) 岩神美紀(農家サポートWebデザイナー)	155名 (15)
大学生向けキャリア形成支援 ※高知大学との連携	9月10日	これから就職する学生を対象に、自らはどのような人生を求めているか、仕事も含めて考える講座を開催した。  テーマ「就活の前に職業人生を考える」 <講師> 児美川孝一郎(法政大学キャリアデザイン学部教授) <ロールモデル> 濱田翔太(株式会社技研製作) 岩神美紀(農家サポートWebデザイナー)	45名 (30)
男性家事・介護基礎講座	会場 ①8月4日 ②10月6日  オンデマンド ③2月20日 ～3月13日	男性の家事・介護への参加を促進し、性別役割分担についての気づきやワークライフバランスの充実について考える講座として座学や講話、料理教室を実施した。  <講師> ①山本尚高(ザクワンパレス新阪急高知 副総調理長) ②島村昌利(RKC調理製菓専門学校 校長) ③男性介護者/苅谷貢(認知症の人と家族の会高知県支部副代表)ほか2名、高知市基幹型地域包括支援センター職員	会場 19名 (19)  オンデマンド 92名 (92)



男性家事・介護基礎講座

### 4 防災啓発事業

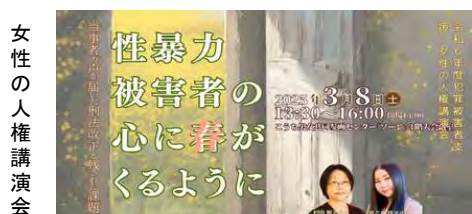
講座名	開催日	内 容	参加者数
防災教室	2月15日	防災対策にジェンダーの視点を反映するとともに、年齢、性別、国籍、障がいの有無など、災害時の要配慮者等の多様性にきめ細かく対応できるための知識を学び、防災意識の向上を図る講座を開催した。  「多様な視点で未来を学ぶ」 <講師> 神原 咲子(神戸市看護大学教授)	20名 (6)

防災教室



## 5 他機関連携・共催事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数
「女性の権利」 講演会 【オンデマンド】 《共催団体》 NPO法人こうち被害 者支援センター	会場 3月8日	こうち被害者支援センターと連携し、女性の権利をテーマに犯罪被害者の支援につながる講演会を開催した。	会場 46名 (8)
	オンデマンド 3月17日～ 3月31日	犯罪被害者支援・女性の権利講演会 「当事者の声が届いた刑法改正と残された課題 ー性暴力被害者の心に春がくるようにー」 <講師> 早乙女 祥子(一般社団法人Spring共同代表) 村田 智子(弁護士、性暴力救援センター・東京(SARC東京)協力弁護士、Spring協力弁護士)	オンデマンド 375名 (121)



## V 人材育成に関する業務

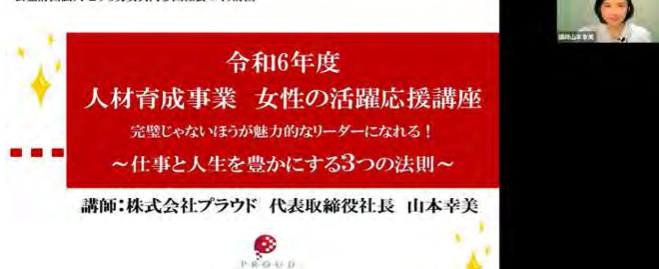
### 1 人材育成事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ( )内は男性
女性の活躍応援 【オンデマンド】	10月21日～ 11月3日	職場や地域等で活動する女性が、政策・方針決定過程への参画等、活躍の場を広げ、リーダーシップを発揮するために必要な能力を身につけることを目的に講座を開催した。  完璧じゃないほうが魅力的なリーダーになれる！ ～仕事と人生を豊かにする3つの法則～  <講師> 山本幸美((株)プライド代表取締役社長)	オンデマンド 150名 -
高知大学地域協働学部 「地域理解実習」	通年 (週1回)	高知大学地域協働学部の「地域理解実習」の実施場所としてソーレの施設や資料を提供し、大学と協働して男女共同参画の推進を図った。 実習 30回 <講師> 高知大学地域協働学部 准教授 佐藤洋子	81名 (54)

女性の活躍応援講座



公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団



## 2 就業・起業支援事業

講座名	開催日	内 容	参加者数
就労支援パソコン講座	①8月 3日 ②8月 4日 8月17日 8月25日 ③9月 7日 9月18日	①基礎Excel講座 ②検定対策Excel講座 ③Excelサーティファイ3級検定日  <講師> 横山桂子(サーティファイ認定インストラクター)	30名
就労支援講座	9月8日	メイクで伝える自己表現力 <講師> 高橋絵里(BEREUNA代表)	10名



パソコン講座



メイクで伝える自己表現力講座

## 3 県民からの企画提案事業

男女共同参画を推進するための事業の企画運営について、県民(団体等)を対象に募集し、3企画を実施した。

委託先	開催日	講座等の名称	参加者数 ( )内は男性
(1) 高知男女共同参画ポレール	8月11日	(講演会)「高知の先駆的女性群像 ～男女平等と権利のために立ち上がった女性たち～」	33名 (9)
(2) 高知県の男性介護者が相談できる場所「ケアメンいごっそう」	10月30日、31日 11月1日	(報告会)アンケート調査結果報告会	91名 (61)
(3) 新日本婦人の会 高知県本部	会場 1月26日、2月8日 オンデマンド 1月26日～ 2月10日	(講座) 更年期をChanceに！いきいきと乗り越えよう！	会場 19名 (0) オンデマンド 35名 (11)

## 4 ボランティア育成・活用事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ( )内は男性
ボランティア活用	年間	事業のサポートを行う県民ボランティアを募集・活用するとともに、活動を通じて男女共同参画への理解浸透を図った。 (活動内容)講演会や講座の受付、イベントの手伝い、図書の選書や企画展示、新聞クリッピング	登録者数 11名 活動実績 延135名
学生ボランティア体験	8月2日 8月6日	夏休みを活用した事業のボランティア体験をとおして、高校生が男女共同参画について知る・学ぶ・考える機会を提供した。	23名 (11)



学生ボランティア体験



## VI 女性問題の解決その他男女共同参画の推進に向けた相談に関する業務

### 1 相談事業

相談の種類別件数

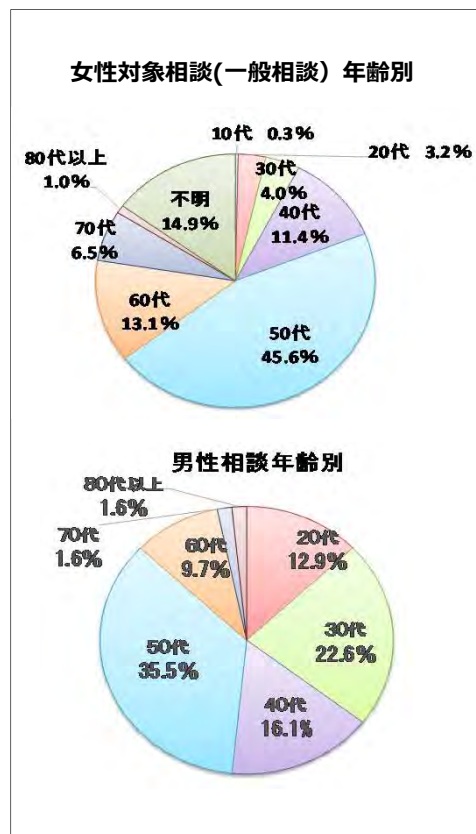
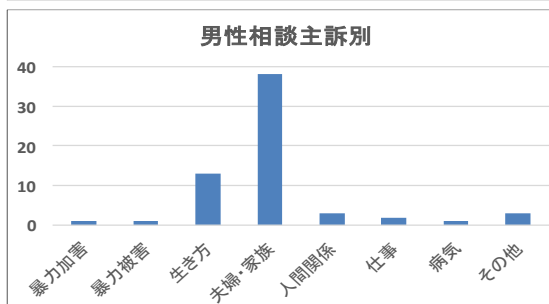
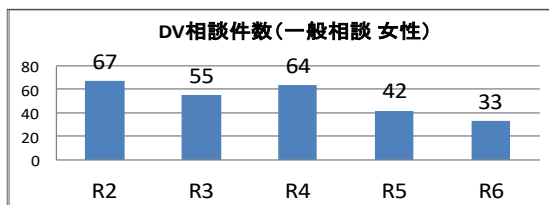
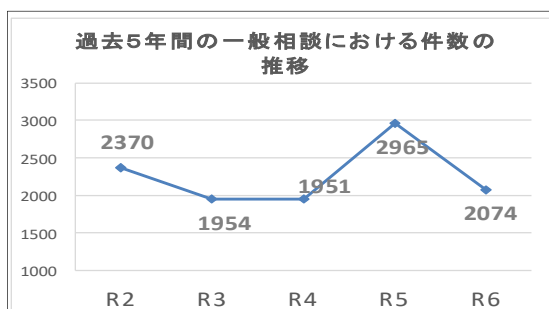
相談の種類		件数
女性対象相談		2,214 件
一般相談（休館日を除く毎日）		2,074 件
性・身体・健康		520 件
家族・家庭		455 件
生き方		136 件
福祉		46 件
仕事		117 件
暴力		58 件
暮らし		212 件
金銭		93 件
その他		437 件
法律相談（月2回）		92 件
こころの相談（月2回）		48 件
男性対象相談	男性のための悩み相談（月4回）	62 件
にじいろコール	LGBTsに関する相談（月1回）	6 件
合計		2,282 件

○性・身体・健康(520件)と家族・家庭(455件)が一般相談の約半数を占めた。

○性・身体・健康では「不安・イライラ」に関すること(285件)、家族・家庭では夫との関係(100件)、親族関係(86件)などの相談が多かった。

○その他は、男性からの相談や問合せなども含む。

○令和5年度から男性相談の回数を月3回から4回に増やした。



2 講座等

講座名	開催日	内容	参加者数 ( )内は男性
相談員スキルアップ研修	① 会場 6月2日 オンデマンド 6月9日～ 7月8日  ② 6月23日	県内相談機関の相談員を対象に、女性の立場を理解し、ジェンダーに敏感な視点を持って相談業務ができるよう研修を実施するとともに相談員の連携を図った。  テーマ「対人援助職のセルフケア」 ①セルフケア力を高める ②マインドフルネス体験 <講師> ①市場恵子 (社会心理学講師、カウンセラー) ②石井朝子 (ヒューマンウェルネスインスティテュート合同会社代表・心理学博士)	会場 34名 (7)  オンデマンド 110名 (35)
相談関連講座	2月8日	家族間のコミュニケーションをテーマとして、DV・虐待等の暴力予防、深刻化を防ぐことを目的に講座を実施した。  近しき仲にも礼儀あり?! ～心地よい親子関係～  <講師> 林 恭子 (一社)ひきこもりUX会議代表理事)	29名 (6)
女性の居場所づくり事業	① 5月20日 ② 7月22日 ③ 10月28日 ④ 12月22日 ⑤ 2月17日 ⑥ 3月17日	トラウマやコロナ禍など、何らかの傷つきから生活や就労の場であつまづき、生きづらさや働きづらさを感じている女性に、自尊感情の回復や必要なスキルを身に付ける場となる講座を実施した。 余剰化粧品品の無償提供により女性を支援する「コスメバンクプロジェクト」と連携し、コスメキットを参加者に配付した。  女性の居場所づくり事業「ゆるりのしっぽ」 ①わたしの“推し” ②飾らない私と向き合う時間 ③心を穏やかに保つヒケツ ④ふらりっとゆるりっとつながる相談会 ⑤ゆる～く学ぶ 健康づくりのヒント ⑥心も体もリラックス セルフケアのすすめ  <講師> ①ソーレ職員 ②金香百合(堺市立男女共同参画センター館長、eトコプロジェクト代表) ③植田美和子(アールキャリアデザイン代表) ④高知県女性相談支援センター、高知県立消費生活センターほか ⑤高知市健康増進課保健師 ⑥竹村朝海(臨床心理士/公認心理師)	126名 -

家族のコミュニケーションに関する講座(相談関連講座)



女性の居場所づくり事業



## Ⅶ 関係団体等の相互の交流の促進及び自主的活動への支援に関する業務

### 1 団体等の自主活動支援事業（ソーレえいど事業）

男女共同参画の推進に資する事業を実施した団体等の活動を支援するため、2団体に対し助成した。

助成団体名	事業内容	助成額
こうち男女共同参画ポレール 【高知市外】	(講演、ワークショップ) 増やそう女性議員！なくそう女性ゼロ議会」円卓会議in四万十町	50,776円
こうちねっと見守り会議	(講演、シンポジウム) ・スマートフォンやゲーム機が、子どもに与える影響について～眼科医による警告！！スマホが引き起こす様々な障害～ ・高知の今をどう見る～全国の取り組みから見るネット問題～	200,000円
計		250,776円

### 2 ソーレまつりの開催

ソーレ開館を記念し講演会を開催したほか、利用団体等の活動発表や作品展示、イベント等を実施しセンターを広く県民に周知した。(館内及びオンラインで開催)

事業名	開催期間	内容	参加者数 ( )内は男性
ソーレ まつり 2025	1月26日～ 2月10日	「フェーズフリーから考える『おうち防災』」 <講師> 奥村奈津実(防災アナウンサー、環境省アンバサダー)	オンデマンド 232名 (75)
		委託先:こうち男女共同参画ポレール (講座)親子でご飯づくり～お魚をさばいて料理をつくろう～	25名 (2)
	1月26日	委託先:こうち男女共同参画ポレール (シンポジウム) くらしも政治もジェンダー平等でやるがやきね	52名 (8)
		委託先:こうちJBL001 (講座) 多様な視点で考えよう！これからの「ペット防災」	64名 (1)
		委託先:こうちJBL♡2024 (講座)知っていますか？“0次”の備え ～マイ避難ポーチをつくってみよう～	47名 (6)
	1月26日～ 2月10日	利用団体等による イベント、発表等 ・ワークショップ ・バザー ・作品展示	33団体
		【録画配信】ステージ発表、活動紹介、講座、講演会 オンデマンド視聴回数 686名	11団体
参加者数の合計 (オンラインは視聴1回を1名として集計) 会場1,214名 オンライン918名			2,132名 (92)



ソーレまつり2025  
館内及びオンラインイベントの  
実施



## Ⅷ 休眠預金活用事業実施報告書

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ( )内は男性
女性防災リーダー 養成推進講座	(ソール会場) ① 4月14日 ② 5月18日 ③ 6月 8日 ⑤ 8月24日	男女共同参画の視点による災害対応の取組や復興支援策が各 地域で実践されている状況を創出することに加え、当講座を受 講し女性リーダーとなった者が被災後の復興に向けた議論にも 参画していくことを目的とし講座を開催した。  <講師> ① 齊藤容子(関西国際大学客員教授)、山中千枝子(千斗枝グ ローバル教育研究所代表)、② 齊藤容子(関西国際大学客員 教授)、③ 山崎水紀夫(さんすい防災研究所代表)、大槻知史(高 知大学地域協働学部教授)、⑤ 齊藤容子(関西国際大学客員教 授)	① 午前 72名 (6)  ① 午後②③⑤ 延べ 75名 -
	(東部会場) ② 5月19日 ③ 6月16日 ⑤ 8月25日	<講師> ② 齊藤容子(関西国際大学客員教授)、③ 山崎水紀夫(さんす い防災研究所代表)、大槻知史(高知大学地域協働学部教授)、 ⑤ 齊藤容子(関西国際大学客員教授)	延べ 44名 -
女性防災リーダー 養成推進講座 (被災地訪問)	④ 7月19日～ 7月21日	現地訪問により学習したことを体験的に身につけ学びを深める こと、現地の女性リーダー及び活動団体から話を聞くことによ り、リーダーとしての意識を醸成することを目的に実施した。  <講師> 大内幸子(せんだい女性防災リーダーネットワーク代表)、佐藤美 嶺(せんだい女性防災リーダーネットワーク青葉、仙台市地域防 災リーダー(SBL))	30名 -
地域連携 フォーラム	10月6日	防災・減災にかかる女性リーダーの必要性及び女性防災プロ ジェクト事業について、地域の理解促進・連携強化を図ることを 目的とし、数多くの被災地で支援を行っている講師を招き、講演 会と地元防災グループの女性、女性防災プロジェクト修了生、 行政等が参加してパネルディスカッションを開催した。  <講師> 浅野幸子(減災と男女共同参画研修推進センター共同代表、早 稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員)、山崎水紀 夫(さんすい防災研究所 代表)	67名 (20)
地域活動推進	○出前講座 (黒潮町) ① 6月19日 (黒潮町) ② 6月26日 (四万十市) ③ 9月10日 (香南市) ④ 10月2日 (中土佐町) ⑤ 10月27日 (南国市) ⑥ 11月1日	女性防災プロジェクト育成プログラム修了者の地域活動を後押 しすることを目的とし、市町村や地域に講師を派遣する講座等 を行った。  <内容> ① 女性が参画する地域の減災 ～在宅避難地域の防災～ ② 防災の基礎知識を学ぶ ③ 防災・減災学習会 ④ 防災・香南市まちづくりセミナー ⑤ 自主防災から考える南海トラフ地震 ⑥ ジェンダーHUG・防災の場におけるジェンダー問題を知ろ う、考えよう	① 49名 (9) ② 11名 (1) ③ 15名 (6) ④ 104名 (59) オンデマンド 65名 (21) ⑤ 21名 (4) ⑥ 37名 (10)
	○防災減災 アクションプラン 10月～12月	自治体や自主防災組織等の取組にジェンダー視点を取り入れ ることを目指し、「こうち女性防災リーダー」登録者が、その企画 力とリーダーシップを発揮し、地域の防災・減災活動を推進す るための啓発活動やワークショップ等を実施した。 11件 14回	延べ 863名 -
	○防災・減 災講座 12月14日	地域の防災・減災活動の推進を目的とする講座を開催した。  「その大切な命、どう守る? ～災害が起こる前に私にできること～」 <講師>こうち減災女子部	21名 (2)
	○防災フェスタ 12月1日	防災をテーマとする啓発や知識経験等の共有、展示等を実施 し、ジェンダー視点の防災・減災の取組に関する県民の理解浸 透を図ることを目的に防災フェスタを開催した。	600名 -
○ジャパン女 性防災リー ダーサミット 2025 1月12日～ 1月13日	全国の女性防災リーダーとの交流・連携のイベントへ参加し、活 動報告を行った。	17名 -	

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ( )内は男性
防災教室 【オンデマンド】	10月17日～ 10月31日	男女共同参画を防災の取組において発揮することができるように、ジェンダーの視点をもって、子どもから高齢者の命を守るための知識を学び、防災意識の向上を図る講座を開催した。 「地域防災力を決定づける多様性の視点」 ＜講師＞ 浅野幸子(減災と男女共同参画研修推進センター共同代表、早稲田大学地域社会と危機管理研修所招聘研究員)	オンデマンド 280名 (90)
男女共同参画 講座	12月1日	年齢や国籍、障害の有無や性的指向・性自認に関することも含めて、幅広く多様な人々がそれぞれの生き方を認め合い、実現し、それぞれの特性を活かして元気に暮らすことができる男女共同参画社会の実現を目的とする講座を開催した。 「ジェンダー・ギャップにフィニッシュ・ホールド！」 ＜講師＞ 蝶野正洋(プロレスラー、アリストリスト有限会社代表取締役、公益財団法人日本消防協会「消防応援団」)	137名 (77)
エンパワメント 講座 【オンデマンド】	①会場 8月18日 ②オンデマンド 8月26日～ 9月9日	男女共同参画の視点を持ちながら、女性が個々に持つ能力を十分発揮し、課題に対応できる能力を身につけることを目的とする講座を開催した。 「ジャーナリストに学ぶ「言語化力」 ～ジェンダー視点のアプローチ～」 ＜講師＞ 中野円佳(東京大学多様性包摂共創センターDEI共創推進戦略室准教授)	会場 27名 - オンデマンド 128名 -
防災講演会 【オンデマンド】	1月26日～ 2月10日	防災に男女共同参画の視点を取り入れることの重要性を広く県民に周知することを目的に、ソーレまつり2025基調講演として実施した。 ＜講師＞ 奥村奈津美(防災アナウンサー、環境省アンバサダー)	オンデマンド 232名 (75)

発行／高知市市民協働部 人権同和・男女共同参画課  
2026年（令和8年）3月発行